
地域福祉に関する町民意識調査

－ 報告書 －

令和３年１１月
香川県 土庄町

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 家族構成	4
4 職業別構成	5
5 居住期間	6
III 調査結果	7
【1】日常生活の不安について	7
1 日常生活で不安に感じる事	7
2 困ったときの相談先	10
【2】行政が行っている福祉サービスについて	12
1 福祉サービスの充実度	12
2 福祉サービスが充実していない分野	13
3 地域における問題や課題	14
4 福祉サービスに関して充実させるべきこと	17
5 健康・福祉に関する情報の入手先	19
【3】自治会などの地域活動について	21
1 自治会への加入状況	21
2 自治会に加入していない理由	23
3 地域組織の活動への参加状況	24
4 参加していない理由	26
5 参加している活動	28
6 活動の目的	30
【4】あなたの近所付き合いについて	32
1 近所の人との付き合い程度	32
2 近所の人との付き合いのあり方	34
3 近所の人に手伝ってほしいこと	36
4 手伝えること	38
【5】防災について	41
1 防災について	41
2 緊急時の備えとして重要なこと	58
【6】ボランティア活動について	60
1 ボランティア活動への参加状況	60
2 参加したことがない理由	61
3 今後、参加してみたい活動	63
4 ボランティア活動参加のための条件	65

【7】 成年後見制度について -----	67
1 成年後見制度の認知状況 -----	67
2 成年後見制度の利用意向 -----	68
3 後見人として希望する人 -----	69
4 利用したいと思わない理由 -----	71
5 市民（町民）後見人としての活動意向 -----	72
6 成年後見制度で町に望むこと -----	74
【8】 自殺対策について -----	76
1 悩みやストレスを感じたときの対応について -----	76
2 身近な人がつらそうに見えたときの対応について -----	82
3 今後、必要な自殺対策 -----	88
【9】 再犯防止について -----	90
1 保護司の活動の認知状況 -----	90
【10】 今後の福祉のあり方について -----	92
1 優先的に取り組むべき分野 -----	92
【11】 自由記述回答集約結果 -----	94

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「土庄町地域福祉計画（第4期）」の策定にあたり、町民の福祉に関する現状や課題、意向等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

15歳以上の町民

【調査方法】

郵送配布～郵送回収

【調査時期】

令和3年10月

【回収結果】

配布数 ----- 1,000 件

有効回収数 ----- 663 件

有効回収率 ----- 66.3%

【地区別回収状況】（問5回答結果より）

	構成比(%)	件数(件)
土庄地区	37.3	247
淵崎地区	23.1	153
大鐸地区	7.5	50
四海地区	10.1	67
北浦地区	7.7	51
大部地区	8.3	55
豊島地区	4.5	30
無回答	1.5	10
合計	100.0	663

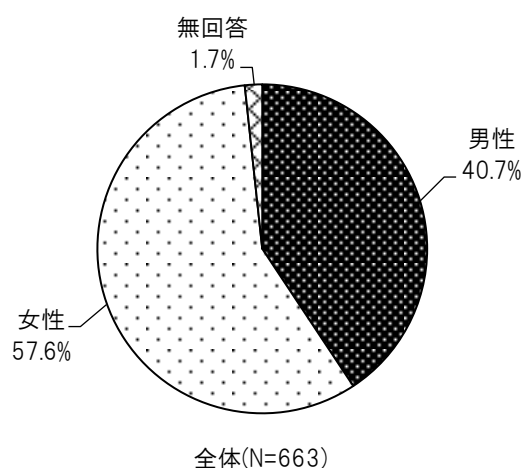
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別構成

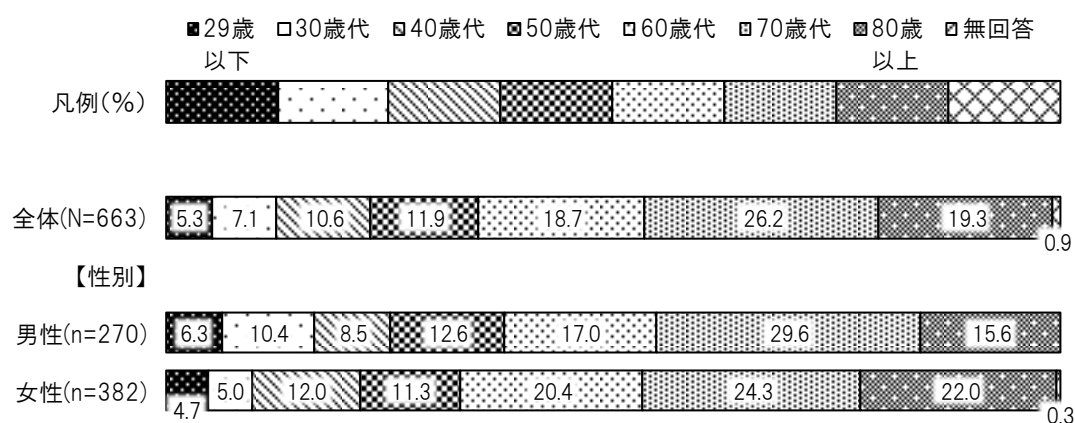
回答者の性別構成比は、「男性」が 40.7%、「女性」が 57.6%と、女性の割合が男性を上回っている。



2 年齢別構成

年齢別構成は、「70 歳代」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「80 歳以上」(19.3%)、「60 歳代」(18.7%)が続いており、『60 歳代以上 (合計)』で全体の 6 割以上 (64.2%)を占めている。

性別では、特に男性は女性に比べ「30 歳代」「70 歳代」の割合が高く、女性は「80 歳以上」の割合が男性を上回っている。



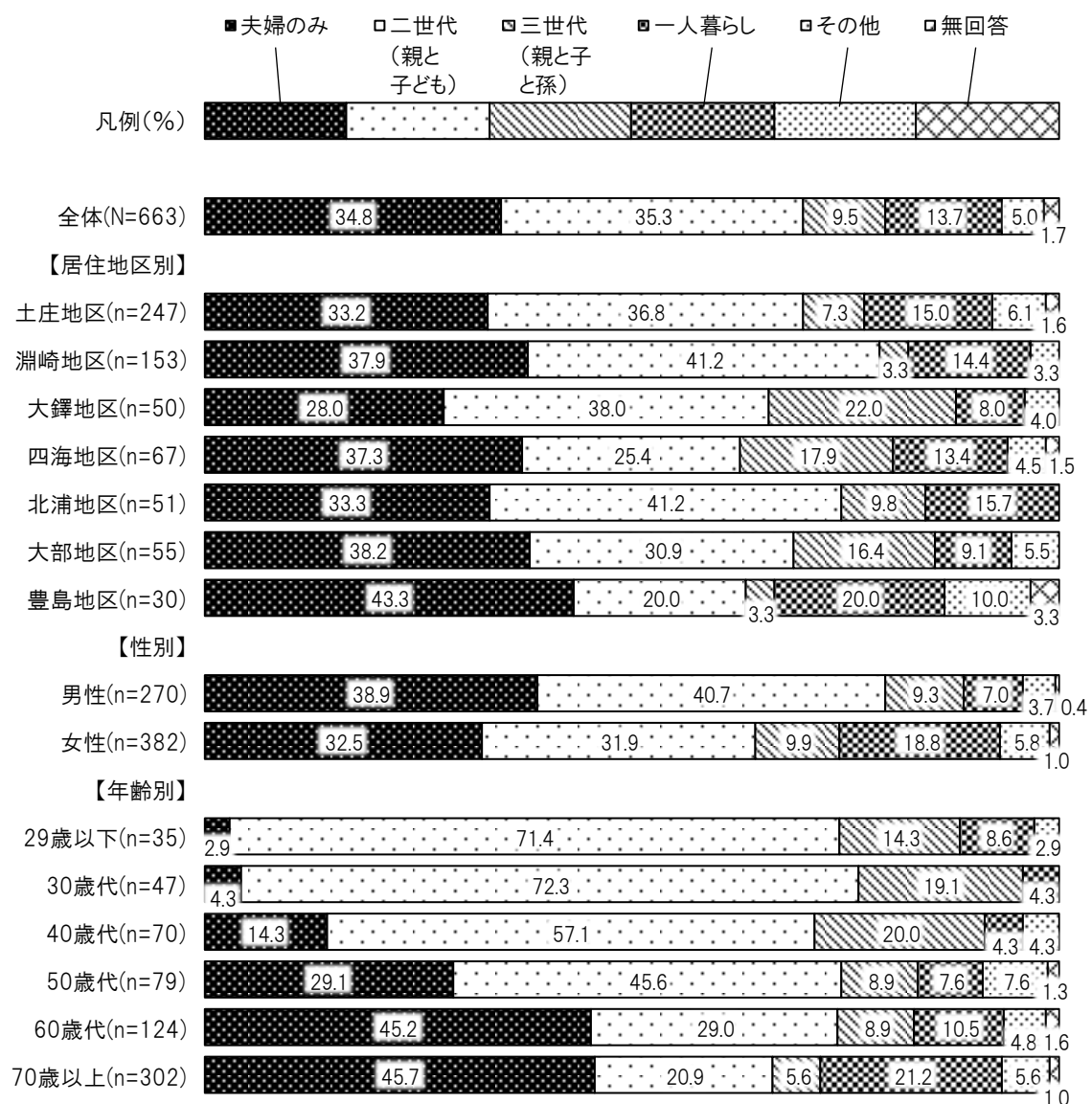
3 家族構成

家族構成については、「二世代（親と子ども）」の割合が 35.3%と最も高く、ほぼ並んで「夫婦のみ」（34.8%）が続き、以下「一人暮らし」（13.7%）、「三世代（親と子と孫）」（9.5%）の順となっている。

居住地区別では、大鐸地区、四海地区、大部地区で「三世代（親と子と孫）」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「夫婦のみ」「二世代（親と子ども）」の割合が高く、女性は「一人暮らし」の割合が男性を大きく上回っている。

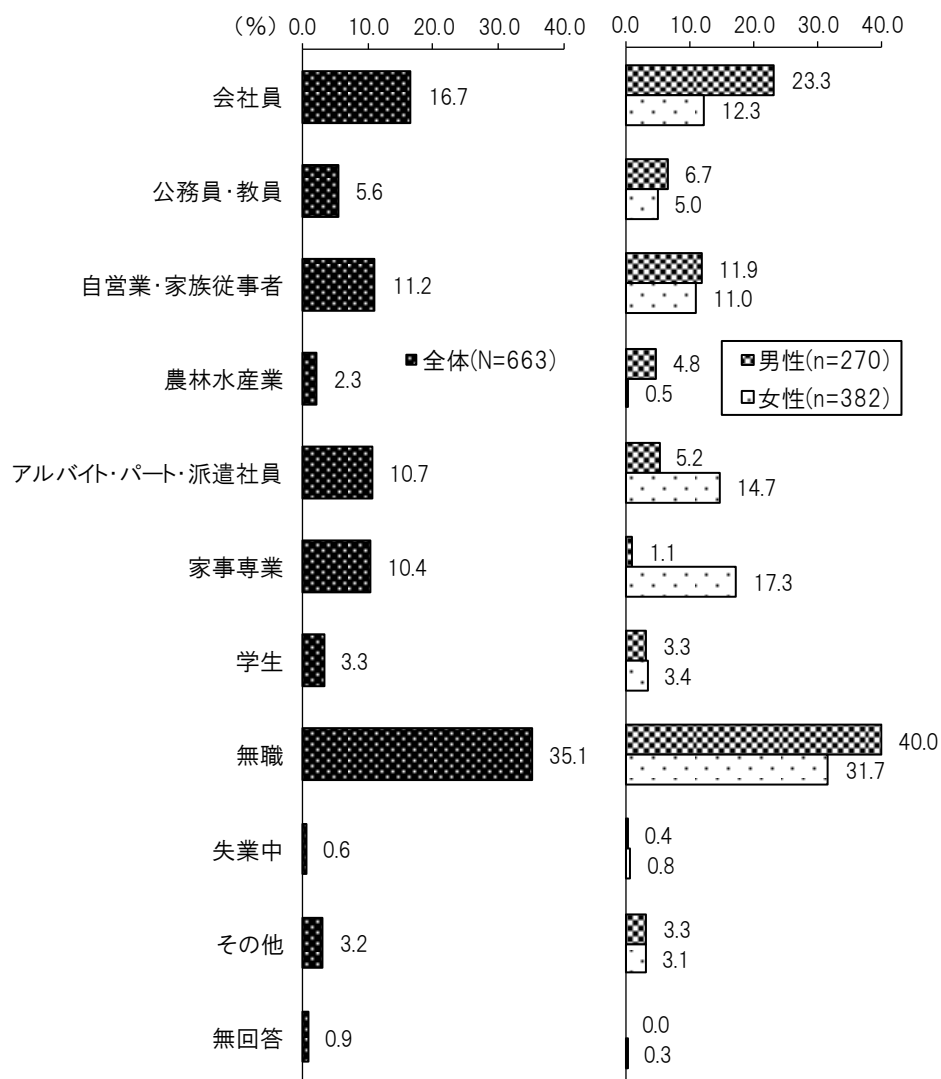
年齢別では、30～40 歳代で「三世代（親と子と孫）」、60 歳代以上で「夫婦のみ」、70 歳以上で「一人暮らし」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



4 職業別構成

職業別構成については、「無職」の割合が35.1%と最も高く、次いで「会社員」(16.7%)、「自営業・家族従事者」(11.2%)の順となっている。

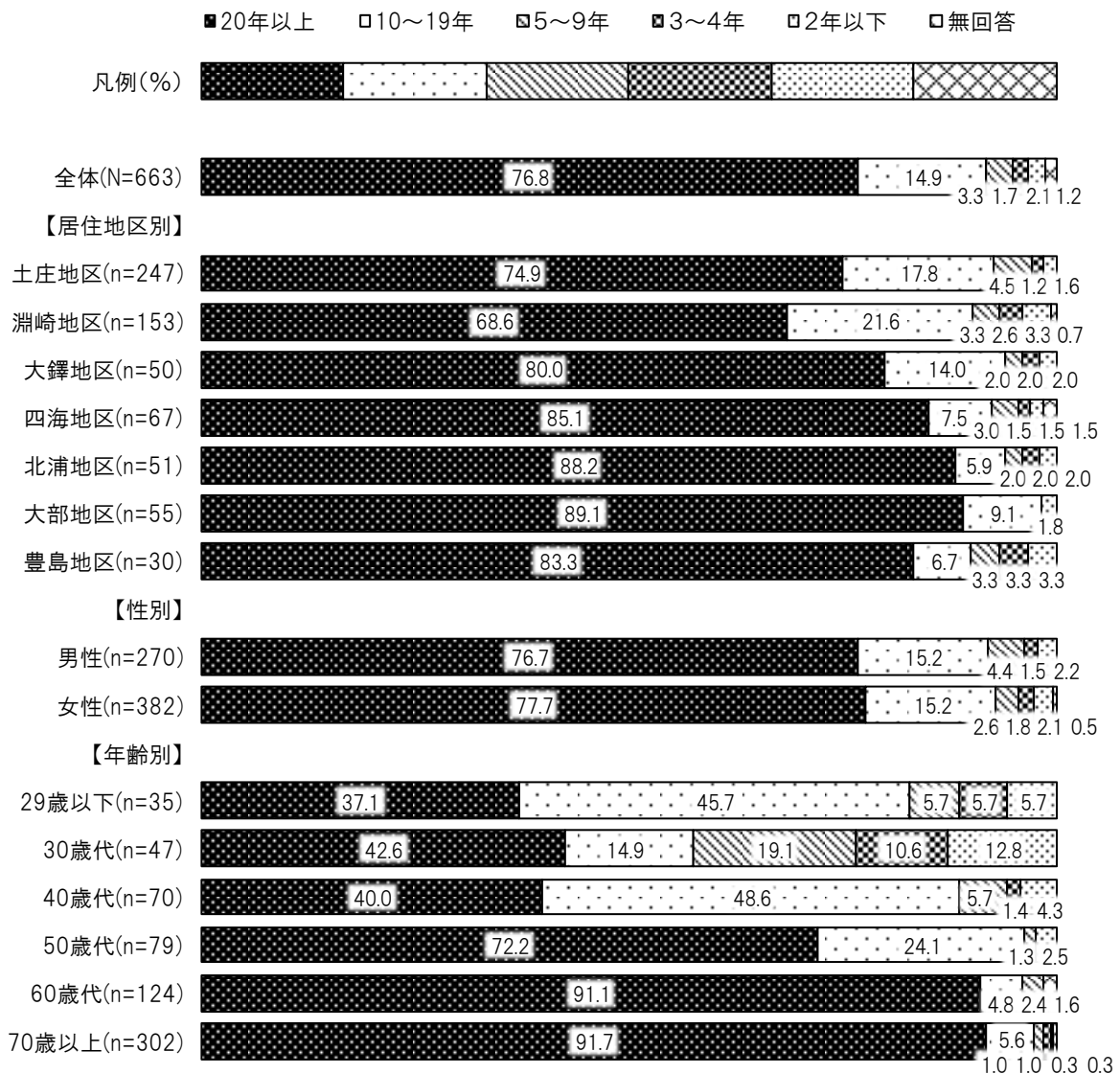
性別では、男性は女性に比べ「会社員」「無職」などの割合が高く、女性は「アルバイト・パート・派遣社員」「家事専業」の割合が男性を大きく上回っている。



5 居住期間

居住期間については、「20 年以上」の割合が 76.8%と最も高く、次いで「10～19 年」(14.9%)が続いており、『10 年以上 (合計)』で全体の約 9 割 (91.7%)を占めている。

居住地区別では、淵崎地区で「20 年以上」の割合が他の地区に比べて低くなっている。性別では大きな差はみられないが、年齢別では 50 歳代以上で「20 年以上」の割合が高くなっている。



Ⅲ 調査結果

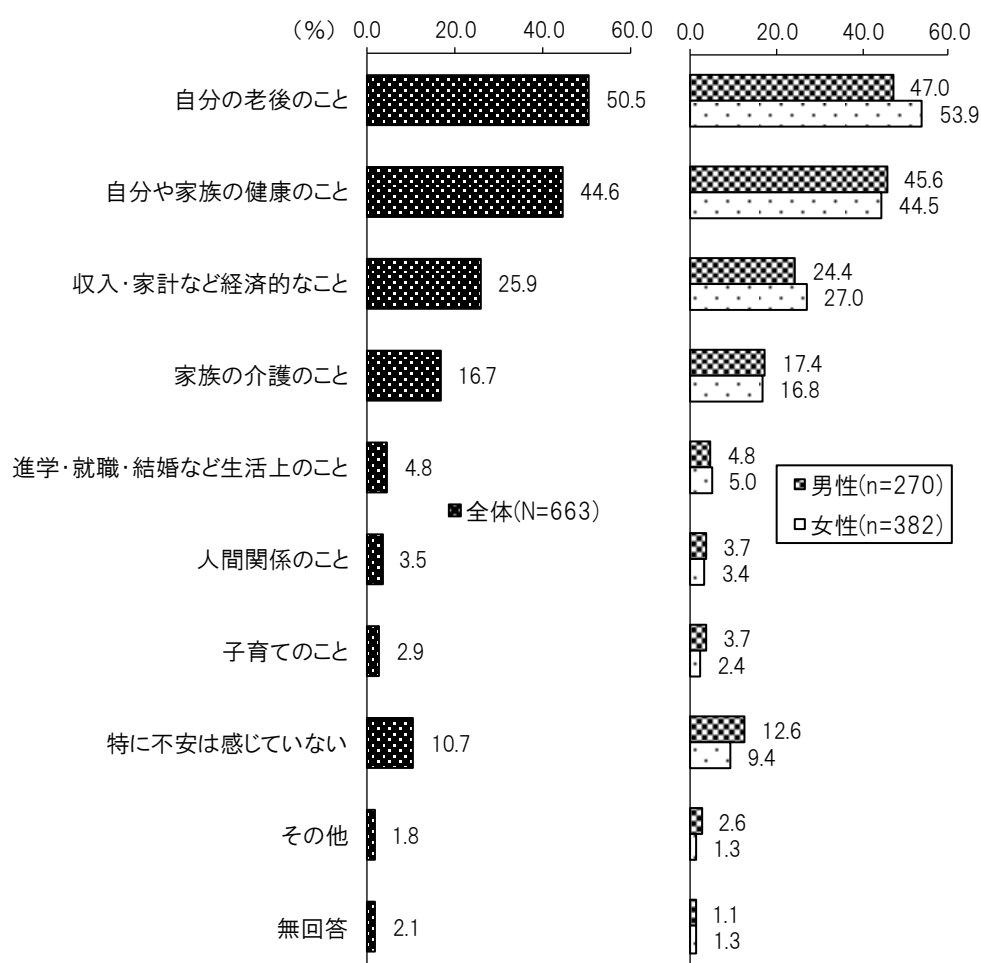
【1】日常生活の不安について

1 日常生活で不安に感じること

問7 日常生活で不安に感じていることはありますか。（○は2つまで）

日常生活で不安に感じることについては、「自分の老後のこと」の割合が50.5%と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」（44.6%）、「収入・家計など経済的なこと」（25.9%）、「家族の介護のこと」（16.7%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「自分の老後のこと」の割合が高くなっている。



居住地区別では、北浦地区で「自分や家族の健康のこと」、大部地区や豊島地区で「家族の介護のこと」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「進学・就職・結婚など生活上のこと」、30歳代で「子育てのこと」、70歳以上で「自分や家族の健康のこと」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	自分の老後のこと	自分や家族の健康のこと	収入・家計など経済的なこと	家族の介護のこと	進学・就職・結婚など生活上のこと	人間関係のこと	子育てのこと	特に不安は感じていない	その他
全体(N=663)	50.5	44.6	25.9	16.7	4.8	3.5	2.9	10.7	1.8
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	51.8	44.9	26.7	15.4	7.3	3.6	4.9	9.3	1.6
淵崎地区(n=153)	51.6	39.9	23.5	17.0	4.6	2.6	1.3	11.1	2.0
大鐸地区(n=50)	54.0	52.0	24.0	16.0	4.0	6.0	0.0	10.0	0.0
四海地区(n=67)	53.7	44.8	25.4	16.4	1.5	1.5	3.0	14.9	1.5
北浦地区(n=51)	47.1	56.9	31.4	11.8	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0
大部地区(n=55)	47.3	43.6	30.9	25.5	0.0	1.8	5.5	10.9	7.3
豊島地区(n=30)	43.3	43.3	23.3	26.7	3.3	3.3	0.0	13.3	0.0
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	8.6	22.9	22.9	2.9	51.4	5.7	2.9	17.1	0.0
30歳代(n=47)	25.5	29.8	38.3	19.1	8.5	10.6	19.1	19.1	2.1
40歳代(n=70)	41.4	41.4	38.6	17.1	7.1	10.0	10.0	1.4	1.4
50歳代(n=79)	59.5	44.3	34.2	24.1	2.5	2.5	2.5	7.6	1.3
60歳代(n=124)	61.3	39.5	32.3	23.4	1.6	0.0	0.0	8.1	2.4
70歳以上(n=302)	55.6	53.3	17.2	13.6	0.3	2.3	0.0	12.9	2.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。

（例／年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け）

但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。

また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

家族構成別では、夫婦のみの世帯や一人暮らしで「自分の老後のこと」、三世代世帯で「収入・家計など経済的なこと」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

付き合い程度別（問 20）では、付き合いがない層で「収入・家計など経済的なこと」の割合が他の層を大きく上回っている。

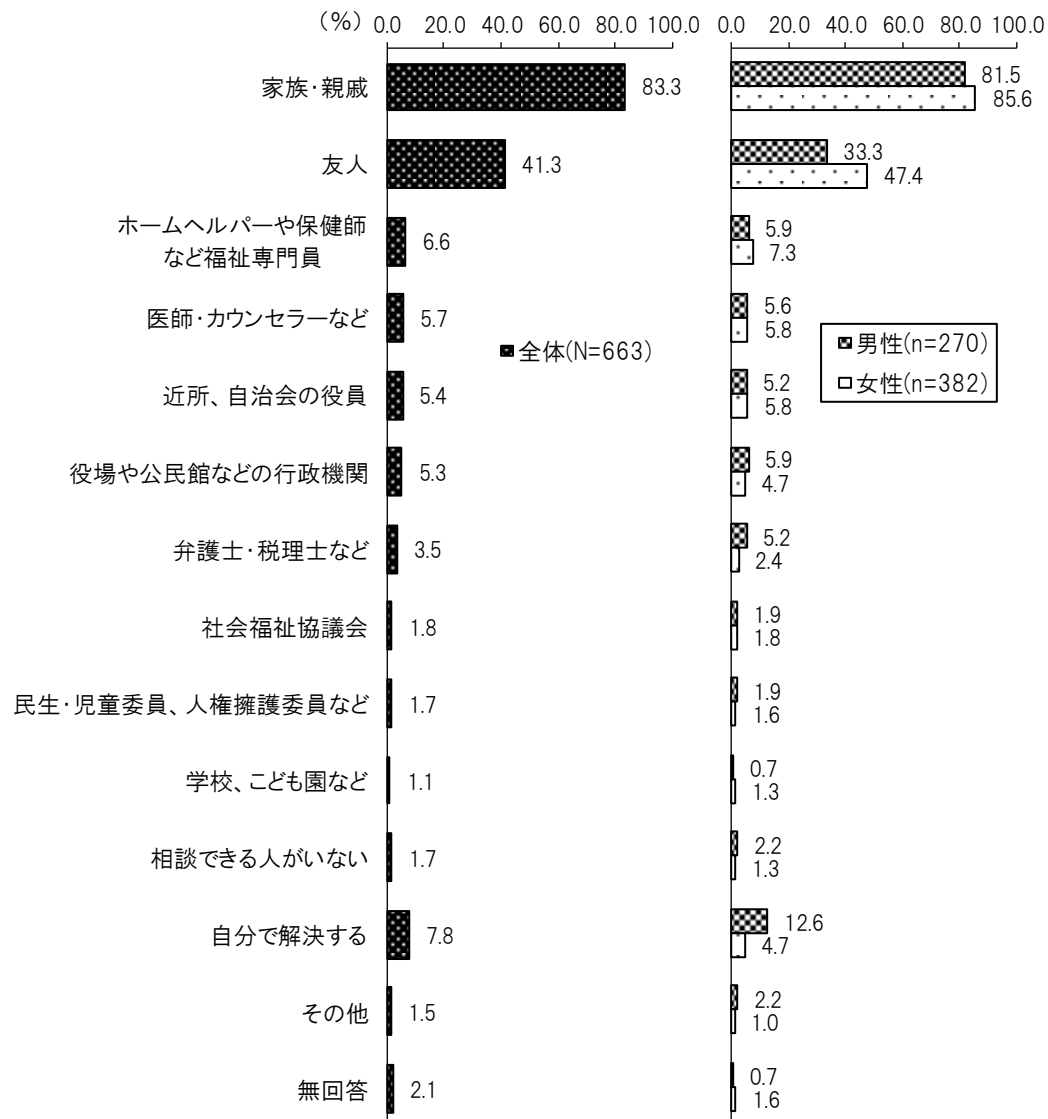
単位（％）	自分の老後のこと	自分や家族の健康のこと	収入・家計など経済的なこと	家族の介護のこと	進学・就職・結婚など生活のこと	人間関係のこと	子育てのこと	特に不安は感じていない	その他
全体(N=663)	50.5	44.6	25.9	16.7	4.8	3.5	2.9	10.7	1.8
【家族構成別】									
夫婦のみの世帯(n=231)	61.9	51.5	22.5	16.5	0.0	2.6	0.0	9.1	2.2
二世帯世帯(n=234)	39.3	41.0	28.2	22.2	9.4	5.1	6.0	11.5	0.9
三世代世帯(n=63)	38.1	46.0	38.1	15.9	11.1	6.3	6.3	11.1	1.6
一人暮らし(n=91)	65.9	41.8	24.2	3.3	2.2	0.0	0.0	11.0	2.2
【付き合い程度別】									
家族同士の付き合い(n=44)	34.1	52.3	27.3	18.2	9.1	4.5	0.0	13.6	2.3
困ったとき助け合える付き合い(n=82)	45.1	54.9	17.1	14.6	3.7	4.9	3.7	14.6	1.2
立ち話をする程度(n=177)	52.0	44.6	23.7	14.7	3.4	2.8	1.7	14.1	2.3
挨拶をする程度(n=295)	54.9	43.1	28.8	17.6	5.1	2.0	3.7	8.5	2.0
付き合いがない(n=34)	52.9	35.3	41.2	2.9	11.8	8.8	2.9	5.9	0.0

2 困ったときの相談先

問8 悩みや困ったことを誰に相談しますか。(〇は3つまで)

困ったときの相談先については、「家族・親戚」の割合が83.3%と最も高く、次いで「友人」(41.3%)、「ホームヘルパーや保健師など福祉専門員」(6.6%)の順となっている。

性別では、女性は「友人」の割合が男性を大きく上回っている。



居住地区別では、淵崎地区や大部地区で「ホームヘルパーや保健師など福祉専門員」、豊島地区で「医師・カウンセラーなど」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「学校、こども園など」、70歳以上で「ホームヘルパーや保健師など福祉専門員」の割合がそれぞれ高く、若い年齢層ほど「友人」の割合が高くなっている。

凡例 (%)	家族・親戚	友人	福祉専門員 ホームヘルパーや保健師など	医師・カウンセラーなど	近所、自治会の役員	役場や公民館などの行政機関	弁護士・税理士など	社会福祉協議会	民生・児童委員、人権擁護委員など	学校、こども園など	相談できる人がいない	自分で解決する	その他
全体(N=663)	83.3	41.3	6.6	5.7	5.4	5.3	3.5	1.8	1.7	1.1	1.7	7.8	1.5
【居住地区別】													
土庄地区(n=247)	79.8	45.3	4.9	5.7	4.9	2.8	2.8	2.0	0.4	0.8	2.0	10.5	2.0
淵崎地区(n=153)	85.0	36.6	11.8	3.9	3.3	6.5	4.6	1.3	3.3	0.7	2.0	8.5	0.7
大鐸地区(n=50)	88.0	48.0	2.0	8.0	4.0	4.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	6.0	6.0
四海地区(n=67)	80.6	43.3	4.5	6.0	6.0	7.5	6.0	6.0	1.5	3.0	3.0	7.5	0.0
北浦地区(n=51)	94.1	33.3	3.9	5.9	9.8	5.9	3.9	2.0	5.9	0.0	0.0	0.0	2.0
大部地区(n=55)	90.9	45.5	10.9	3.6	10.9	9.1	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	5.5	0.0
豊島地区(n=30)	83.3	30.0	6.7	16.7	6.7	10.0	3.3	0.0	3.3	3.3	0.0	6.7	0.0
【年齢別】													
29歳以下(n=35)	82.9	74.3	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4	2.9	2.9	2.9
30歳代(n=47)	76.6	55.3	2.1	4.3	4.3	2.1	4.3	0.0	0.0	2.1	2.1	12.8	4.3
40歳代(n=70)	82.9	54.3	2.9	7.1	4.3	4.3	1.4	1.4	0.0	2.9	1.4	10.0	1.4
50歳代(n=79)	88.6	50.6	1.3	2.5	5.1	5.1	2.5	2.5	0.0	0.0	1.3	10.1	0.0
60歳代(n=124)	82.3	42.7	6.5	8.1	5.6	6.5	4.8	0.8	0.0	0.0	3.2	7.3	1.6
70歳以上(n=302)	85.1	30.1	10.3	6.0	6.6	6.3	4.0	2.6	3.6	0.0	1.0	7.0	1.3

【2】行政が行っている福祉サービスについて

1 福祉サービスの充実度

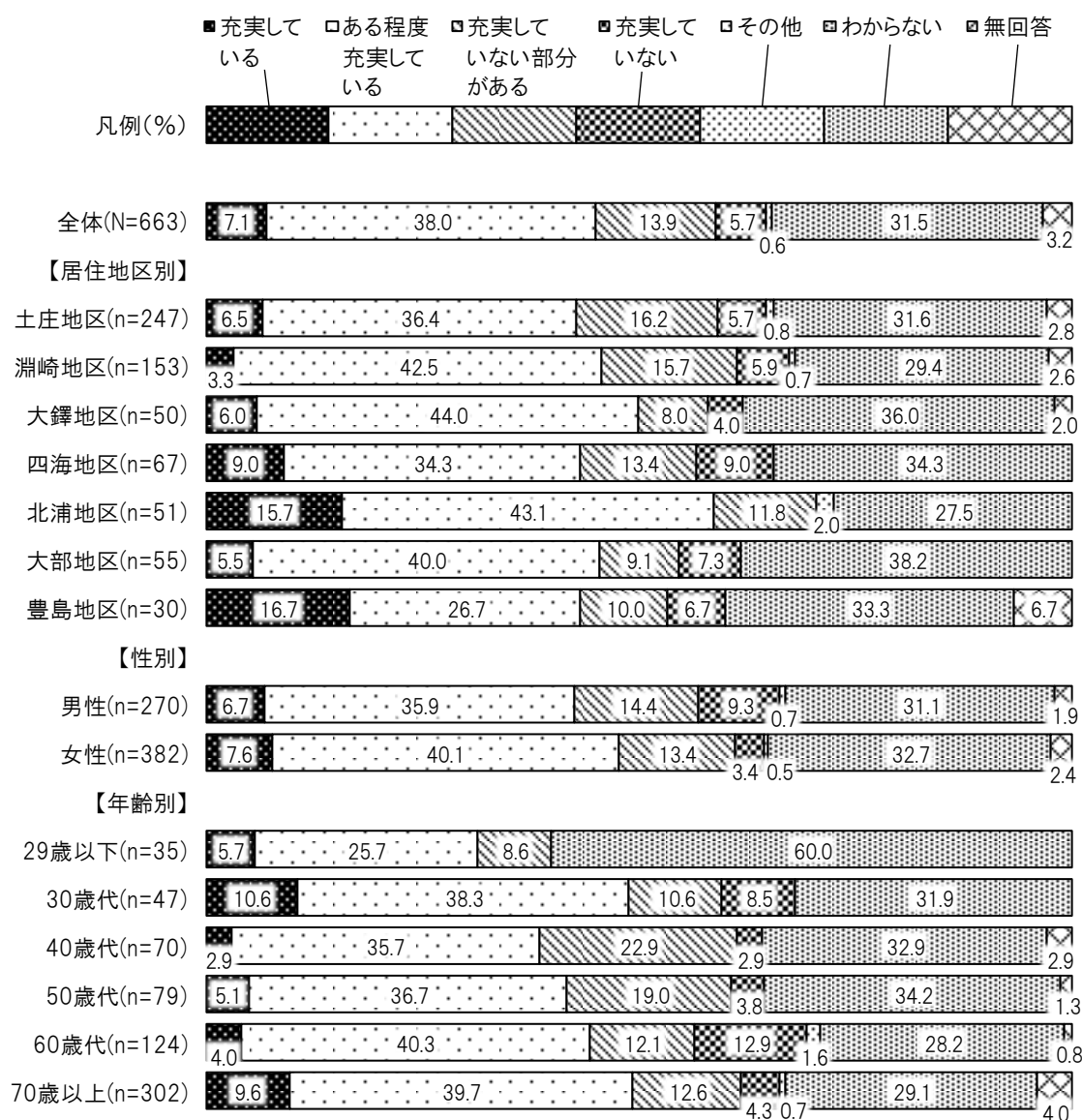
問9 現在、行政が行っている福祉サービス（高齢者福祉サービス、介護保険サービス、障がい福祉サービス、児童福祉サービス等）についてどう思いますか。（○は1つ）

福祉サービスの充実度については、「充実している」が7.1%、「ある程度充実している」が38.0%で、合計45.1%が『充実している』と回答している。一方、「充実していない部分がある」（13.9%）、「充実していない」（5.7%）の合計は19.6%であった。また、約3割（31.5%）は「わからない」と回答している。

居住地区別では、北浦地区で『充実している（合計）』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「充実していない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30歳代や70歳以上で『充実している（合計）』の割合が高くなっている。



2 福祉サービスが充実していない分野

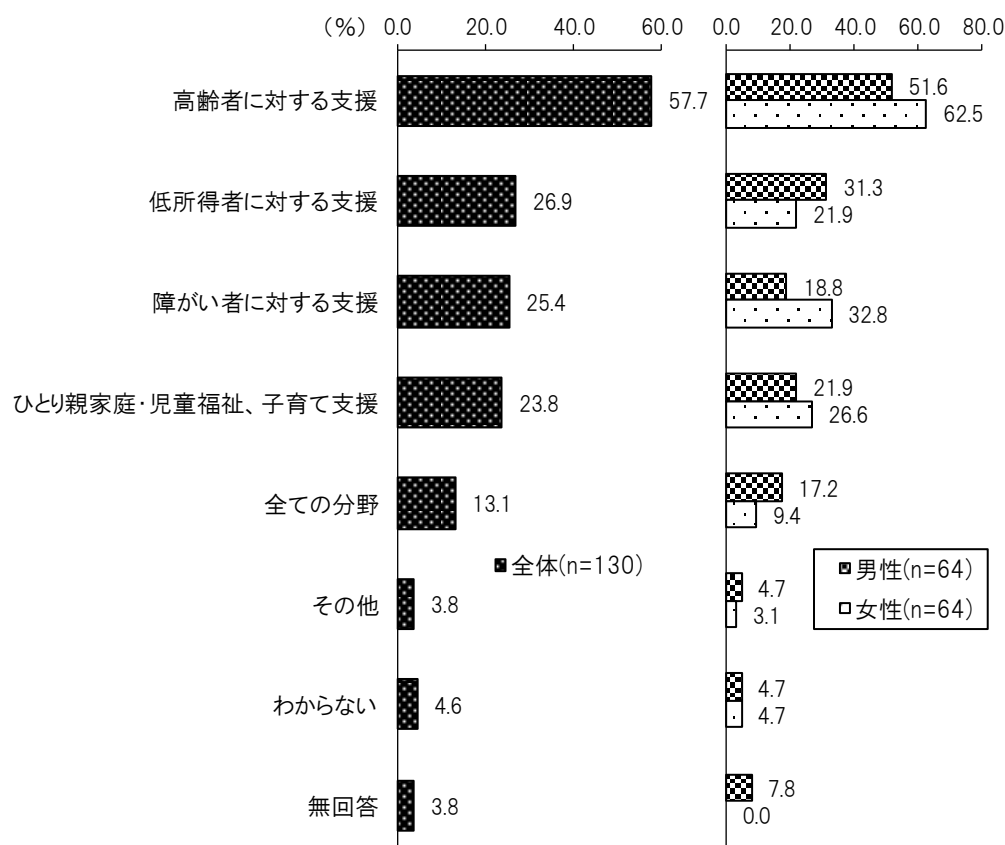
【問9で「3 充実していない部分がある」「4 充実していない」と回答した方におたずねします。】

問10 どの分野での福祉サービスが充実していないとお考えですか。

(あてはまるもの全てに○)

福祉サービスが充実していない分野については、「高齢者に対する支援」の割合が57.7%と最も高く、次いで「低所得者に対する支援」(26.9%)、「障がい者に対する支援」(25.4%)、「ひとり親家庭・児童福祉、子育て支援」(23.8%)、「全ての分野」(13.1%)の順となっている。

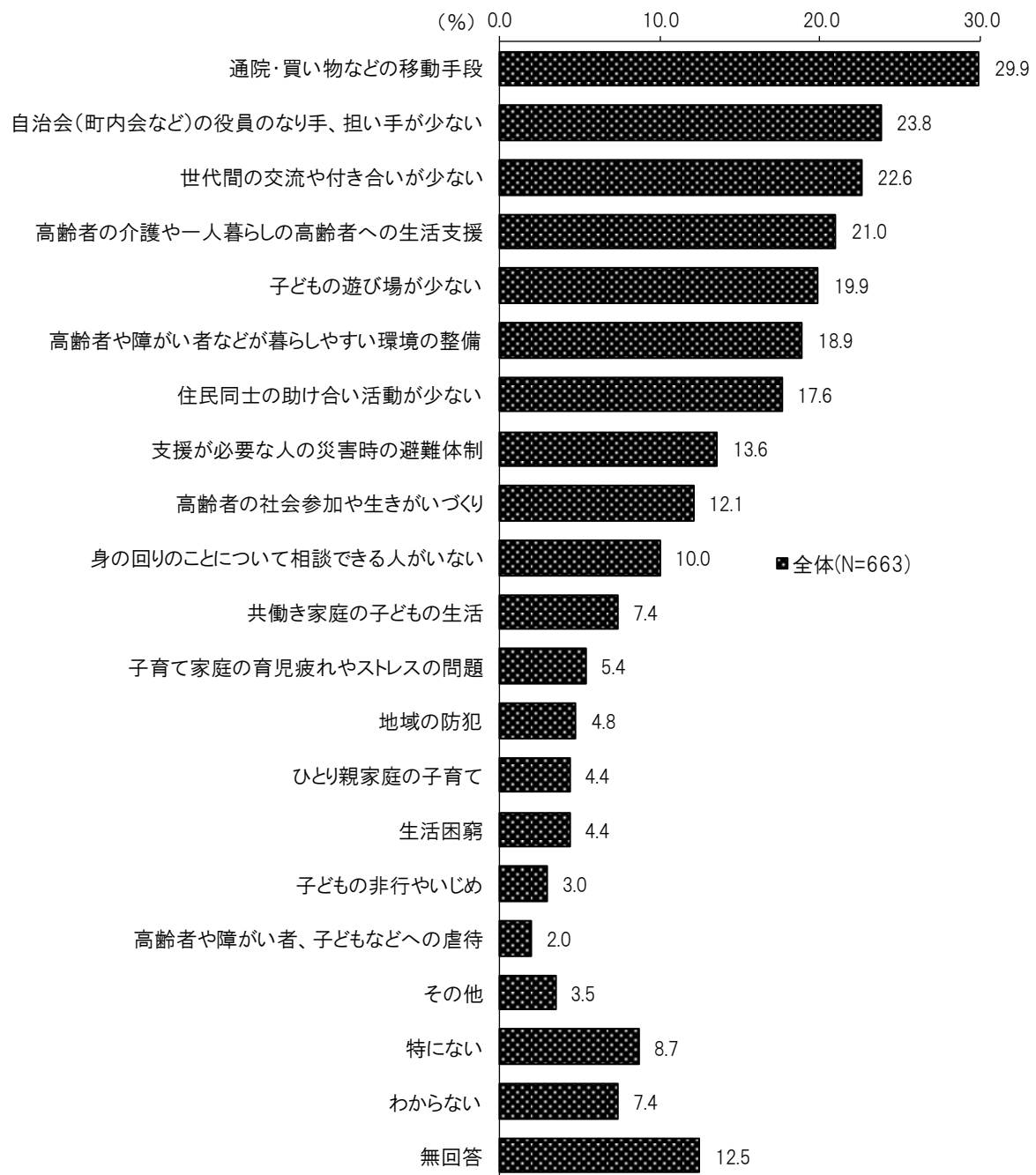
性別では、男性は女性に比べ「低所得者に対する支援」「全ての分野」の割合が高く、女性は「高齢者に対する支援」「障がい者に対する支援」の割合が男性を大きく上回っている。



3 地域における問題や課題

問 11 あなたの住んでいる地域には、特にどのような問題や課題が多いと感じていますか。（あてはまるもの全てに○）

地域における問題や課題については、「通院・買い物などの移動手段」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「自治会（町内会など）の役員のなり手、担い手が少ない」（23.8%）、「世代間の交流や付き合いが少ない」（22.6%）、「高齢者の介護や一人暮らしの高齢者への生活支援」（21.0%）、「子どもの遊び場が少ない」（19.9%）の順となっている。



居住地区別では、四海地区や大部地区で「通院・買い物などの移動手段」、大部地区で「世代間の交流や付き合いが少ない」、豊島地区で「自治会（町内会など）の役員のなり手、担い手が少ない」「高齢者の社会参加や生きがいがづくり」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

単位 (%)	移動 手・買 段 物 の ない	手、 ど 担 い 役 員 の な り な い	自 治 会 （ 町 内 会 な い	合 い が 少 な い	世 代 間 の 交 流 や 付 き	生 活 支 援	暮 ら し の 高 齢 者 へ の 人	高 齢 者 の 介 護 や 一 人	な い こ の 遊 び 場 が 少	境 ど が 暮 ら し や 障 が い る 環	高 齢 者 や 障 が い る 者 な	活 動 が 少 な い	住 民 同 士 の 助 け 合 い	害 時 の 避 難 体 制	支 援 が 必 要 な 人 の 災	生 き が い づ く り	高 齢 者 の 社 会 参 加 や	い い な い 相 談 で き る こ と に が つ
全体(N=663)	29.9	23.8	22.6	21.0	19.9	18.9	17.6	13.6	12.1	10.0								
【居住地区別】																		
土庄地区(n=247)	30.0	25.1	23.9	18.6	22.7	19.0	19.4	12.6	11.7	10.1								
淵崎地区(n=153)	16.3	14.4	21.6	24.8	17.6	20.3	19.0	9.8	11.8	11.8								
大鐸地区(n=50)	32.0	24.0	12.0	18.0	20.0	10.0	14.0	12.0	8.0	10.0								
四海地区(n=67)	47.8	26.9	19.4	23.9	20.9	22.4	11.9	14.9	11.9	9.0								
北浦地区(n=51)	31.4	27.5	25.5	17.6	25.5	11.8	17.6	13.7	9.8	7.8								
大部地区(n=55)	45.5	30.9	36.4	27.3	20.0	27.3	14.5	21.8	12.7	7.3								
豊島地区(n=30)	23.3	40.0	10.0	16.7	3.3	10.0	23.3	23.3	26.7	13.3								

単位 (%)	の 共 働 き 家 庭 の 子 ど も	れ 子 や 育 ス テ 家 庭 ス の 育 児 題 疲	地 域 の 防 犯	て ひ と り 親 家 庭 の 子 育	生 活 困 窮	め 子 ど も の 非 行 や い じ	子 ど も な ど の 障 が い る 者 、 虐 待	高 齢 者 や 障 が い る 者 、 他	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全体(N=663)	7.4	5.4	4.8	4.4	4.4	3.0	2.0	3.5	8.7	7.4	
【居住地区別】											
土庄地区(n=247)	6.9	6.9	3.6	3.2	3.2	2.0	1.6	4.5	7.7	6.9	
淵崎地区(n=153)	9.8	5.9	5.2	6.5	5.2	5.2	3.9	2.0	15.7	6.5	
大鐸地区(n=50)	4.0	0.0	2.0	2.0	4.0	4.0	0.0	2.0	8.0	8.0	
四海地区(n=67)	4.5	3.0	7.5	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	1.5	11.9	
北浦地区(n=51)	5.9	3.9	5.9	7.8	9.8	5.9	2.0	3.9	3.9	7.8	
大部地区(n=55)	12.7	9.1	7.3	9.1	5.5	3.6	3.6	5.5	1.8	5.5	
豊島地区(n=30)	6.7	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	20.0	6.7	

性別では、男性は女性に比べ「自治会（町内会など）の役員のなり手、担い手が少ない」「子どもの遊び場が少ない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30歳代で「世代間の交流や付き合いが少ない」「子どもの遊び場が少ない」、60歳代以上で「住民同士の助け合い活動が少ない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	移動・通院の手配や買い物などの	手（ど）自治会（町内会）の役員やボランティアの少ない	合世代間の交流や付き合い	生活支援	暮らしの高齢者の介護や一人の高齢者の生活支援	子どもの遊び場が少ない	境（ど）が暮らしやすい環境	活動が少ない	住民同士の助け合い	災害時の避難体制	支援が必要な人の災害	生（き）が社会参加しやすい	いいの相談りできる人が
全体(N=663)	29.9	23.8	22.6	21.0	19.9	18.9	17.6	13.6	12.1	10.0			
【性別】													
男性(n=270)	30.4	31.1	24.4	21.1	25.2	17.8	20.4	12.2	11.1	12.6			
女性(n=382)	30.1	18.8	21.2	21.5	16.8	19.9	15.7	14.7	12.6	8.1			
【年齢別】													
29歳以下(n=35)	22.9	11.4	14.3	22.9	34.3	5.7	14.3	2.9	5.7	5.7			
30歳代(n=47)	36.2	38.3	34.0	21.3	53.2	21.3	14.9	21.3	8.5	14.9			
40歳代(n=70)	31.4	22.9	21.4	17.1	30.0	25.7	4.3	17.1	8.6	10.0			
50歳代(n=79)	38.0	34.2	20.3	22.8	20.3	24.1	10.1	15.2	8.9	8.9			
60歳代(n=124)	30.6	29.8	21.0	25.0	15.3	19.4	21.0	12.1	14.5	10.5			
70歳以上(n=302)	27.5	18.2	23.2	19.9	12.9	16.9	22.2	13.2	13.9	9.9			

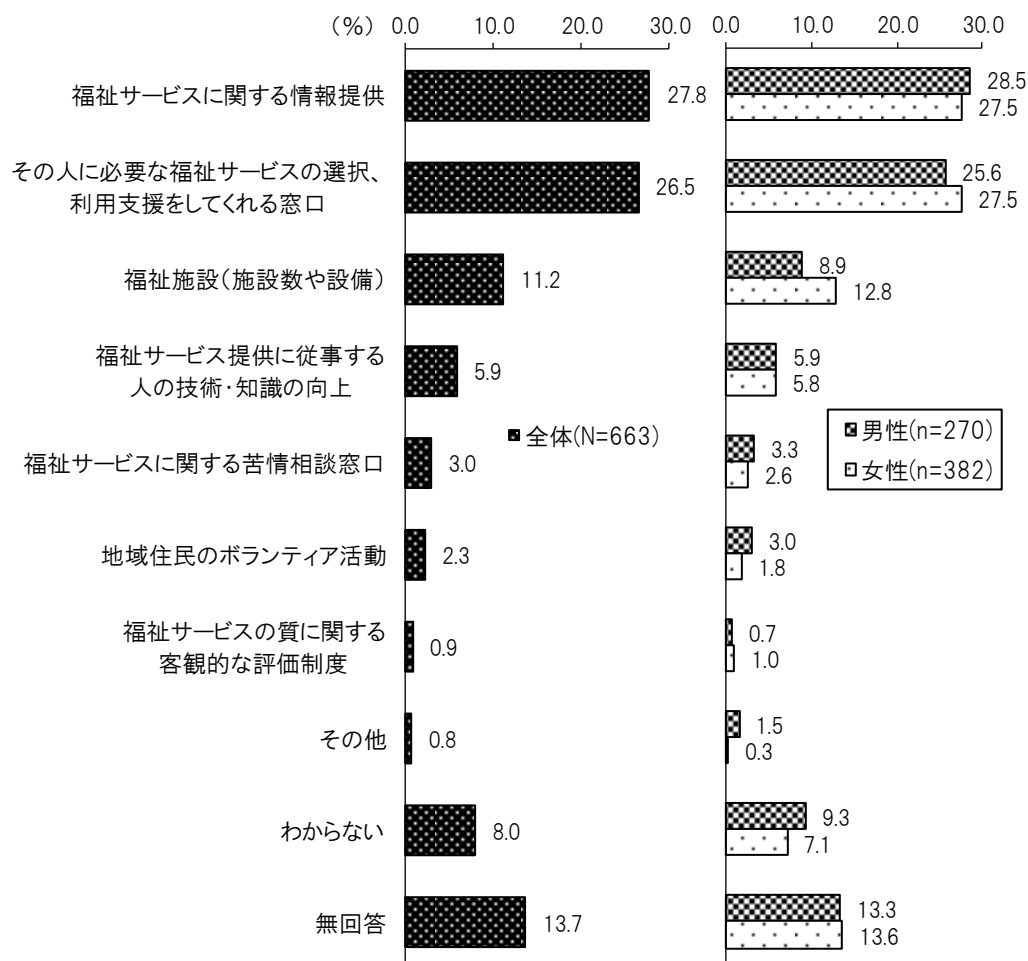
単位 (%)	の共働き生活	れ子や子育て家庭の育兒問題	地域の防犯	てひとり親家庭の子育	生活困窮	め子どもの非行やいじ	子どもなど障がい者、虐待	高年齢者や障がい者	その他	特にな	わから
全体(N=663)	7.4	5.4	4.8	4.4	4.4	3.0	2.0	3.5	8.7	7.4	
【性別】											
男性(n=270)	9.3	5.6	5.9	5.9	6.3	2.6	2.2	3.7	8.5	7.4	
女性(n=382)	6.3	5.5	3.9	3.4	3.1	3.4	1.8	3.4	8.4	7.6	
【年齢別】											
29歳以下(n=35)	11.4	2.9	2.9	5.7	11.4	2.9	0.0	5.7	5.7	14.3	
30歳代(n=47)	19.1	14.9	10.6	8.5	4.3	4.3	2.1	0.0	2.1	4.3	
40歳代(n=70)	15.7	7.1	2.9	4.3	5.7	2.9	2.9	4.3	5.7	2.9	
50歳代(n=79)	11.4	7.6	3.8	8.9	5.1	2.5	2.5	5.1	8.9	7.6	
60歳代(n=124)	5.6	4.8	4.0	4.0	3.2	2.4	1.6	4.8	7.3	8.1	
70歳以上(n=302)	3.0	3.6	5.0	2.6	3.6	3.3	2.0	2.6	11.3	7.9	

4 福祉サービスに関して充実させるべきこと

問 12 援助を必要とする方が、適切に福祉サービスを利用できるようにするために何を優先して充実させるべきだと思いますか。（○は1つ）

福祉サービスに関して充実させるべきことについては、「福祉サービスに関する情報提供」の割合が27.8%と最も高く、ほぼ並んで「その人に必要な福祉サービスの選択、利用支援をしてくれる窓口」（26.5%）が続き、以下「福祉施設（施設数や設備）」（11.2%）、「福祉サービス提供に従事する人の技術・知識の向上」（5.9%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「福祉施設（施設数や設備）」の割合がやや高くなっている。



居住地区別では、大鐸地区で「福祉施設（施設数や設備）」、四海地区で「その人に必要な福祉サービスの選択、利用支援をしてくれる窓口」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、50歳代で「福祉サービスに関する情報提供」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

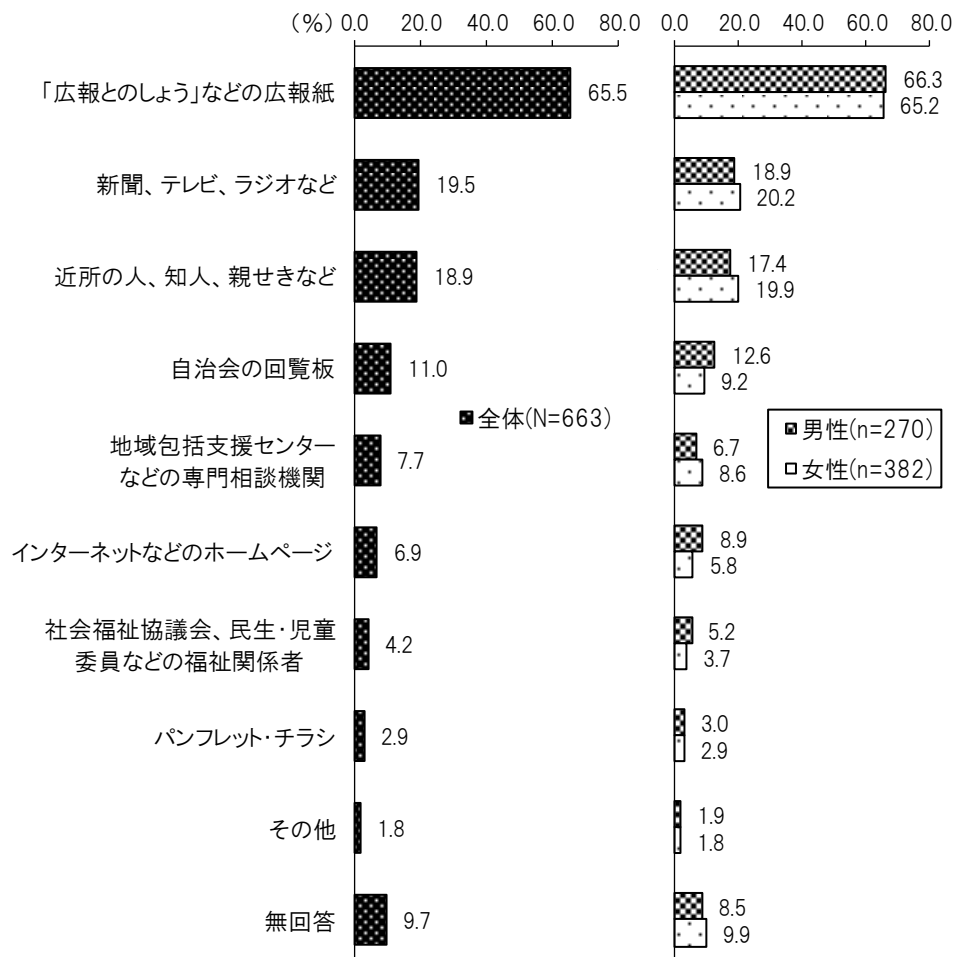
単位 (%)	福祉サービスに関する情報提供	その人に必要な福祉サービスの選択、利用支援をしてくれる窓口	福祉施設（施設数や設備）	福祉サービスの提供に携わる技術・知識の向上	福祉サービスに関する苦情相談窓口	地域住民のボランティア活動	福祉サービスの質に関する客観的な評価制度	その他	わからない
全体(N=663)	27.8	26.5	11.2	5.9	3.0	2.3	0.9	0.8	8.0
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	28.7	25.1	12.1	6.1	3.2	2.0	1.2	0.4	7.3
淵崎地区(n=153)	24.8	24.2	10.5	7.8	5.2	2.6	0.7	1.3	8.5
大鐸地区(n=50)	26.0	30.0	18.0	0.0	0.0	6.0	2.0	0.0	6.0
四海地区(n=67)	32.8	34.3	10.4	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9
北浦地区(n=51)	35.3	27.5	3.9	3.9	3.9	2.0	0.0	0.0	11.8
大部地区(n=55)	27.3	29.1	12.7	9.1	1.8	1.8	1.8	0.0	3.6
豊島地区(n=30)	20.0	26.7	6.7	6.7	0.0	3.3	0.0	6.7	3.3
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	17.1	25.7	17.1	5.7	5.7	2.9	0.0	0.0	11.4
30歳代(n=47)	31.9	23.4	14.9	4.3	2.1	4.3	0.0	2.1	4.3
40歳代(n=70)	25.7	28.6	10.0	8.6	2.9	0.0	0.0	2.9	7.1
50歳代(n=79)	36.7	30.4	8.9	6.3	2.5	2.5	2.5	0.0	3.8
60歳代(n=124)	29.0	32.3	11.3	9.7	2.4	0.0	1.6	0.0	4.8
70歳以上(n=302)	26.5	23.5	10.9	3.6	3.0	3.3	0.7	0.7	10.3

5 健康・福祉に関する情報の入手先

問 13 健康・福祉に関する情報を主にどこから得ていますか。（○は2つまで）

健康・福祉に関する情報の入手先については、「「広報とのしょう」などの広報紙」の割合が65.5%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオなど」（19.5%）、「近所の人、知人、親せきなど」（18.9%）、「自治会の回覧板」（11.0%）の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



居住地区別では、四海地区で「新聞、テレビ、ラジオなど」、豊島地区で「自治会の回覧板」の割合がそれぞれ他の地区を大きく上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「インターネットなどのホームページ」、30 歳代で「近所の人、知人、親せきなど」、70 歳以上で「新聞、テレビ、ラジオなど」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	の「広報紙のしゅう」など	ど新聞、テレビ、ラジオなど	近所の人、知人、親せきなど	自治会の回覧板	地域の専門相談センターなど	インターネットなどのホームページ	児童福祉委員などの福祉関係者	社会福祉協議会、民生・パフレット・チラシ	その他
全体(N=663)	65.5	19.5	18.9	11.0	7.7	6.9	4.2	2.9	1.8
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	66.4	20.6	17.0	7.3	8.1	8.5	3.2	4.0	2.4
淵崎地区(n=153)	66.7	15.7	19.6	9.2	7.2	7.8	3.9	3.3	2.0
大鐸地区(n=50)	68.0	14.0	26.0	10.0	10.0	4.0	0.0	0.0	0.0
四海地区(n=67)	70.1	29.9	16.4	10.4	4.5	4.5	6.0	1.5	0.0
北浦地区(n=51)	62.7	19.6	19.6	9.8	7.8	3.9	9.8	2.0	3.9
大部地区(n=55)	63.6	18.2	23.6	18.2	9.1	7.3	9.1	0.0	0.0
豊島地区(n=30)	53.3	20.0	10.0	36.7	10.0	6.7	0.0	6.7	3.3
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	48.6	17.1	17.1	2.9	0.0	25.7	2.9	0.0	5.7
30歳代(n=47)	74.5	8.5	34.0	4.3	4.3	14.9	0.0	0.0	8.5
40歳代(n=70)	70.0	8.6	18.6	10.0	4.3	11.4	4.3	1.4	0.0
50歳代(n=79)	81.0	13.9	15.2	5.1	7.6	11.4	3.8	5.1	0.0
60歳代(n=124)	67.7	18.5	18.5	14.5	8.1	3.2	4.8	4.0	1.6
70歳以上(n=302)	60.3	25.8	17.9	12.6	9.9	3.0	5.0	3.0	1.3

【3】自治会などの地域活動について

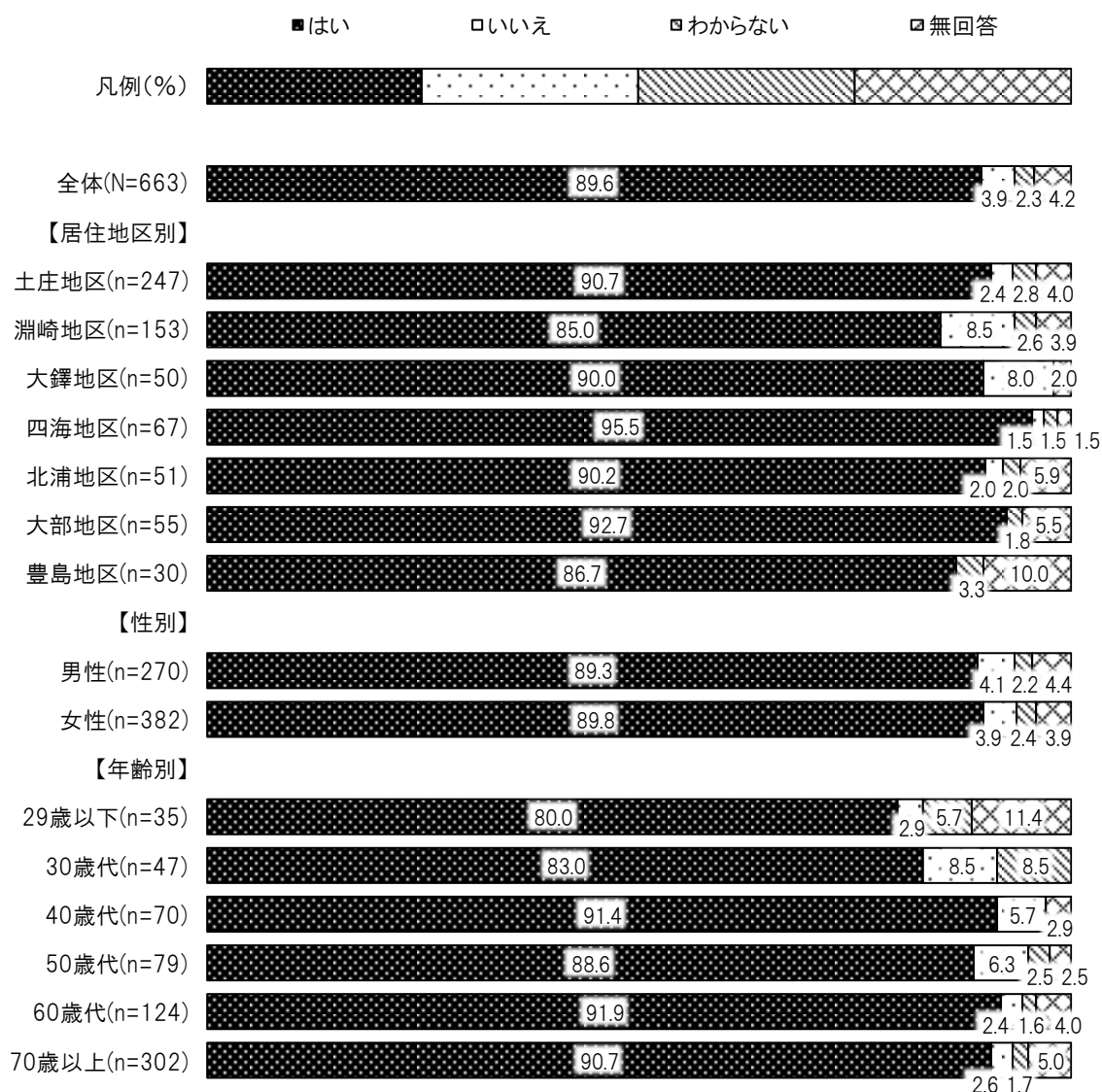
1 自治会への加入状況

問 14 現在、あなたの世帯は自治会に加入していますか。（○は1つ）

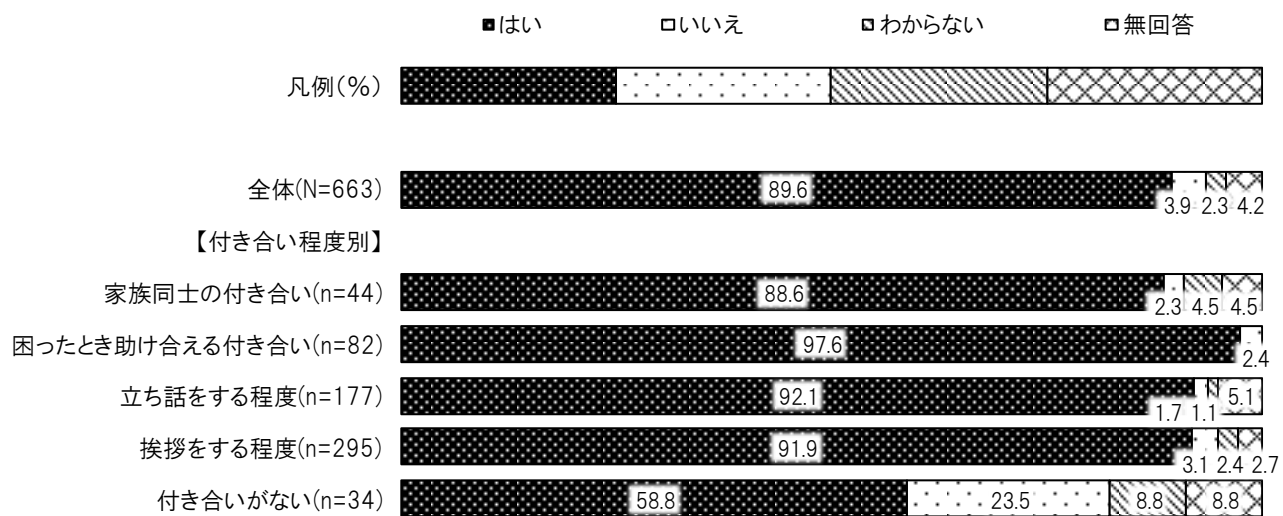
自治会への加入状況については、「はい」が 89.6%、「いいえ」が 3.9%となっている。

居住地区別では、淵崎地区や大鐸地区で「いいえ」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 30 歳代以下で「はい」の割合が低くなっている。



付き合い程度別では、付き合いがない層で「いいえ」の割合が他の層を大きく上回っている。



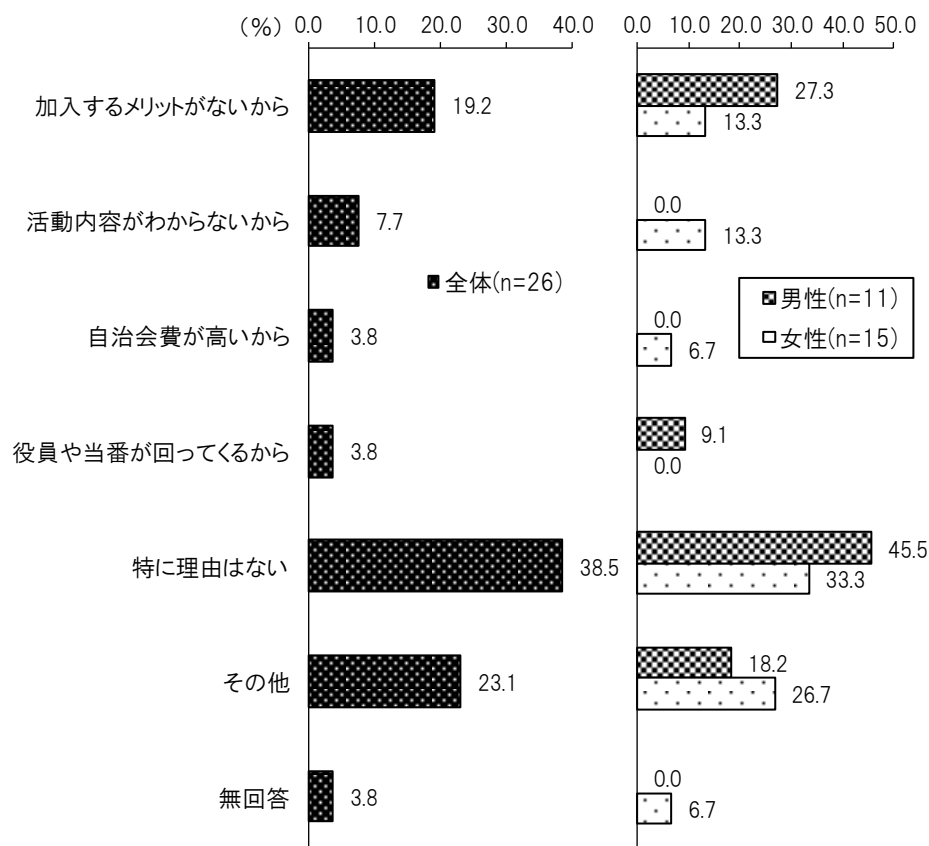
2 自治会に加入していない理由

【問 14 で「2 いいえ」と回答した方におたずねします。】

問 15 自治会に加入していない理由は何ですか。（○は1つ）

自治会に加入していない理由については、「特に理由はない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「加入するメリットがないから」（19.2%）、「活動内容がわからないから」（7.7%）の順となっている。また「その他」では、「加入の誘いがないため」「親が加入しているから」などの回答がみられた。

性別では、男性は女性に比べ「加入するメリットがないから」「特に理由はない」などの割合が高く、女性は「活動内容がわからないから」の割合が男性を上回っている。



3 地域組織の活動への参加状況

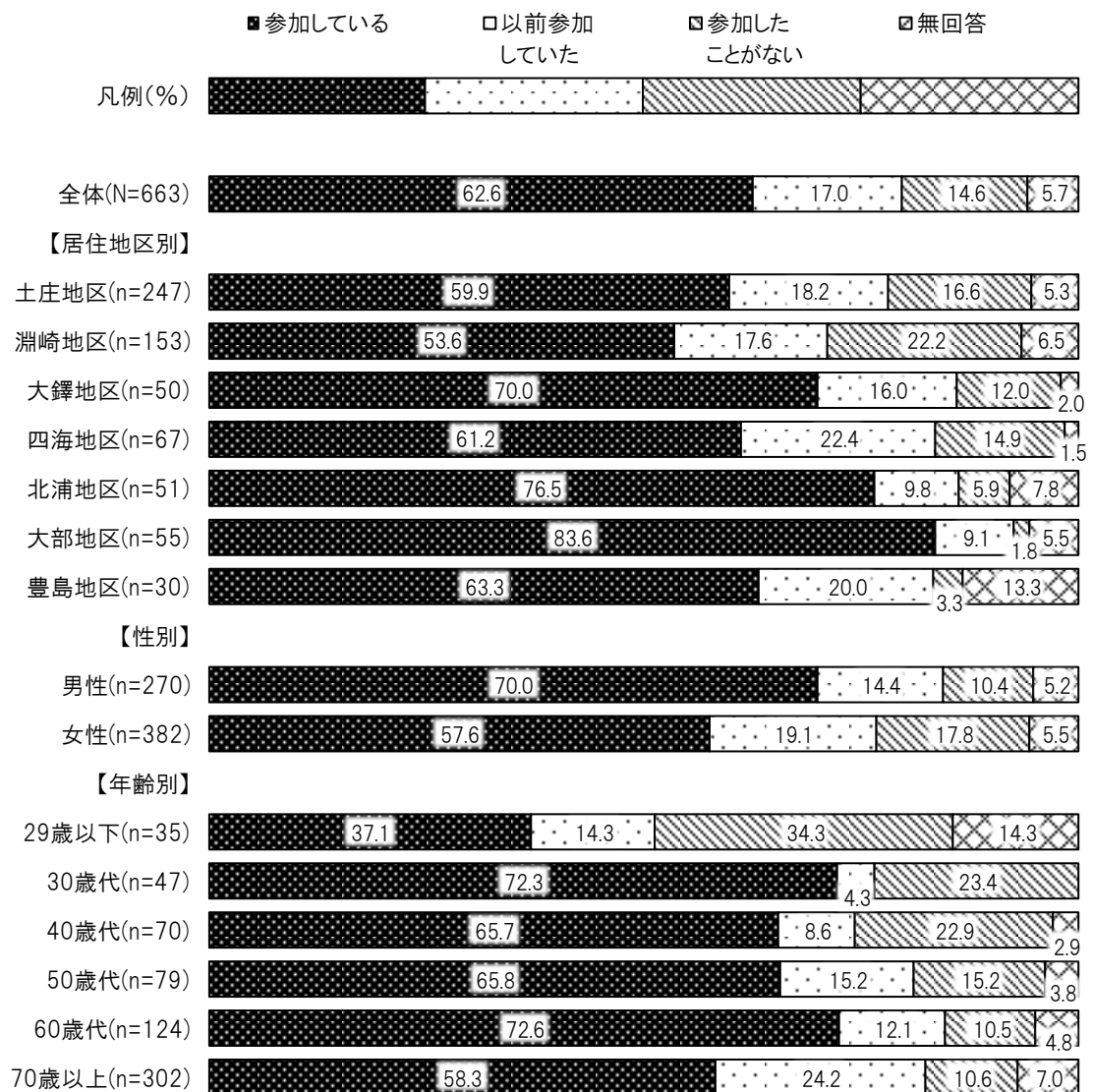
問 16 あなたは自治会などの地域組織の活動に参加していますか。（○は1つ）

地域組織の活動への参加状況については、「参加している」の割合が62.6%、「以前参加していた」が17.0%、合計で約8割（79.6%）となっている。一方、「参加したことがない」は14.6%となっている。

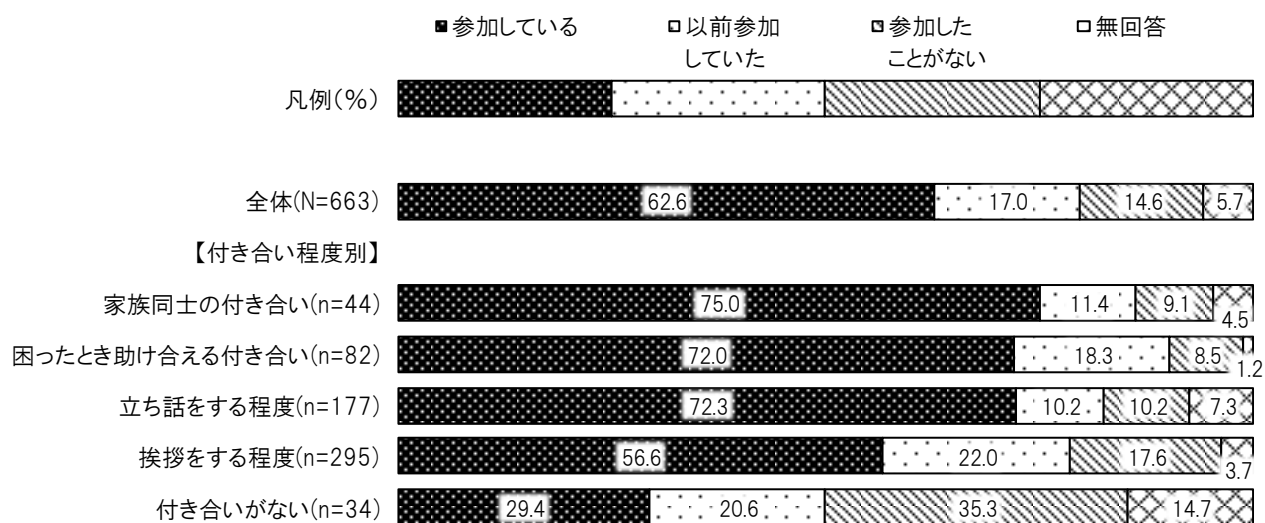
居住地区別では、大部地区で「参加している」、淵崎地区で「参加したことがない」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「参加している」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「参加したことがない」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「参加したことがない」、70歳以上で「以前参加していた」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



付き合い程度別では、付き合いがない層で「参加したことがない」の割合が他の層を大きく上回っている。



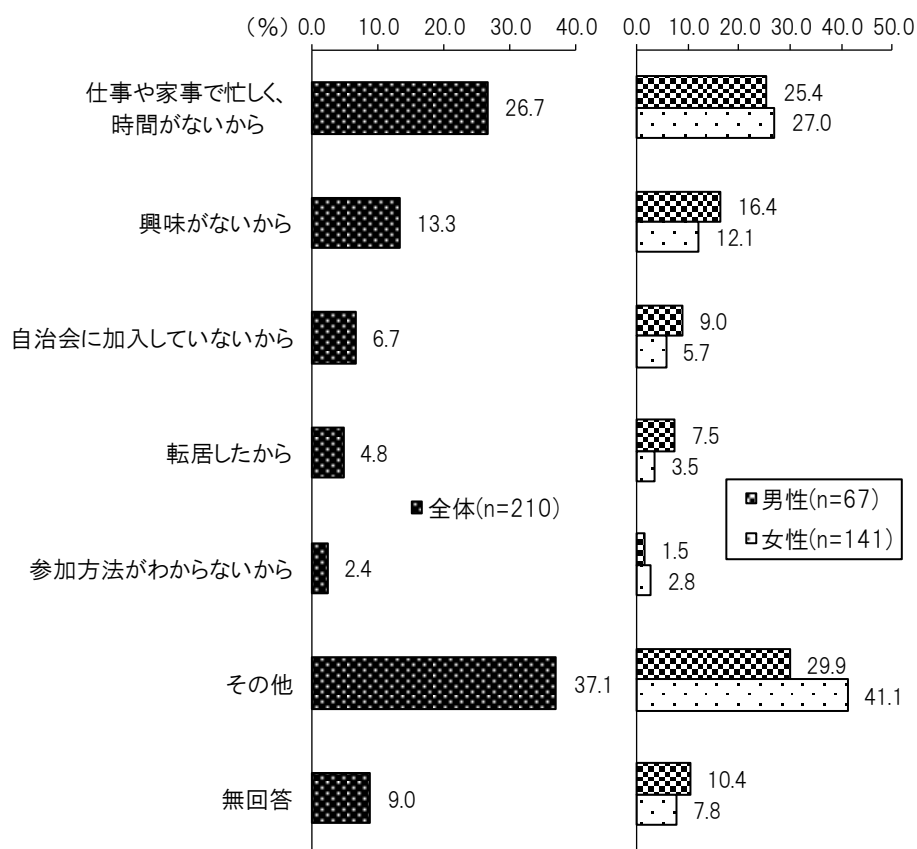
4 参加していない理由

【問 16 で「2 以前参加していた」「3 参加したことがない」と回答した方におたずねします。】

問 17 現在参加していない理由は何ですか。（○は1つ）

参加していない理由については、「仕事や家事で忙しく、時間がないから」の割合が26.7%と最も高く、次いで「興味がないから」（13.3%）、「自治会に加入していないから」（6.7%）の順となっている。また「その他」では、「体調不良」「高齢のため」「他の家族が参加しているから」などの回答がみられた。

性別では、男性は女性に比べ「興味がないから」の割合がやや高くなっている。



年齢別では、30歳代で「自治会に加入していないから」、60歳代で「興味がないから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	仕事や家事で忙しく、 時間がなから	興味がないから	自治会に加入していないから	転居したから	参加方法がわからないから	その他
全体(n=210)	26.7	13.3	6.7	4.8	2.4	37.1
【年齢別】						
29歳以下(n=17)	41.2	11.8	0.0	5.9	0.0	35.3
30歳代(n=13)	53.8	0.0	23.1	7.7	7.7	7.7
40歳代(n=22)	54.5	13.6	9.1	0.0	0.0	13.6
50歳代(n=24)	58.3	0.0	4.2	12.5	0.0	20.8
60歳代(n=28)	32.1	28.6	10.7	3.6	3.6	21.4
70歳以上(n=105)	6.7	14.3	4.8	3.8	2.9	53.3

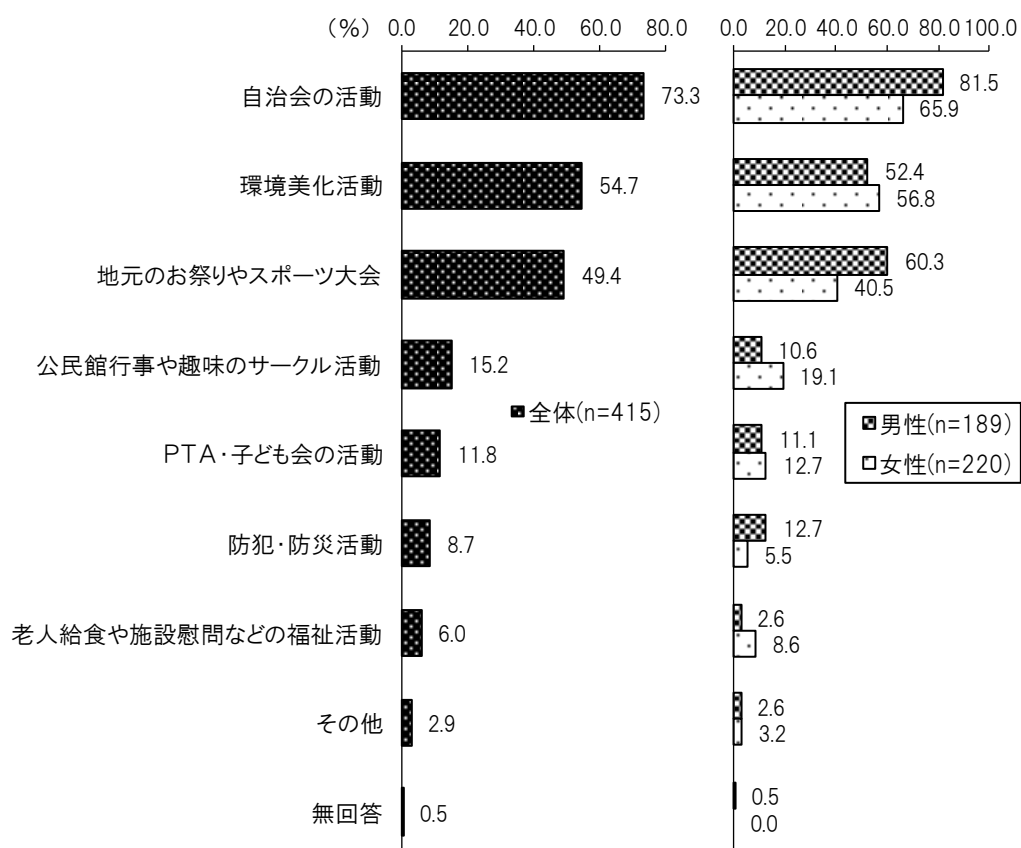
5 参加している活動

【問 16 で「1 参加している」と回答した方におたずねします。】

問 18 どのような活動に参加していますか。（あてはまるもの全てに○）

参加している活動については、「自治会の活動」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「環境美化活動」（54.7%）、「地元のお祭りやスポーツ大会」（49.4%）、「公民館行事や趣味のサークル活動」（15.2%）、「PTA・子ども会の活動」（11.8%）の順となっている。

性別では、男性は「自治会の活動」「地元のお祭りやスポーツ大会」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「公民館行事や趣味のサークル活動」の割合が高くなっている。



居住地区別では、淵崎地区で「環境美化活動」、豊島地区で「地元のお祭りやスポーツ大会」、北浦地区で「老人給食や施設慰問などの福祉活動」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳代で「PTA・子ども会の活動」、40～50歳代で「環境美化活動」、70歳以上で「公民館行事や趣味のサークル活動」「老人給食や施設慰問などの福祉活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

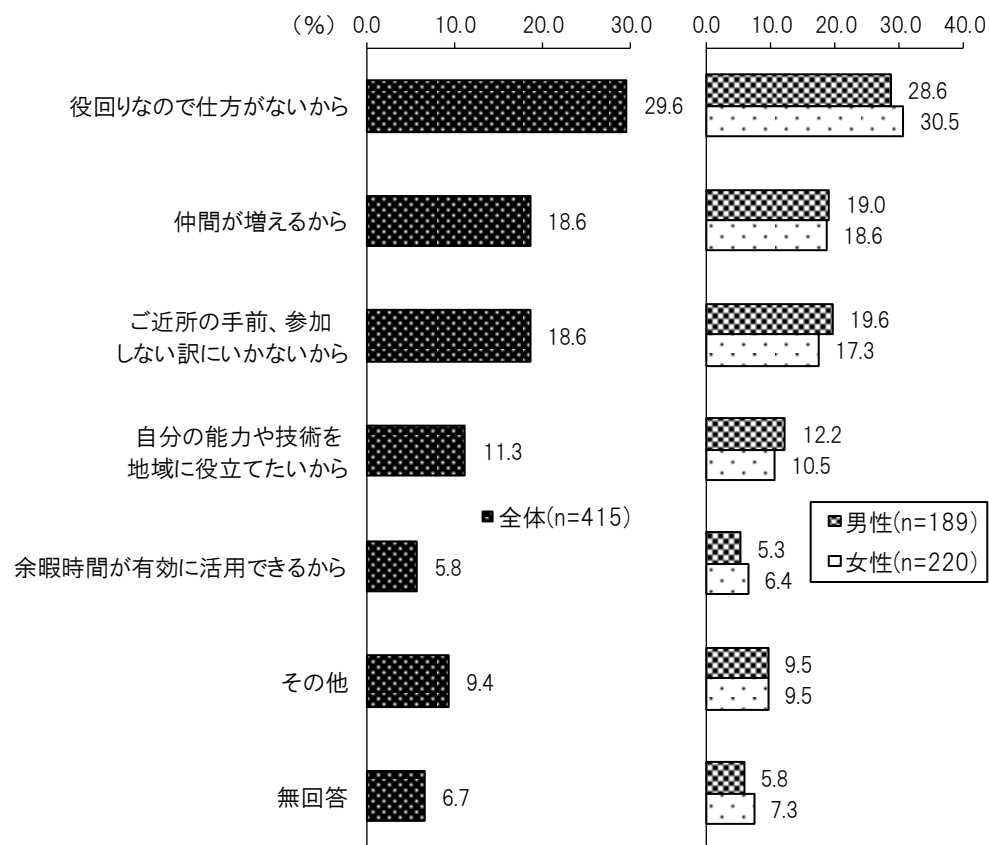
単位 (%)	自治会の活動	環境美化活動	地元のお祭りやスポーツ大会	公民館行事や趣味のサークル活動	PTA・子ども会の活動	防犯・防災活動	老人給食や施設慰問などの福祉活動	その他
全体(n=415)	73.3	54.7	49.4	15.2	11.8	8.7	6.0	2.9
【居住地区別】								
土庄地区(n=148)	68.9	52.0	40.5	10.1	11.5	7.4	5.4	3.4
淵崎地区(n=82)	65.9	65.9	47.6	14.6	13.4	7.3	7.3	0.0
大鐸地区(n=35)	85.7	54.3	68.6	22.9	17.1	14.3	2.9	0.0
四海地区(n=41)	78.0	36.6	43.9	9.8	12.2	4.9	4.9	9.8
北浦地区(n=39)	84.6	53.8	61.5	20.5	5.1	15.4	15.4	2.6
大部地区(n=46)	76.1	60.9	54.3	23.9	10.9	10.9	2.2	2.2
豊島地区(n=19)	78.9	57.9	73.7	21.1	15.8	5.3	0.0	5.3
【年齢別】								
29歳以下(n=13)	69.2	23.1	69.2	7.7	38.5	7.7	0.0	0.0
30歳代(n=34)	55.9	52.9	67.6	8.8	41.2	17.6	0.0	2.9
40歳代(n=46)	65.2	67.4	63.0	6.5	47.8	17.4	2.2	0.0
50歳代(n=52)	75.0	71.2	51.9	7.7	7.7	9.6	3.8	1.9
60歳代(n=90)	80.0	45.6	36.7	11.1	1.1	4.4	3.3	3.3
70歳以上(n=176)	75.0	54.5	47.2	23.3	1.7	6.8	10.2	4.0

6 活動の目的

【問 16 で「1 参加している」と回答した方におたずねします。】

問 19 主にどのような目的で活動していますか。（○は1つ）

活動の目的については、「役回りなので仕方がないから」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「仲間が増えるから」「ご近所の手前、参加しない訳にはいかないから」（各 18.6%）、「自分の能力や技術を地域に役立てたいから」（11.3%）の順となっている。
性別では、大きな差はみられない。



居住地区別では、大鐸地区で「役回りなので仕方がないから」、豊島地区で「自分の能力や技術を地域に役立てたいから」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「仲間が増えるから」、30～40歳代で「ご近所の手前、参加しない訳にいかないから」、70歳以上で「余暇時間が有効に活用できるから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	役回りなので仕方がないから	仲間が増えるから	ご近所に手前、参加しないから	自分の能力や技術を地域に役立てたいから	余暇時間が有効に活用できるから	その他
全体(n=415)	29.6	18.6	18.6	11.3	5.8	9.4
【居住地区別】						
土庄地区(n=148)	23.6	22.3	20.3	10.1	6.8	10.1
淵崎地区(n=82)	32.9	17.1	14.6	15.9	4.9	8.5
大鐸地区(n=35)	45.7	17.1	11.4	11.4	5.7	5.7
四海地区(n=41)	34.1	19.5	26.8	4.9	4.9	4.9
北浦地区(n=39)	17.9	20.5	15.4	7.7	12.8	12.8
大部地区(n=46)	39.1	10.9	21.7	6.5	0.0	13.0
豊島地区(n=19)	21.1	15.8	15.8	31.6	5.3	10.5
【年齢別】						
29歳以下(n=13)	7.7	38.5	15.4	15.4	0.0	15.4
30歳代(n=34)	29.4	17.6	26.5	11.8	0.0	8.8
40歳代(n=46)	43.5	8.7	28.3	6.5	2.2	6.5
50歳代(n=52)	40.4	7.7	19.2	15.4	0.0	13.5
60歳代(n=90)	41.1	15.6	17.8	8.9	3.3	6.7
70歳以上(n=176)	18.8	25.0	14.8	11.9	11.4	10.2

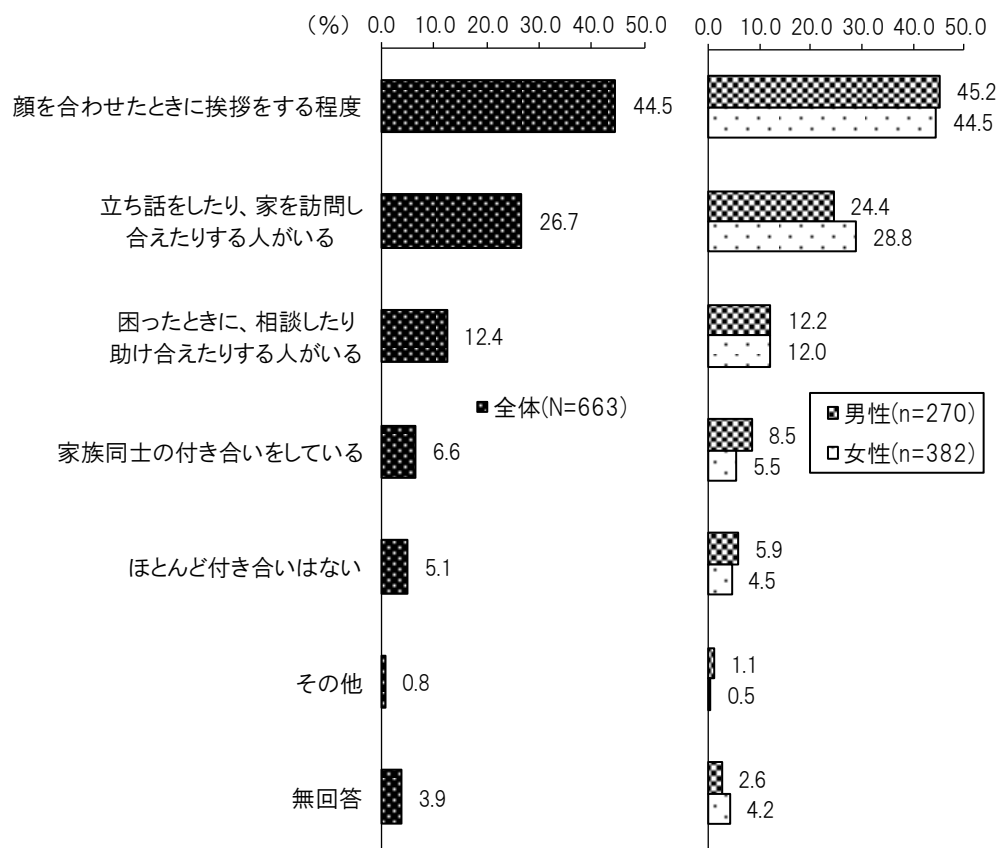
【4】あなたの近所付き合いについて

1 近所の人との付き合い程度

問 20 普段、近所の人とはどの程度付き合いをしていますか。（○は1つ）

近所の人との付き合い程度については、「顔を合わせたときに挨拶をする程度」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「立ち話をしたり、家を訪問し合えたりする人がいる」（26.7%）、「困ったときに、相談したり助け合えたりする人がいる」（12.4%）、「家族同士の付き合いをしている」（6.6%）、「ほとんど付き合いはない」（5.1%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「立ち話をしたり、家を訪問し合えたりする人がいる」の割合がやや高くなっている。



居住地区別では、大鐸地区で「立ち話をしたり、家を訪問し合えたりする人がいる」、豊島地区で「困ったときに、相談したり助け合えたりする人がいる」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30 歳代以下で「ほとんど付き合いはない」、70 歳以上で「立ち話をしたり、家を訪問し合えたりする人がいる」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

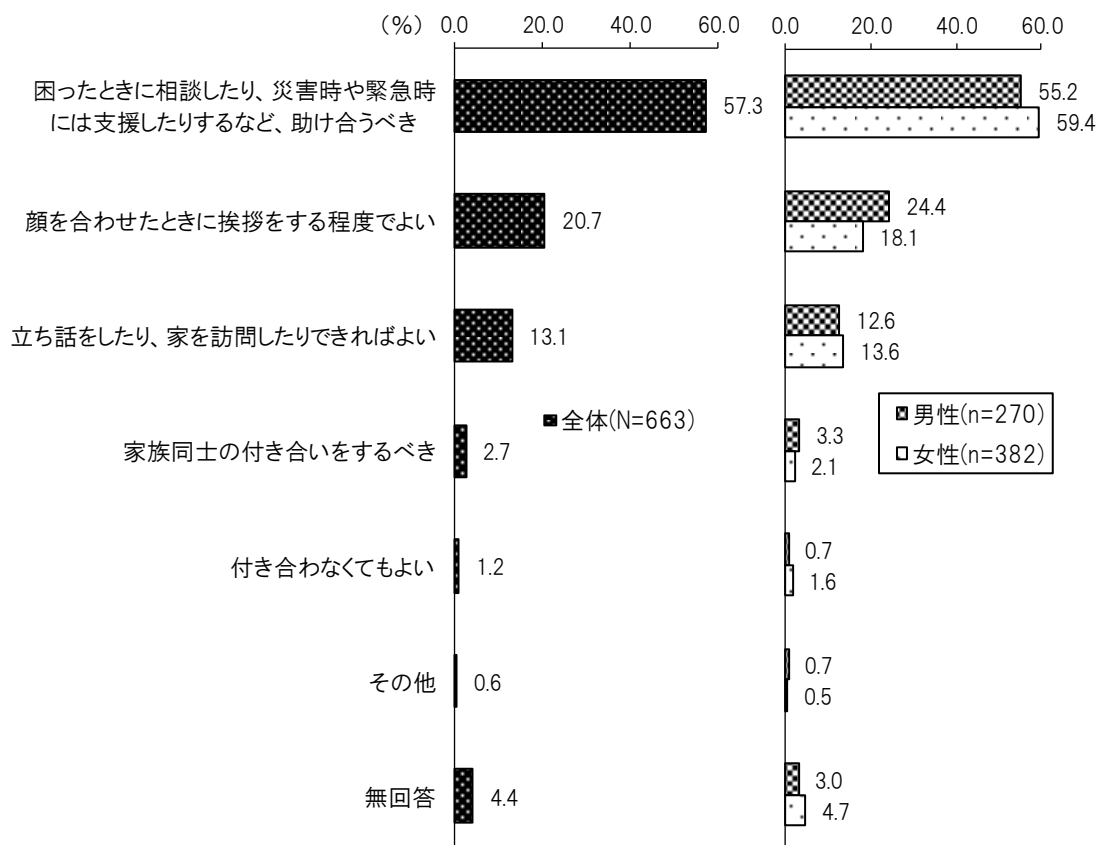
単位 (%)	顔を合わせる程度	立ち話をしたりする人がいる	困ったときに、相談したりする人がいる	家族同士の付き合いをし	ほとんど付き合いはない	その他
全体(N=663)	44.5	26.7	12.4	6.6	5.1	0.8
【居住地区別】						
土庄地区(n=247)	49.4	26.7	10.5	4.9	5.3	0.0
淵崎地区(n=153)	45.8	26.8	8.5	6.5	9.2	1.3
大鐸地区(n=50)	32.0	38.0	18.0	10.0	2.0	0.0
四海地区(n=67)	46.3	25.4	14.9	7.5	3.0	1.5
北浦地区(n=51)	41.2	19.6	13.7	13.7	3.9	0.0
大部地区(n=55)	41.8	27.3	14.5	5.5	1.8	3.6
豊島地区(n=30)	23.3	30.0	26.7	6.7	3.3	0.0
【年齢別】						
29歳以下(n=35)	45.7	22.9	8.6	11.4	11.4	0.0
30歳代(n=47)	48.9	14.9	10.6	12.8	10.6	2.1
40歳代(n=70)	57.1	24.3	5.7	4.3	5.7	0.0
50歳代(n=79)	60.8	17.7	10.1	5.1	3.8	0.0
60歳代(n=124)	54.8	22.6	12.9	0.8	4.8	0.8
70歳以上(n=302)	32.5	34.1	14.9	8.6	3.6	1.0

2 近所の人との付き合いのあり方

問 21 近所の人との付き合いはどうあるべきとお考えですか。（○は1つ）

近所の人との付き合いのあり方については、「困ったときに相談したり、災害時や緊急時には支援したりするなど、助け合うべき」の割合が57.3%と最も高く、次いで「顔を合わせたときに挨拶をする程度でよい」（20.7%）、「立ち話をしたり、家を訪問したりできればよい」（13.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「顔を合わせたときに挨拶をする程度でよい」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大鐸地区や大部地区で「困ったときに相談したり、災害時や緊急時には支援したりするなど、助け合うべき」、大部地区で「立ち話をしたり、家を訪問したりできればよい」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳代で「顔を合わせたときに挨拶をする程度でよい」、60歳代で「困ったときに相談したり、災害時や緊急時には支援したりするなど、助け合うべき」、70歳以上で「立ち話をしたり、家を訪問したりできればよい」の割合がそれぞれ高くなっている。

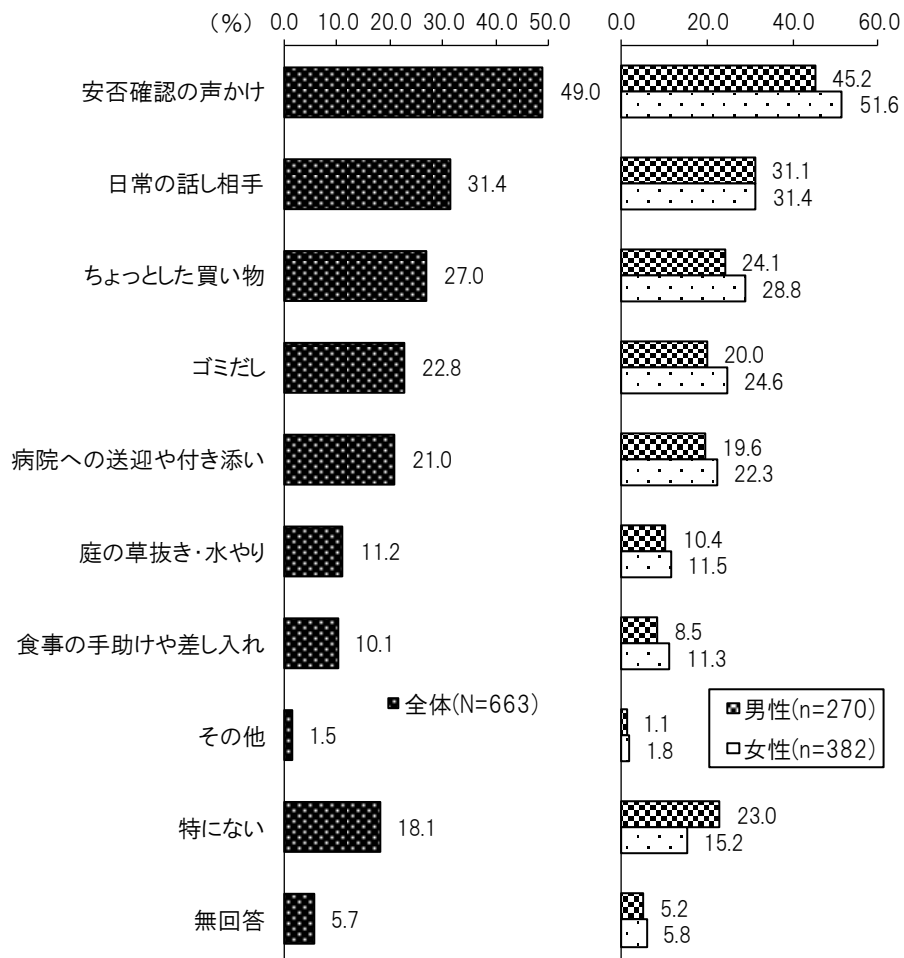
単位 (%)	きたり災害時や緊急に相談したり、助け合うべき	困ったときに相談したり、支援をする程度でよいときに挨拶をする	顔を合わせたときに挨拶をする	立ち話をしたり、家を訪問できればよい	家族同士の付き合いをするべき	付き合いなくてもよい	その他
全体(N=663)	57.3	20.7	13.1	2.7	1.2	0.6	
【居住地区別】							
土庄地区(n=247)	59.9	23.5	10.5	2.8	0.4	0.8	
淵崎地区(n=153)	49.7	24.2	17.0	1.3	2.0	1.3	
大鐸地区(n=50)	68.0	16.0	8.0	2.0	0.0	0.0	
四海地区(n=67)	58.2	23.9	11.9	3.0	1.5	0.0	
北浦地区(n=51)	49.0	21.6	13.7	5.9	3.9	0.0	
大部地区(n=55)	65.5	7.3	21.8	1.8	0.0	0.0	
豊島地区(n=30)	56.7	6.7	13.3	6.7	3.3	0.0	
【年齢別】							
29歳以下(n=35)	60.0	31.4	5.7	2.9	0.0	0.0	
30歳代(n=47)	57.4	29.8	6.4	2.1	2.1	0.0	
40歳代(n=70)	45.7	38.6	7.1	2.9	1.4	0.0	
50歳代(n=79)	59.5	22.8	12.7	0.0	1.3	2.5	
60歳代(n=124)	66.1	17.7	11.3	0.8	0.0	0.0	
70歳以上(n=302)	56.0	14.6	17.5	4.3	1.7	0.7	

3 近所の人に手伝ってほしいこと

問 22 もし、あなたが介護を必要とするなど日常生活で不自由になったとき、近所の人に手伝ってほしいことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

近所の人に手伝ってほしいことについては、「安否確認の声かけ」の割合が49.0%と最も高く、次いで「日常の話し相手」（31.4%）、「ちょっとした買い物」（27.0%）、「ゴミだし」（22.8%）、「病院への送迎や付き添い」（21.0%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「安否確認の声かけ」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大鐸地区で「日常の話し相手」、豊島地区で「安否確認の声かけ」「病院への送迎や付き添い」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30歳代で「日常の話し相手」、60歳代で「ちょっとした買い物」「ゴミだし」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

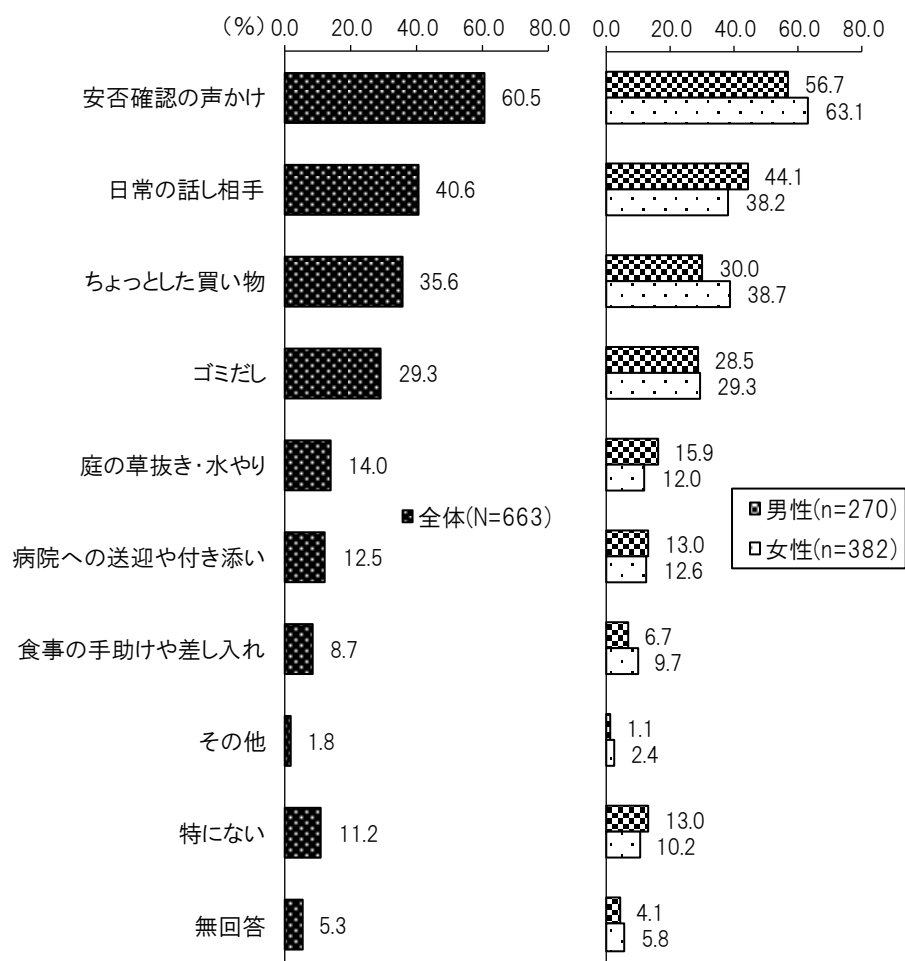
単位 (%)	安否確認の声かけ	日常の話し相手	ちょっとした買い物	ゴミだし	病院への送迎や付き添い	庭の草抜き・水やり	食事の手助けや差し入れ	その他	特にない
全体(N=663)	49.0	31.4	27.0	22.8	21.0	11.2	10.1	1.5	18.1
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	48.6	30.8	24.7	21.9	22.3	9.3	8.1	1.2	18.6
淵崎地区(n=153)	51.6	27.5	23.5	22.2	14.4	8.5	7.8	2.6	24.2
大鐸地区(n=50)	50.0	50.0	26.0	22.0	22.0	18.0	10.0	2.0	8.0
四海地区(n=67)	38.8	25.4	31.3	22.4	22.4	13.4	13.4	1.5	20.9
北浦地区(n=51)	41.2	37.3	35.3	27.5	21.6	11.8	11.8	2.0	21.6
大部地区(n=55)	54.5	29.1	36.4	25.5	23.6	14.5	16.4	0.0	12.7
豊島地区(n=30)	63.3	26.7	20.0	20.0	36.7	16.7	20.0	0.0	3.3
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	54.3	34.3	22.9	14.3	22.9	5.7	14.3	0.0	20.0
30歳代(n=47)	53.2	44.7	23.4	21.3	19.1	12.8	14.9	2.1	21.3
40歳代(n=70)	57.1	28.6	24.3	17.1	14.3	7.1	7.1	0.0	24.3
50歳代(n=79)	55.7	24.1	22.8	21.5	20.3	12.7	7.6	1.3	20.3
60歳代(n=124)	53.2	26.6	36.3	29.0	20.2	15.3	13.7	0.0	19.4
70歳以上(n=302)	42.7	32.8	25.8	23.2	23.2	10.3	8.9	2.6	15.2

4 手伝えること

問 23 近くに困っている世帯があったとき、あなたが手伝えることができると思うことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

手伝えることについては、「安否確認の声かけ」の割合が60.5%と最も高く、次いで「日常の話し相手」（40.6%）、「ちょっとした買い物」（35.6%）、「ゴミだし」（29.3%）、「庭の草抜き・水やり」（14.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「日常の話し相手」の割合が高く、女性は「安否確認の声かけ」「ちょっとした買い物」の割合が男性を上回っている。



居住地区別では、大鐸地区や北浦地区で「日常の話し相手」、大部地区で「ちょっとした買い物」「病院への送迎や付き添い」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「日常の話し相手」、30歳代で「ゴミだし」「庭の草抜き・水やり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

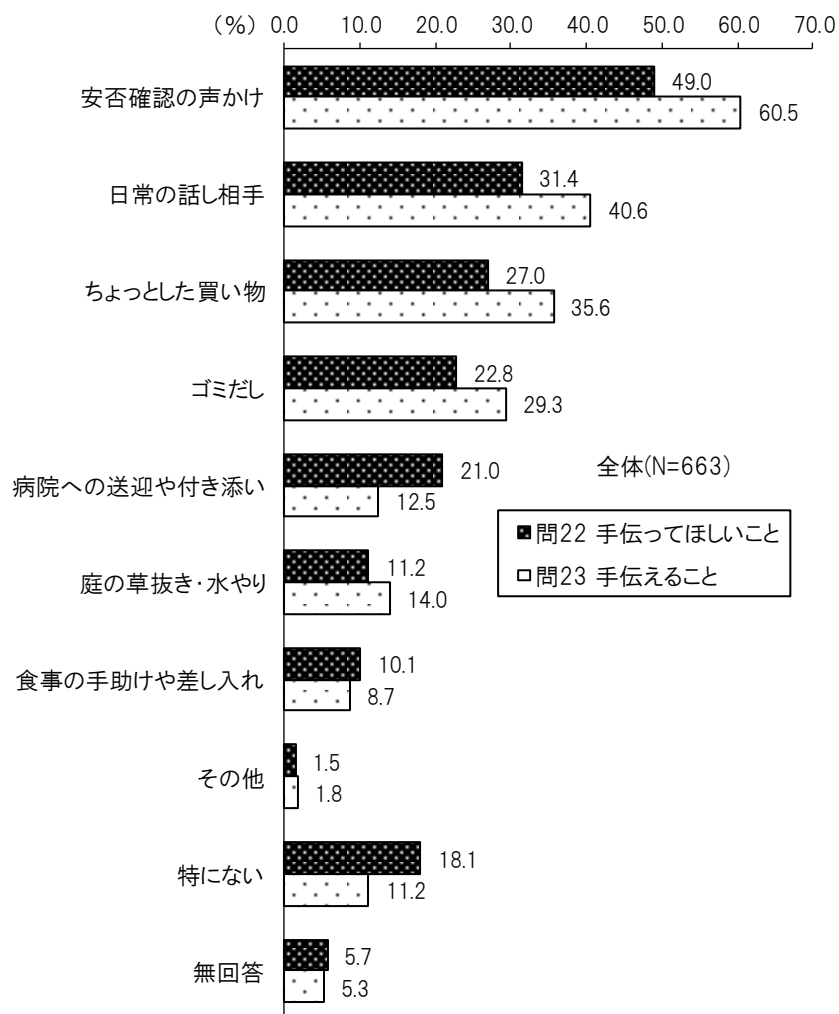
付き合い程度別では、挨拶をする程度や付き合いがない層で「特にない」の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別（問 26）では、参加している層で割合の高い項目が多くみられる。

単位 (%)	安否確認の声かけ	日常の話し相手	物ちょっとした買い	ゴミだし	庭の草抜き・水やり	病院への送迎や付き添い	食事の手助けや差し入れ	その他	特にない
全体(N=663)	60.5	40.6	35.6	29.3	14.0	12.5	8.7	1.8	11.2
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	62.3	41.3	33.2	29.6	13.0	9.7	9.7	2.0	10.1
淵崎地区(n=153)	58.8	34.0	31.4	25.5	11.8	13.1	7.2	2.6	19.0
大鐸地区(n=50)	66.0	54.0	32.0	30.0	16.0	12.0	6.0	2.0	8.0
四海地区(n=67)	49.3	32.8	43.3	31.3	19.4	14.9	4.5	1.5	13.4
北浦地区(n=51)	68.6	56.9	35.3	33.3	15.7	9.8	7.8	2.0	5.9
大部地区(n=55)	63.6	36.4	47.3	29.1	12.7	23.6	10.9	0.0	7.3
豊島地区(n=30)	50.0	46.7	36.7	30.0	13.3	16.7	20.0	0.0	0.0
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	54.3	54.3	37.1	31.4	8.6	17.1	17.1	5.7	8.6
30歳代(n=47)	70.2	48.9	40.4	38.3	23.4	14.9	8.5	2.1	10.6
40歳代(n=70)	65.7	27.1	44.3	28.6	8.6	8.6	8.6	1.4	12.9
50歳代(n=79)	74.7	36.7	43.0	29.1	16.5	7.6	6.3	1.3	8.9
60歳代(n=124)	62.9	34.7	41.1	30.6	16.1	12.1	12.1	0.8	8.9
70歳以上(n=302)	54.0	44.4	27.8	26.8	12.3	14.2	7.0	2.0	12.6
【付き合い程度別】									
家族同士の付き合い(n=44)	65.9	52.3	27.3	31.8	13.6	20.5	9.1	2.3	2.3
困ったとき助け合える付き合い(n=82)	70.7	58.5	51.2	34.1	17.1	25.6	15.9	0.0	3.7
立ち話をする程度(n=177)	63.8	58.8	40.7	34.5	15.3	12.4	13.6	3.4	4.0
挨拶をする程度(n=295)	61.0	26.1	31.5	27.1	14.2	9.2	4.4	1.4	17.3
付き合いがない(n=34)	38.2	32.4	29.4	17.6	5.9	5.9	5.9	2.9	29.4
【ボランティア参加状況別】									
参加している(n=116)	77.6	52.6	48.3	39.7	20.7	19.0	15.5	1.7	0.0
以前参加していた(n=144)	67.4	46.5	41.7	33.3	13.9	15.3	11.1	1.4	9.7
参加したことがない(n=383)	55.4	35.8	31.1	25.8	12.5	9.9	6.0	1.8	15.4

【参考／問 22「手伝ってほしいこと」と問 23「手伝えること」の比較】

問 22「手伝ってほしいこと」と問 23「手伝えること」を比較すると、「病院への送迎や付き添い」では、手伝ってほしい割合（21.0％）が手伝える割合（12.5％）を上回っているが、ほとんど全ての項目で、手伝えることが手伝ってほしいことを上回っている。



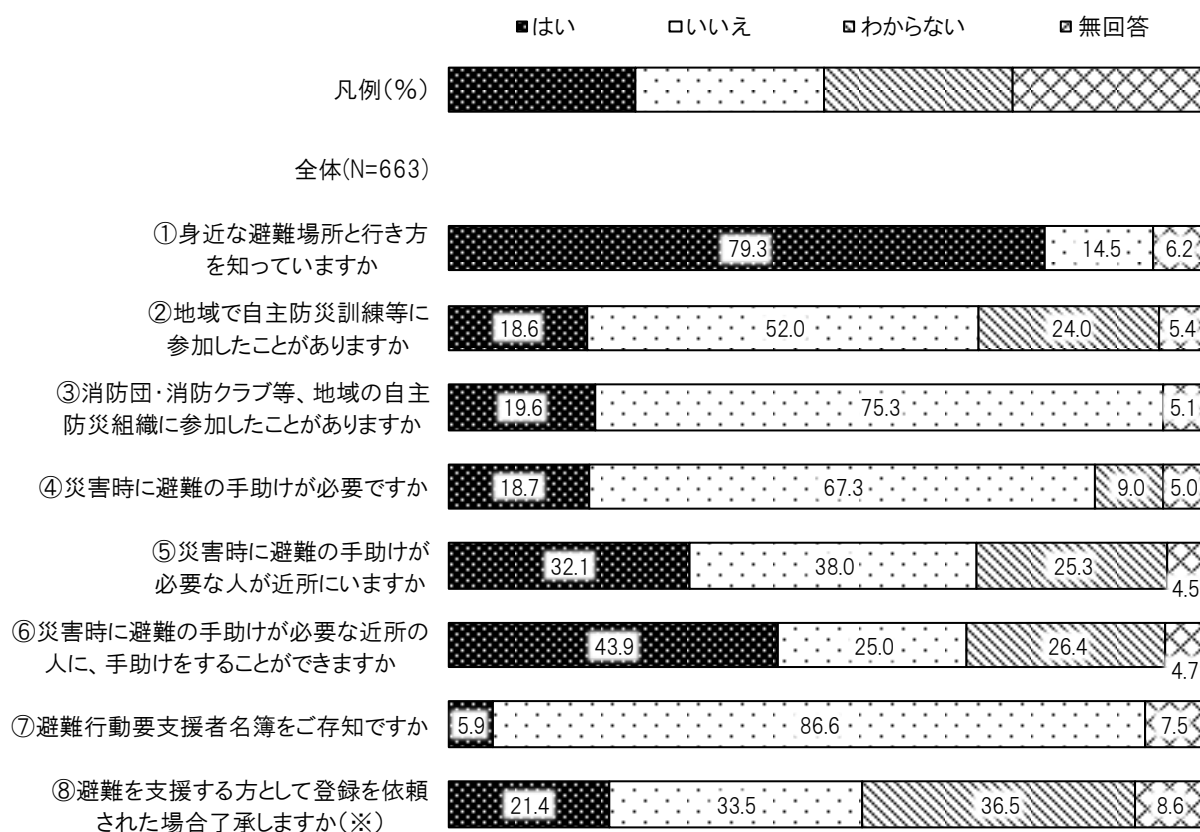
【5】防災について

1 防災について

問 24 防災に関連する①～⑧の項目について、それぞれあてはまるものをお答えください。（それぞれ○は1つ）

防災について「はい」の割合が高い順に「①身近な避難場所と行き方を知っていますか」（79.3%）、「⑥災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか」（43.9%）、「⑤災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか」（32.1%）となっている。

一方、「いいえ」の割合が高い順に「⑦避難行動要支援者名簿をご存知ですか」（86.6%）、「③消防団・消防クラブ等、地域の自主防災組織に参加したことがありますか」（75.3%）、「④災害時に避難の手助けが必要ですか」（67.3%）、「②地域で自主防災訓練等に参加したことがありますか」（52.0%）となっている。



※⑧避難行動要支援者の避難を支援する方として登録を依頼された場合、了承しますか
注：①③⑦については、「わからない」の選択肢はない。

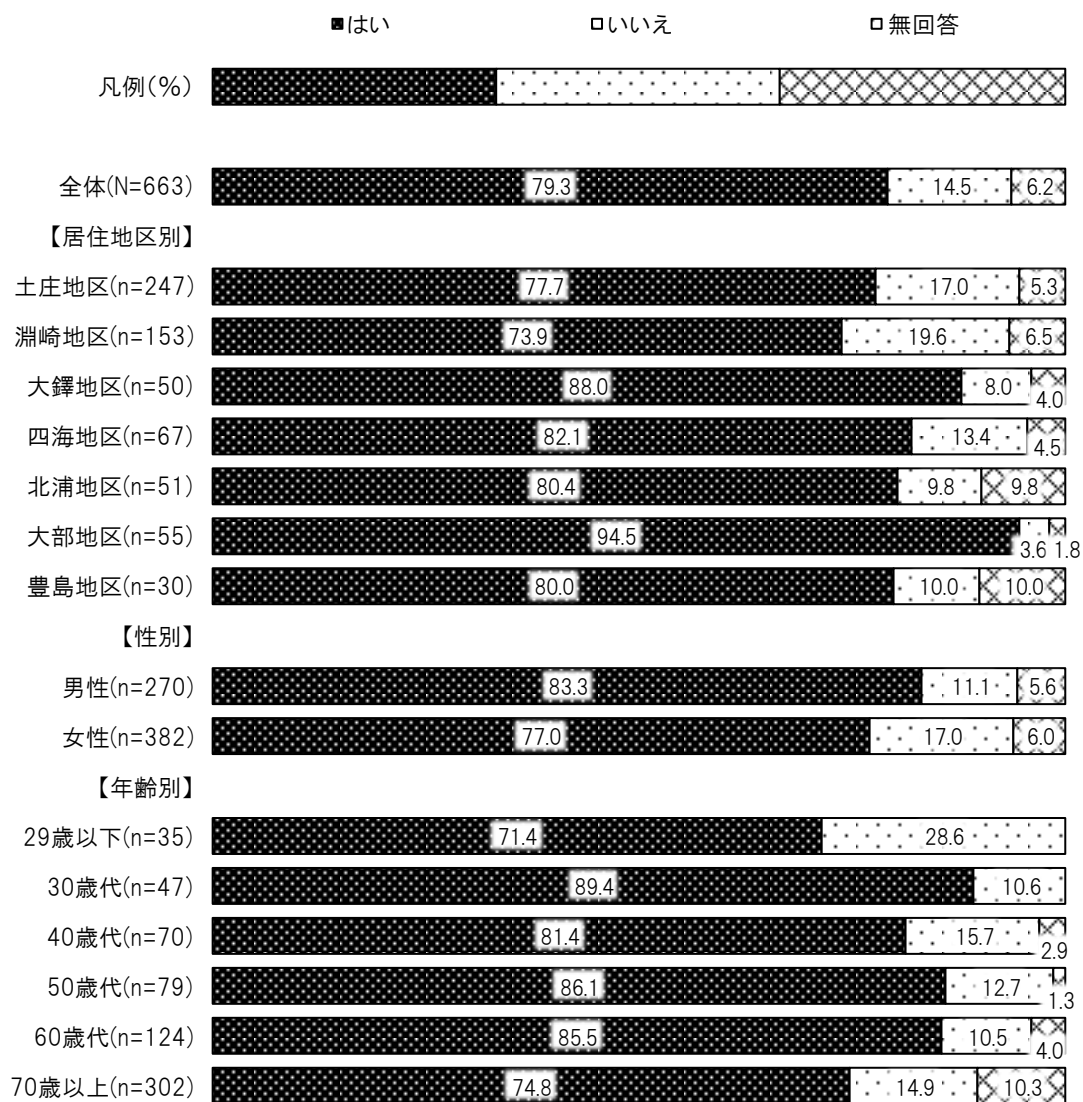
①身近な避難場所と行き方を知っていますか

「身近な避難場所と行き方を知っていますか」については、「はい」が 79.3%、「いいえ」が 14.5%となっている。

居住地区別では、大部地区で「はい」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

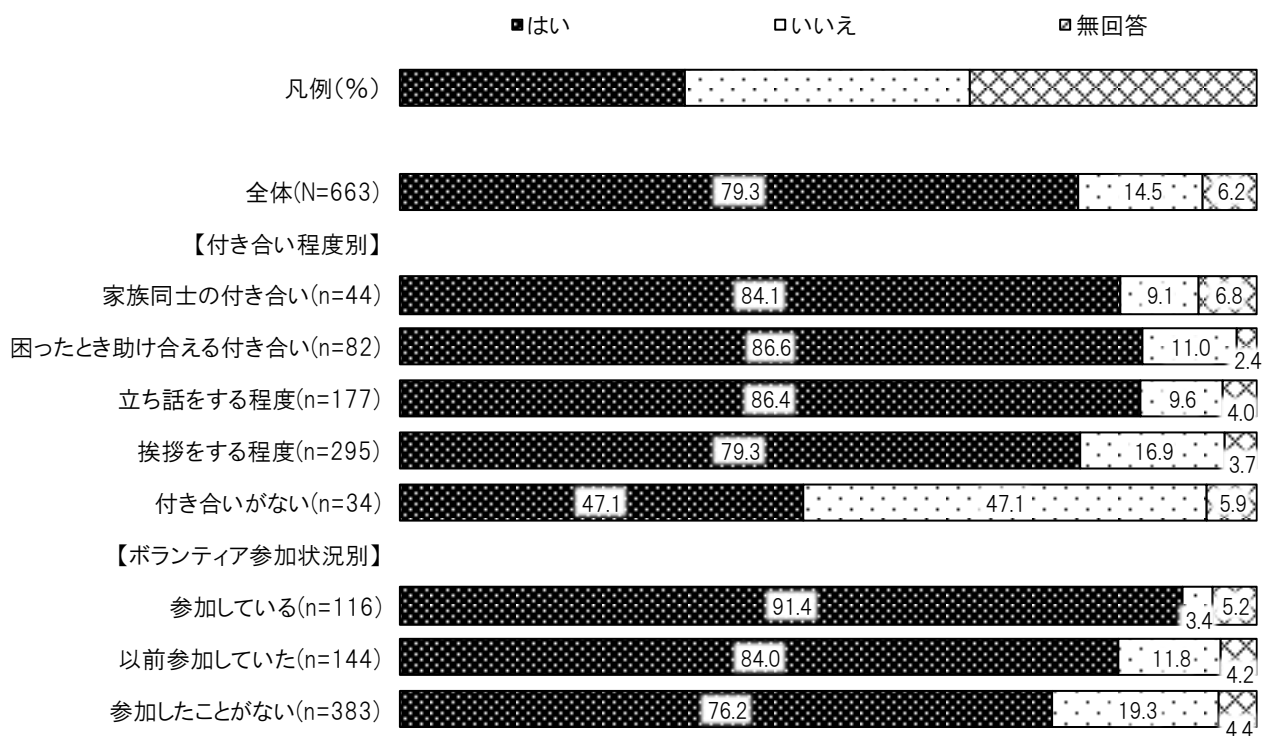
性別では、男性は女性に比べ「はい」の割合が高く、女性は「いいえ」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「いいえ」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



付き合い程度別では、付き合いがない層で「いいえ」の割合が他の層を大きく上回っている。

ボランティア参加状況別では、参加したことがない層で「いいえ」の割合が高くなっている。



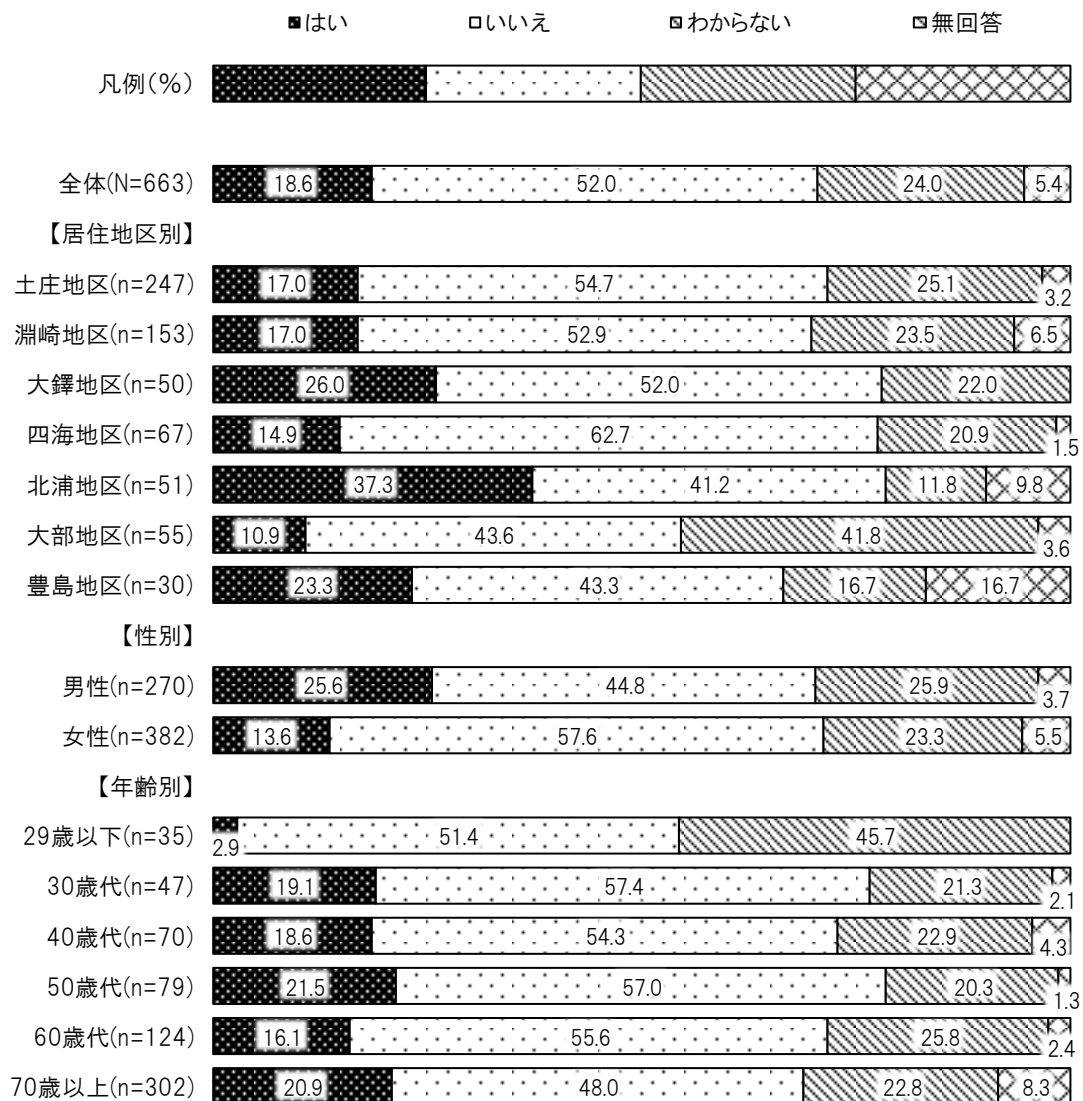
②地域で自主防災訓練等に参加したことがありますか

「地域で自主防災訓練等に参加したことがありますか」については、「はい」が 18.6%、「いいえ」が 52.0%となっている。

居住地区別では、四海地区で「いいえ」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

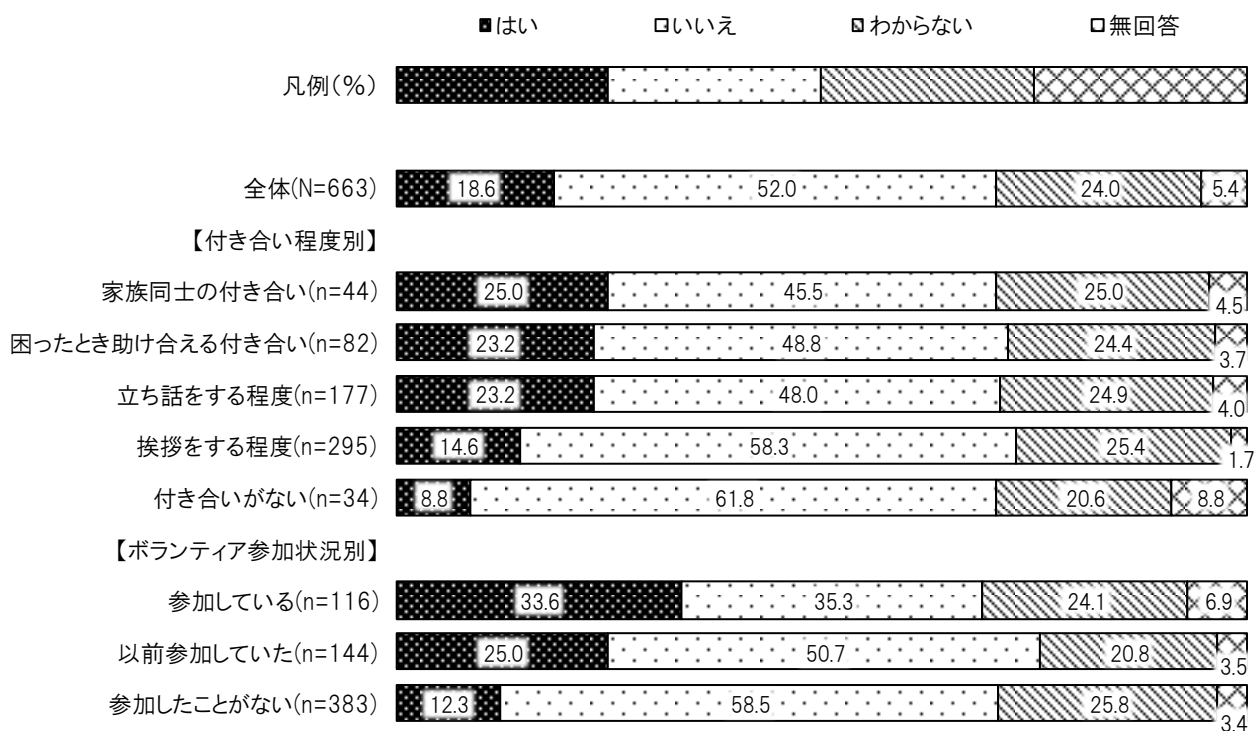
性別では、男性は「はい」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「わからない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



付き合い程度別では、挨拶をする程度や付き合いがない層で「いいえ」の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加している層で「はい」の割合が高くなっている。



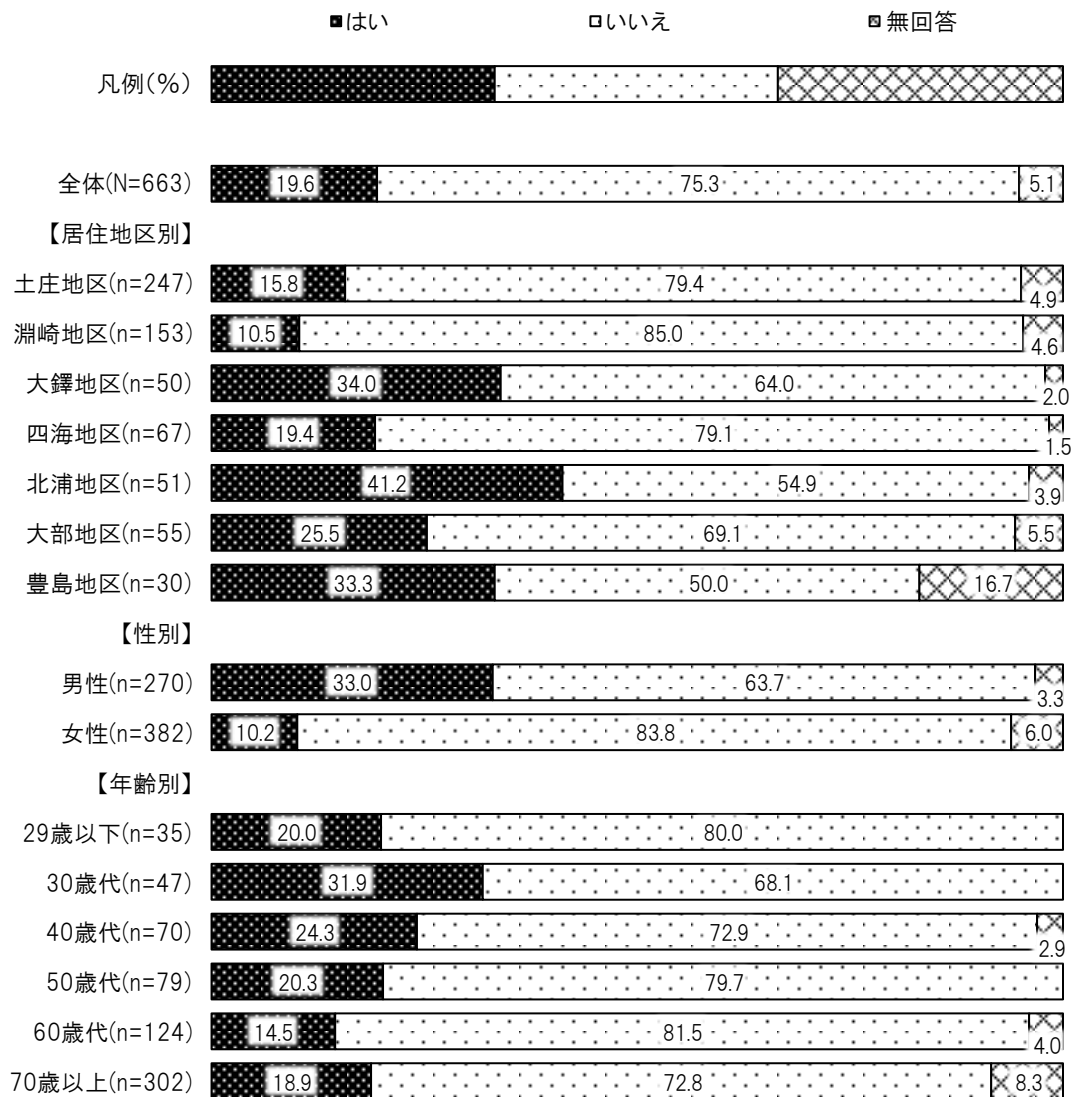
③消防団・消防クラブ等、地域の自主防災組織に参加したことがありますか

「消防団・消防クラブ等、地域の自主防災組織に参加したことがありますか」については、「はい」が19.6%、「いいえ」が75.3%となっている。

居住地区別では、淵崎地区で「はい」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

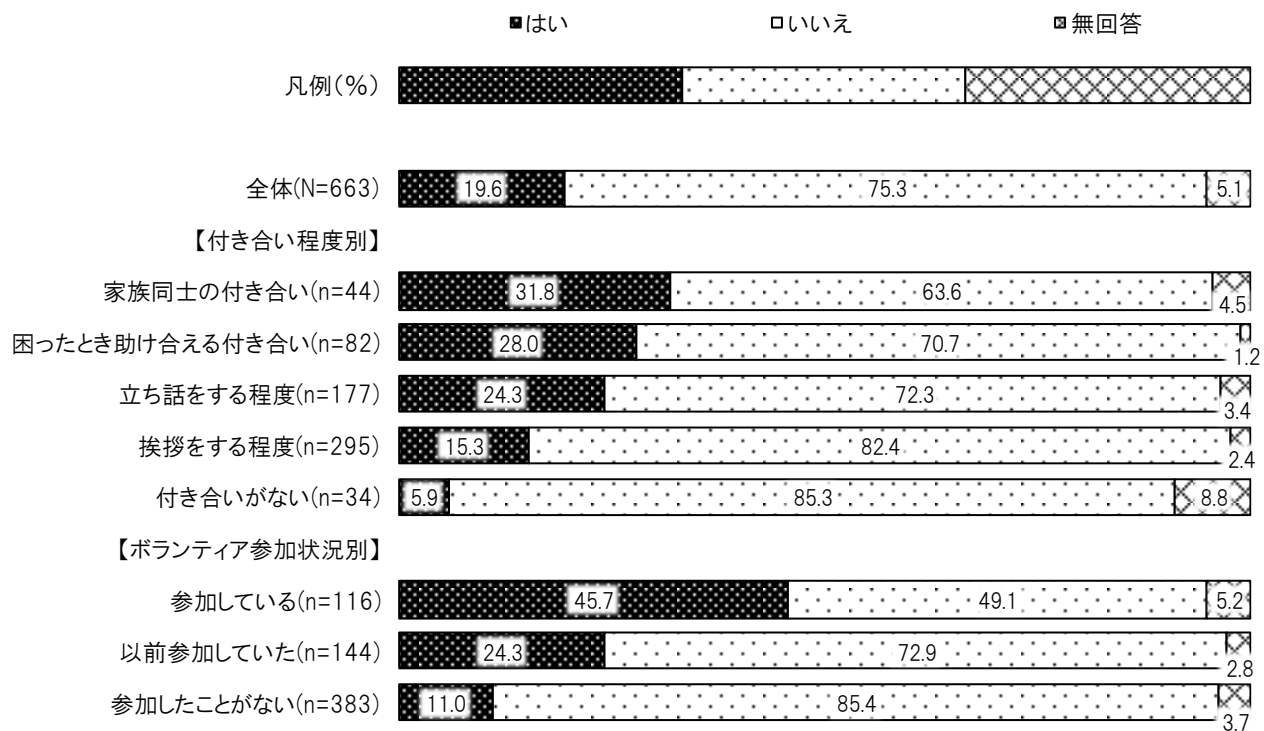
性別では、男性は「はい」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、30歳代で「はい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



付き合い程度別では、挨拶をする程度や付き合いがない層で「いいえ」の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加している層で「はい」の割合が他の層を大きく上回っている。



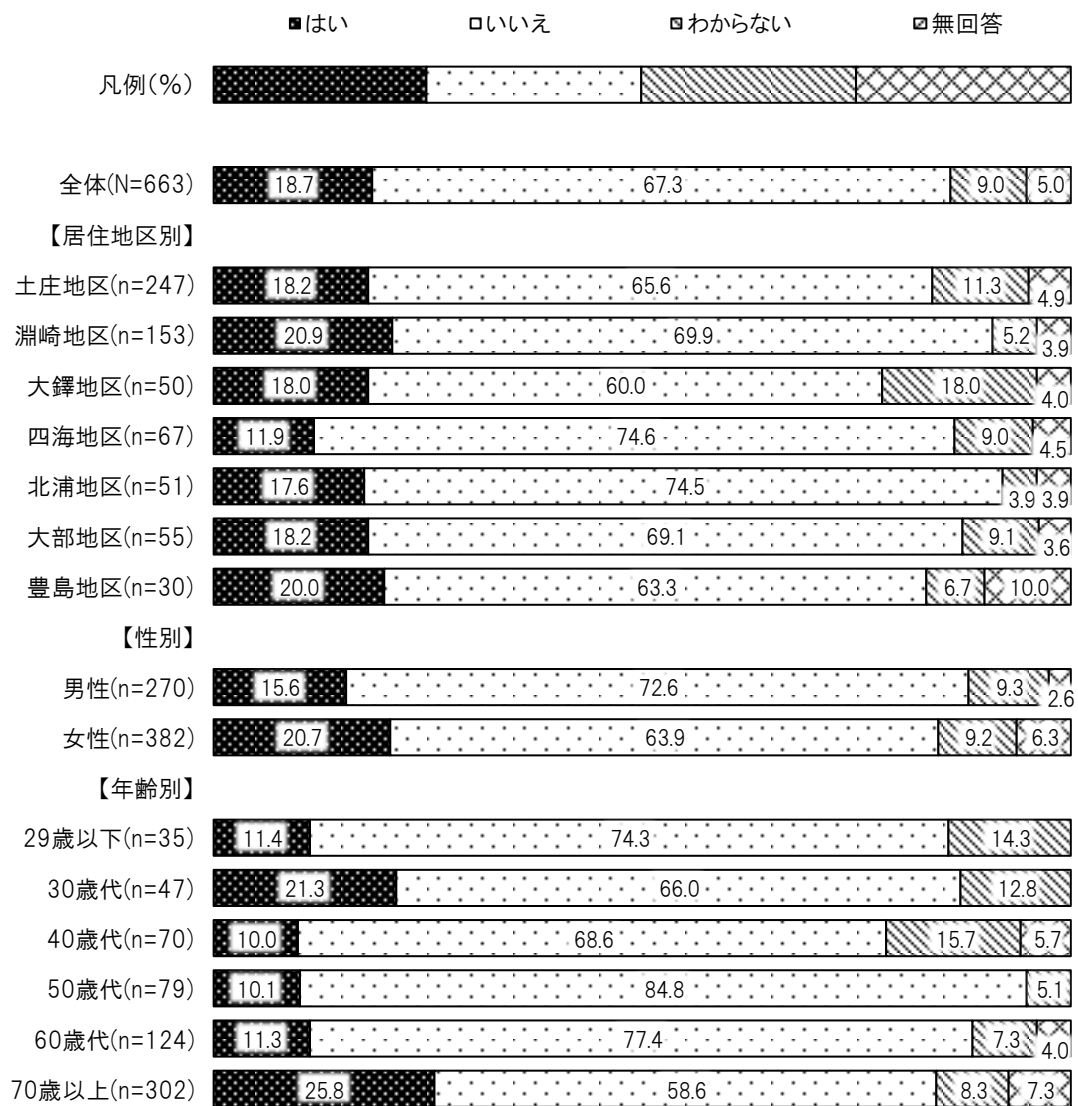
④災害時に避難の手助けが必要ですか

「災害時に避難の手助けが必要ですか」については、「はい」が 18.7%、「いいえ」が 67.3%となっている。

居住地区別では、大鐸地区で「わからない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

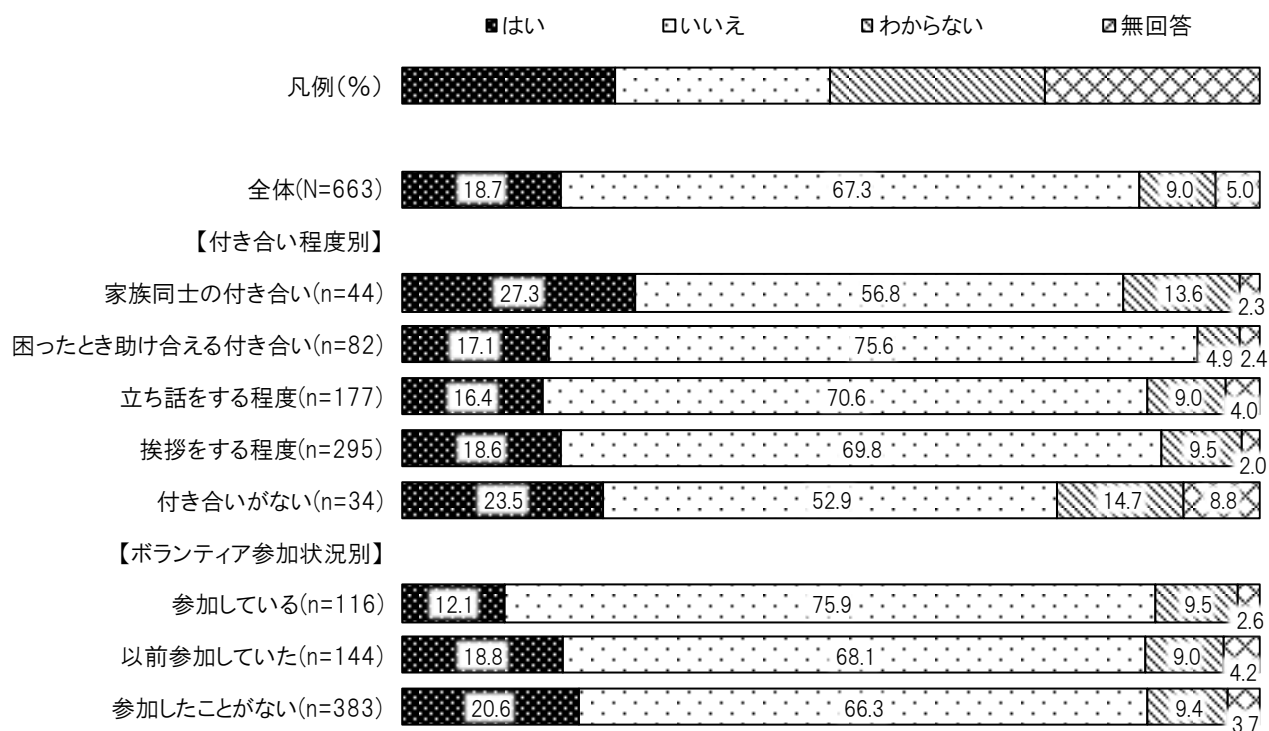
性別では、女性は男性に比べ「はい」の割合が高くなっている。

年齢別では、30 歳代や 70 歳以上で「はい」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



付き合い程度別では、家族同士の付き合いをしている層で「はい」の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加している層で「いいえ」の割合が高くなっている。



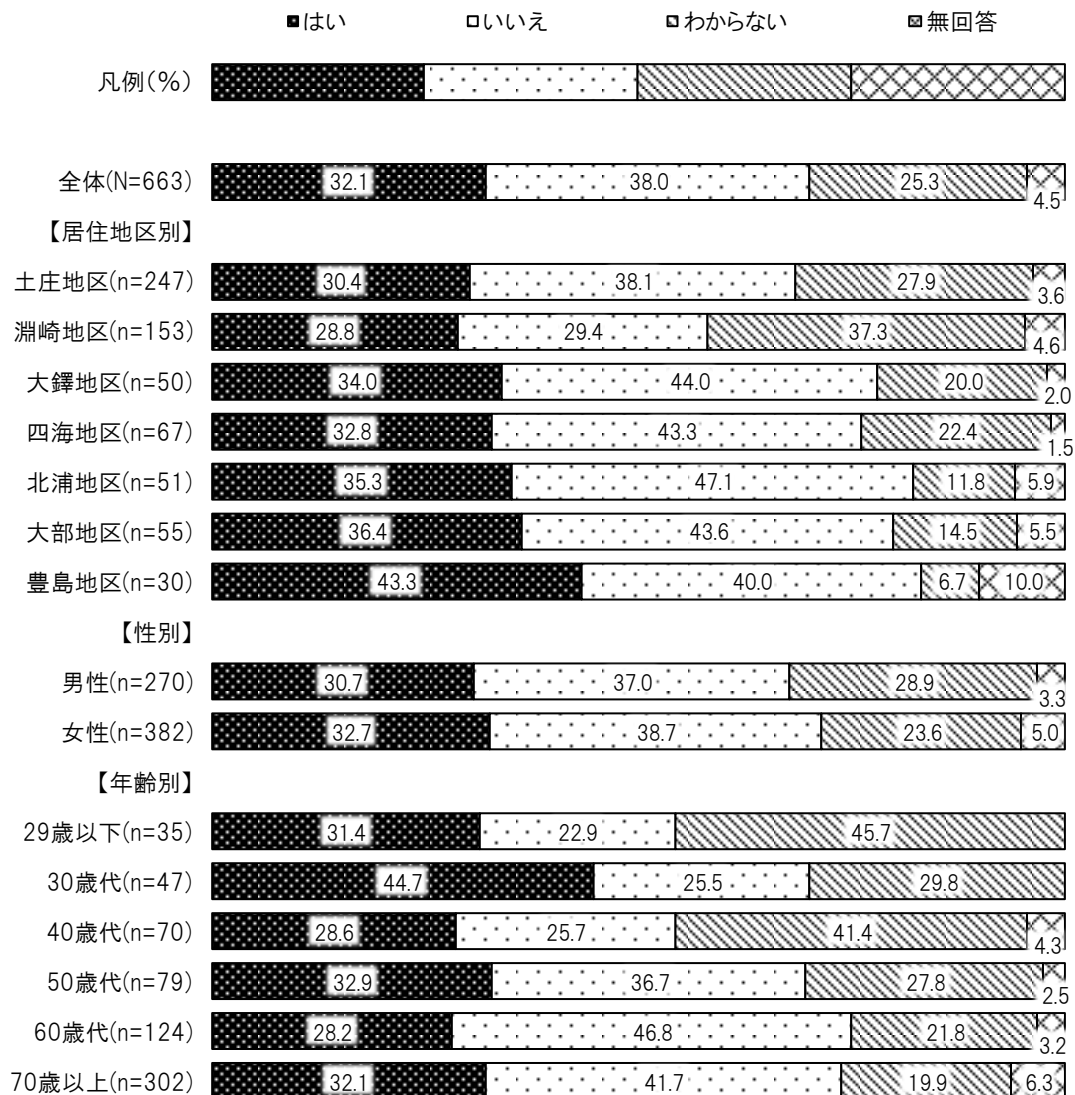
⑤災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか

「災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか」については、「はい」が 32.1%、「いいえ」が 38.0%、「わからない」が 25.3%となっている。

居住地区別では、豊島地区で「はい」、淵崎地区で「わからない」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

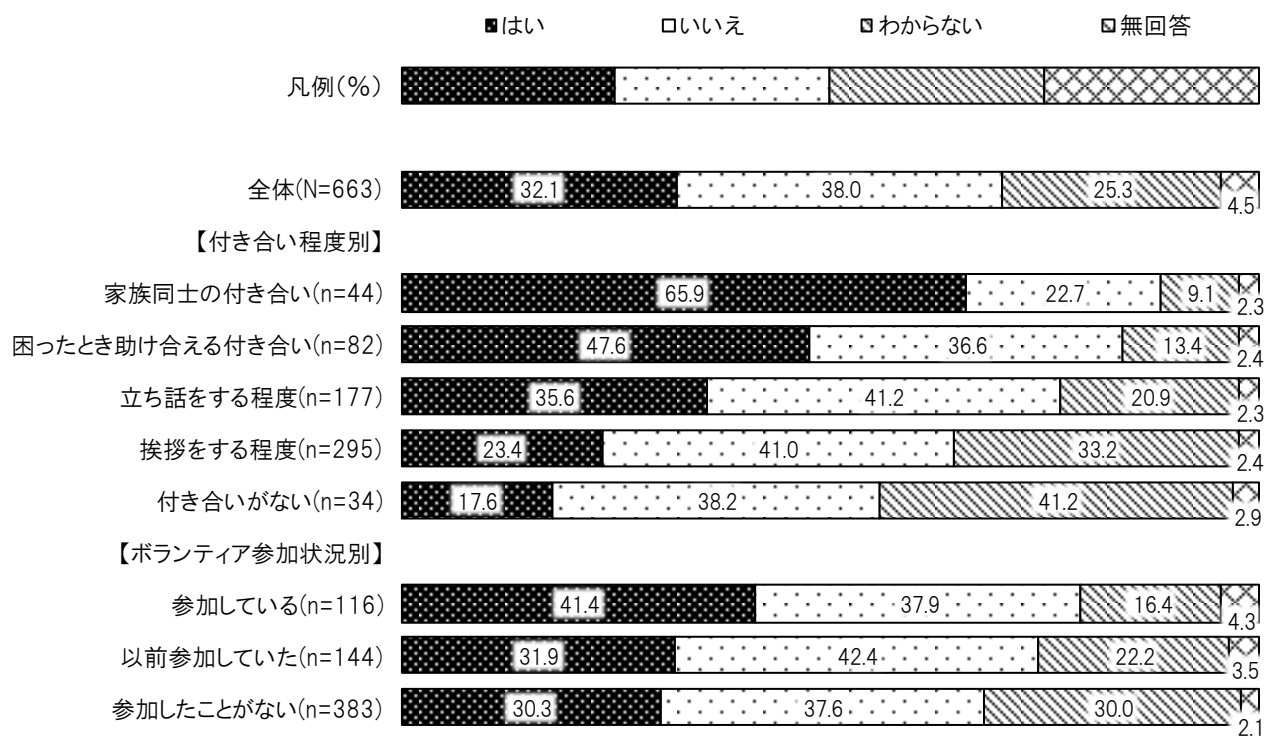
性別では、男性は女性に比べ「わからない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30 歳代で「はい」、29 歳以下や 40 歳代で「わからない」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど「はい」の割合が高く、挨拶をする程度や付き合いがない層で「わからない」の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加している層で「はい」の割合が高くなっている。



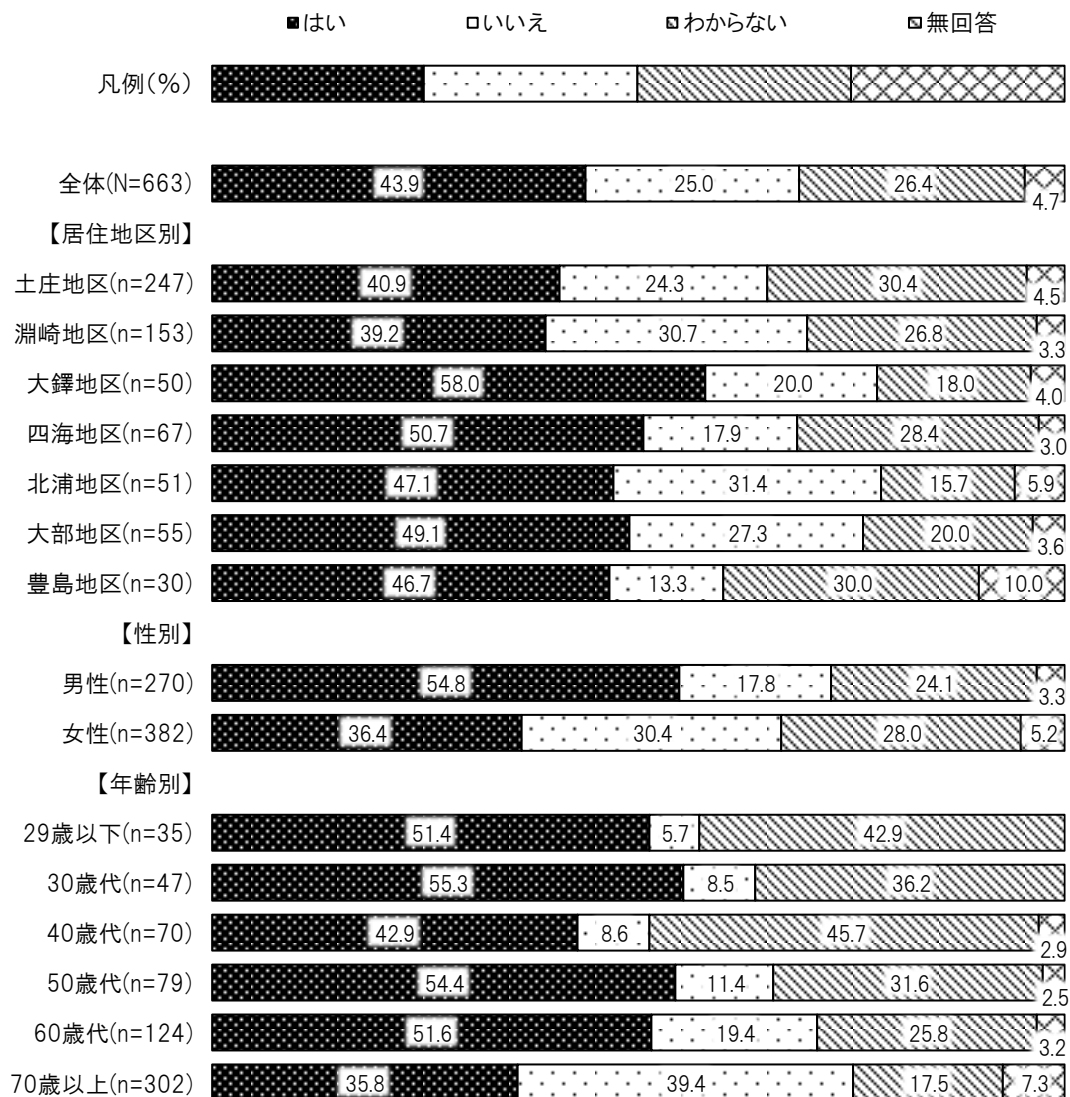
⑥災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか

「災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか」については、「はい」が43.9%、「いいえ」が25.0%、「わからない」が26.4%となっている。

居住地区別では、大鐸地区で「はい」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

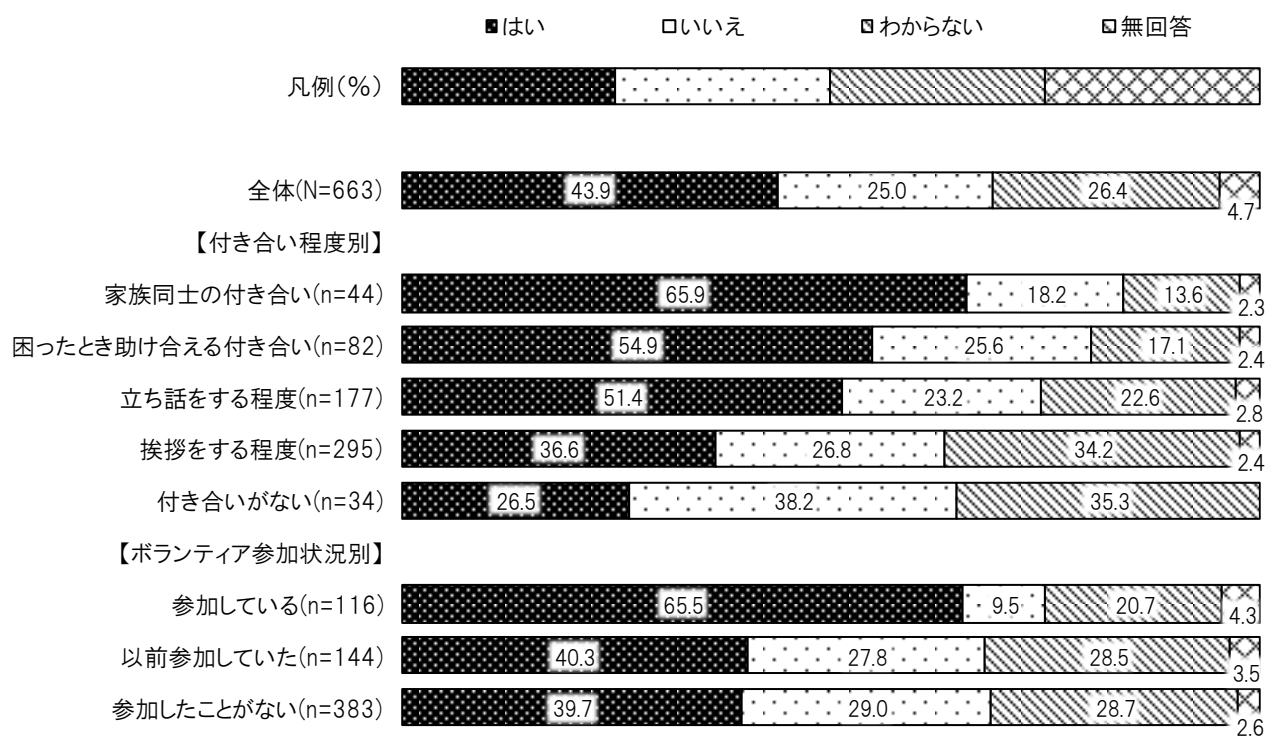
性別では、男性は「はい」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「いいえ」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下や40歳代で「わからない」、70歳以上で「いいえ」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど「はい」の割合が高く、付き合いがない層で「いいえ」の割合が高くなっている。

ボランティア参加状況別では、参加している層で「はい」の割合が他の層を大きく上回っている。

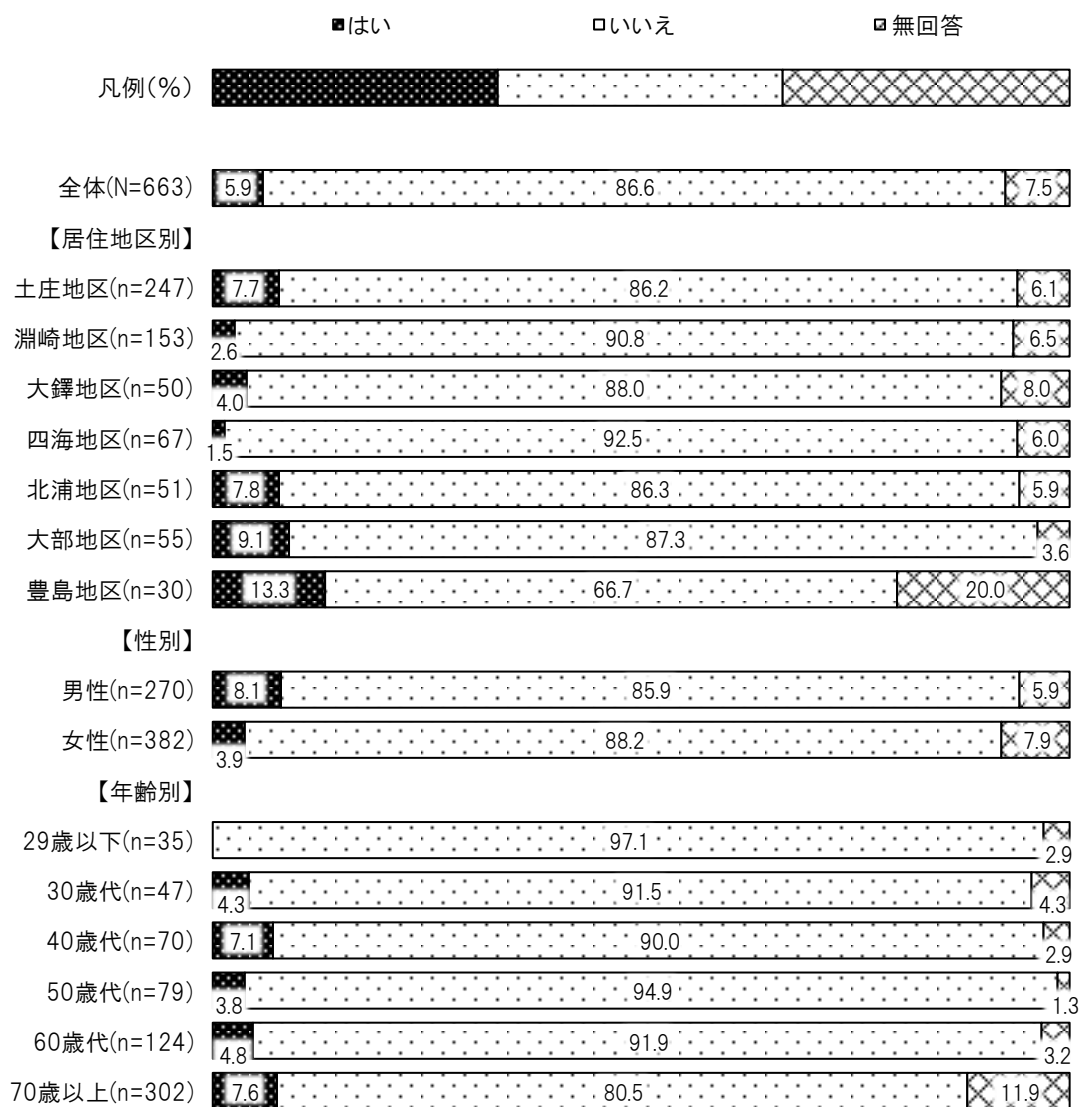


⑦避難行動要支援者名簿をご存知ですか

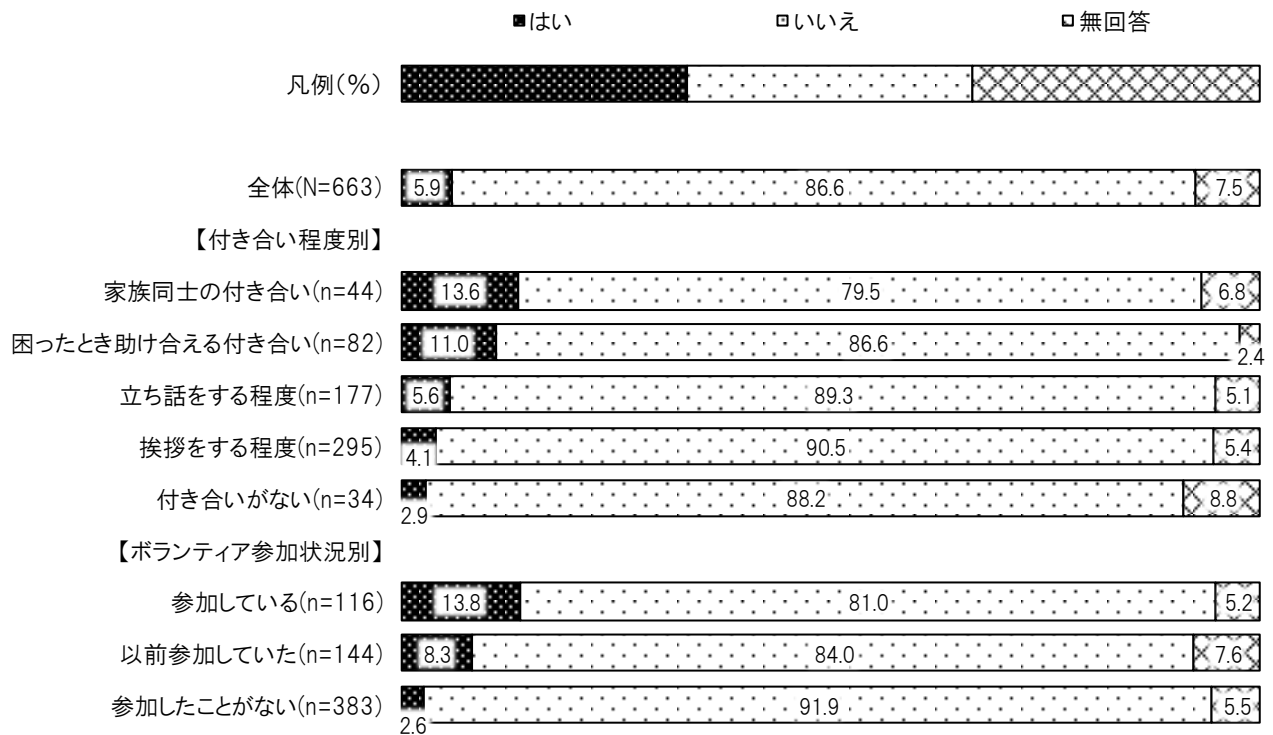
「避難行動要支援者名簿をご存知ですか」については、「はい」が5.9%、「いいえ」が86.6%となっている。

居住地区別では、豊島地区で「はい」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。
性別では、男性は女性に比べ「はい」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「いいえ」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている一方、70歳以上では低くなっている。



付き合い程度別では、付き合いが親しい層で「はい」の割合が高くなっている。
ボランティア参加状況別では、参加している層で「はい」の割合が高くなっている。



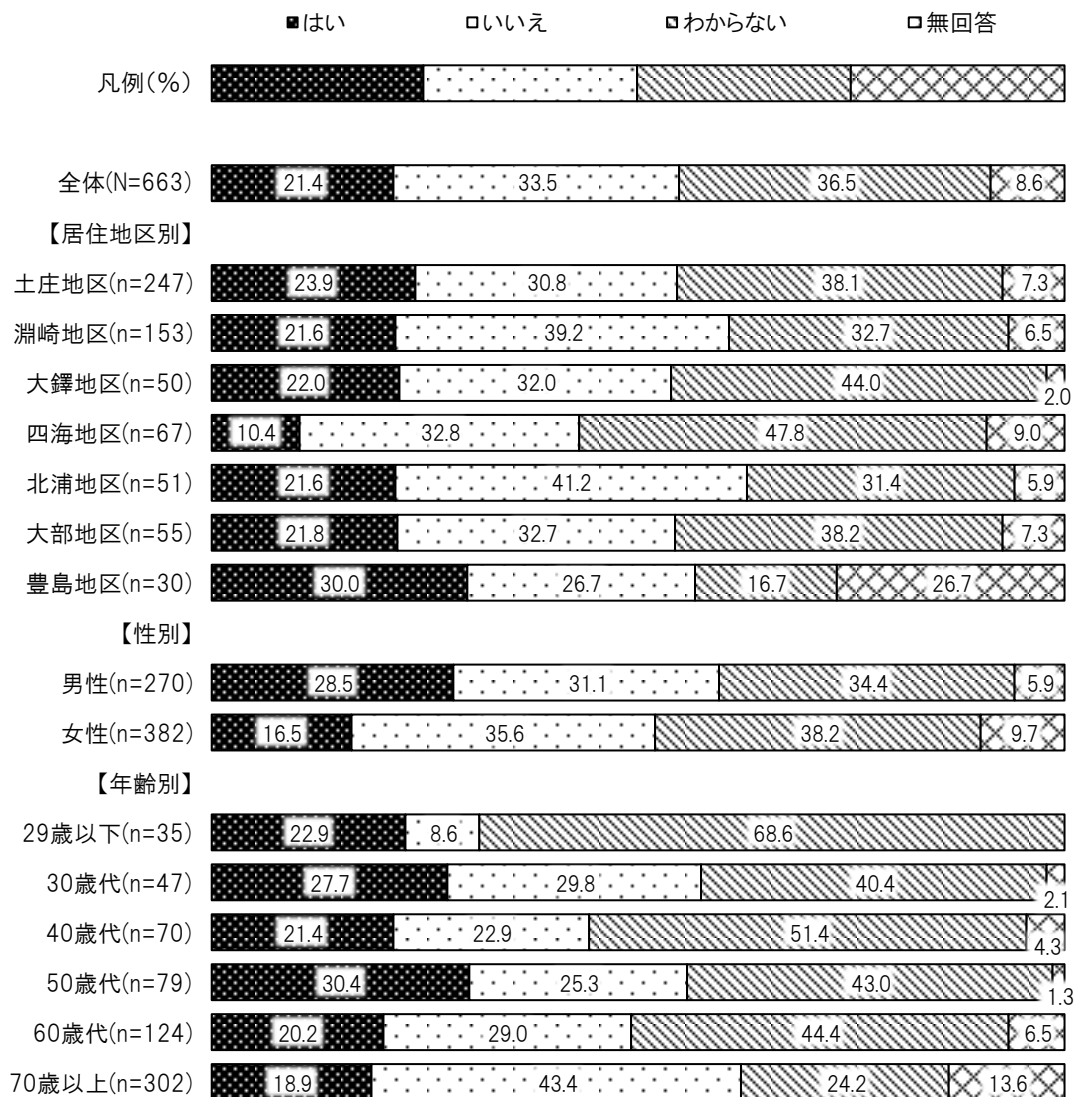
⑧避難行動要支援者の避難を支援する方として登録を依頼された場合、了承しますか

「避難行動要支援者の避難を支援する方として登録を依頼された場合、了承しますか」については、「はい」が21.4%、「いいえ」が33.5%、「わからない」が36.5%となっている。

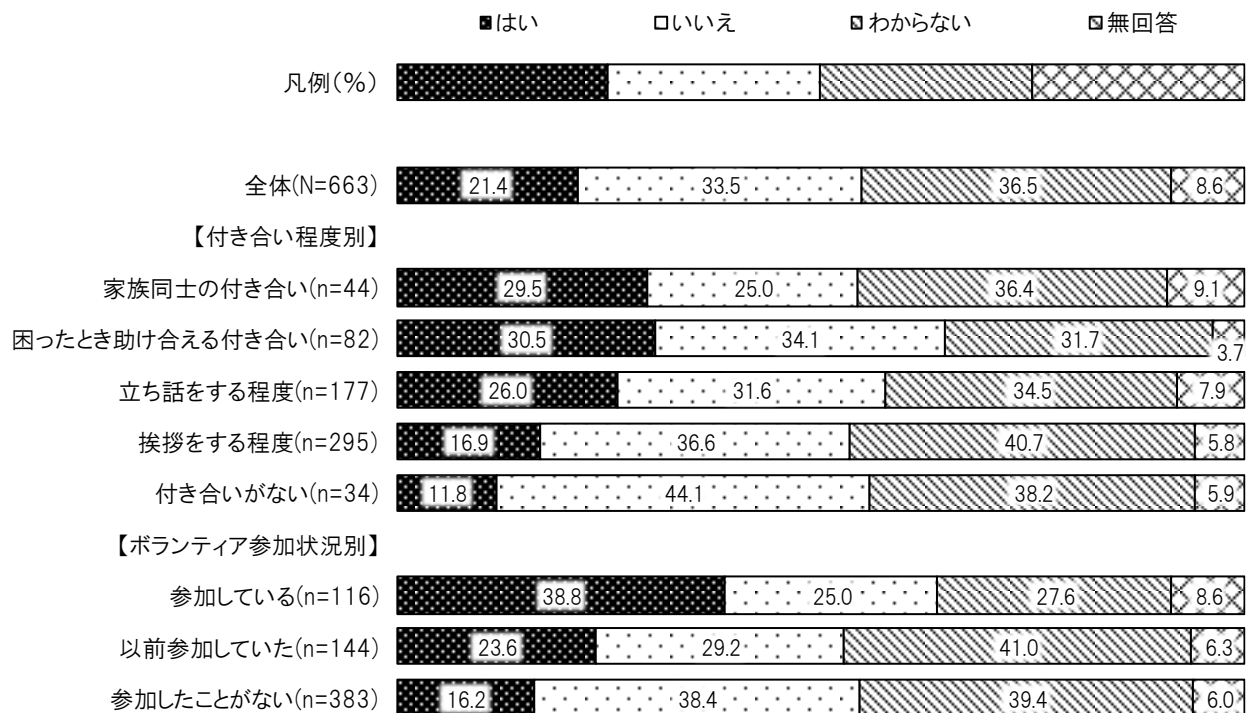
居住地区別では、四海地区で「はい」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

性別では、男性は「はい」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「わからない」、30歳代や50歳代で「はい」、70歳以上で「いいえ」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



付き合い程度別では、付き合いがない層で「いいえ」の割合が高くなっている。
ボランティア参加状況別では、参加している層で「はい」の割合が高くなっている。

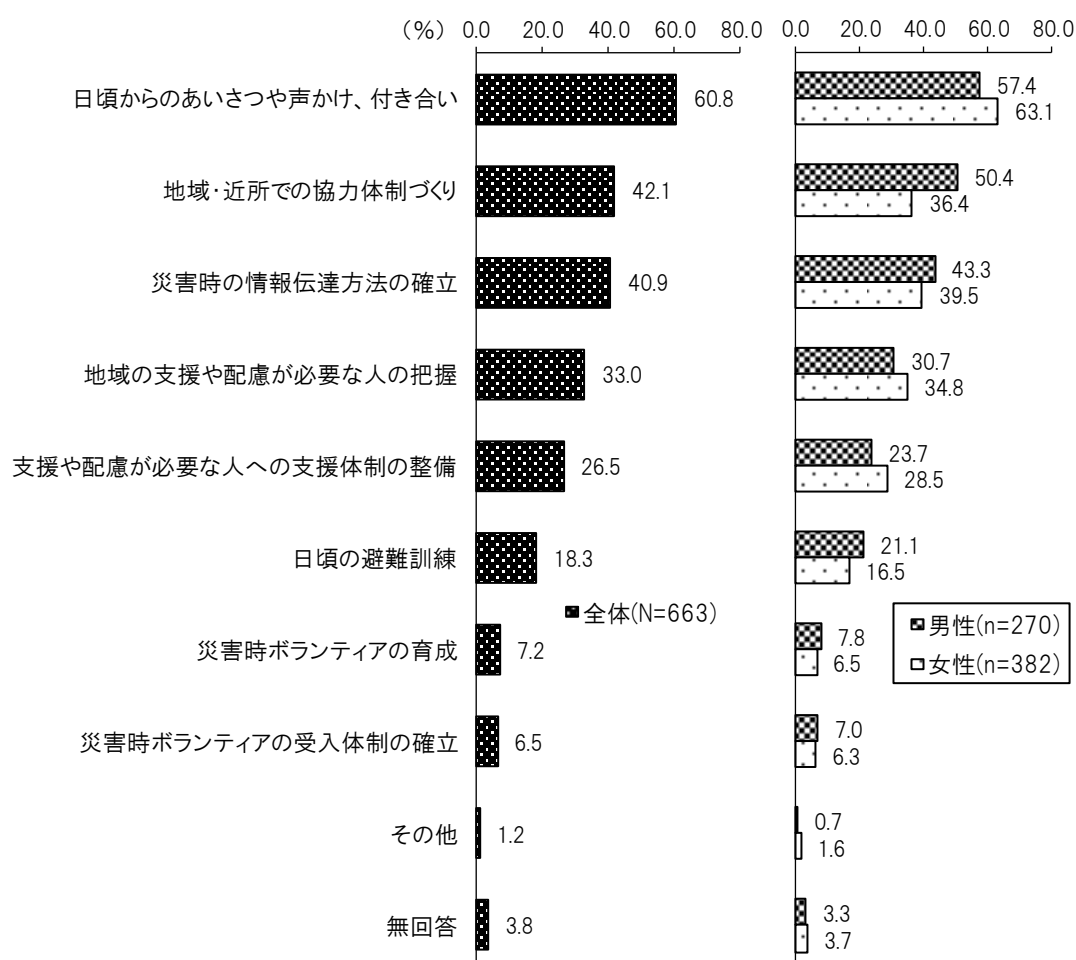


2 緊急時の備えとして重要なこと

問 25 地域において、災害など緊急時の備えとして、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。（○は3つまで）

緊急時の備えとして重要なことについては、「日頃からのあいさつや声かけ、付き合い」の割合が60.8%と最も高く、次いで「地域・近所での協力体制づくり」（42.1%）、「災害時の情報伝達方法の確立」（40.9%）、「地域の支援や配慮が必要な人の把握」（33.0%）、「支援や配慮が必要な人への支援体制の整備」（26.5%）の順となっている。

性別では、男性は「地域・近所での協力体制づくり」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「日頃からのあいさつや声かけ、付き合い」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大鐸地区で「地域の支援や配慮が必要な人の把握」、大部地区で「災害時の情報伝達方法の確立」、豊島地区で「日頃の避難訓練」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「災害時ボランティアの育成」、30歳代で「支援や配慮が必要な人への支援体制の整備」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	日頃からのあいさつや声かけ	地域・近所での協力体制	災害時の情報伝達方法の確立	地域の支援や配慮が必要な人の把握	支援や配慮が必要な人への支援体制の整備	日頃の避難訓練	災害時ボランティアの育成	災害時のボランティアの受け入れ体制の確立	その他
全体(N=663)	60.8	42.1	40.9	33.0	26.5	18.3	7.2	6.5	1.2
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	58.3	42.1	40.5	30.8	25.9	17.8	8.1	7.7	1.6
淵崎地区(n=153)	63.4	36.6	41.2	34.0	23.5	19.6	7.2	5.9	0.7
大鐸地区(n=50)	64.0	52.0	40.0	44.0	20.0	24.0	12.0	6.0	0.0
四海地区(n=67)	56.7	38.8	43.3	34.3	22.4	20.9	3.0	9.0	3.0
北浦地区(n=51)	64.7	35.3	35.3	29.4	35.3	5.9	5.9	3.9	2.0
大部地区(n=55)	65.5	56.4	50.9	34.5	38.2	10.9	5.5	7.3	0.0
豊島地区(n=30)	66.7	50.0	33.3	33.3	26.7	33.3	3.3	0.0	0.0
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	62.9	37.1	22.9	40.0	11.4	22.9	17.1	5.7	2.9
30歳代(n=47)	63.8	40.4	40.4	40.4	42.6	25.5	4.3	8.5	0.0
40歳代(n=70)	54.3	27.1	35.7	41.4	34.3	17.1	5.7	8.6	0.0
50歳代(n=79)	63.3	41.8	43.0	38.0	30.4	17.7	5.1	7.6	1.3
60歳代(n=124)	60.5	43.5	44.4	37.9	21.8	13.7	8.1	6.5	2.4
70歳以上(n=302)	61.3	46.0	43.0	26.2	25.2	18.9	6.6	5.3	1.0

【6】ボランティア活動について

1 ボランティア活動への参加状況

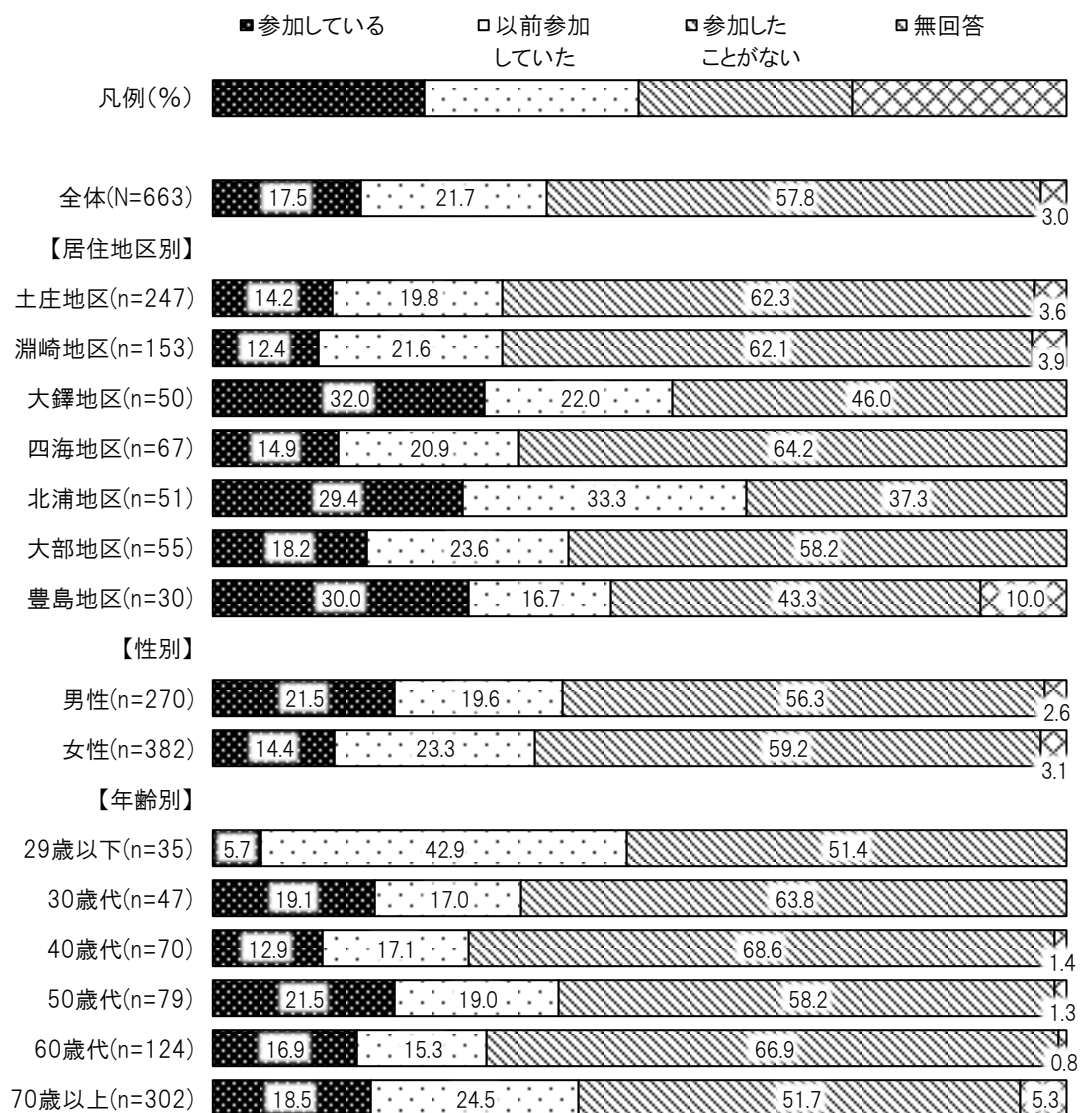
問 26 ボランティア活動に参加していますか。（○は1つ）

ボランティア活動への参加状況については、「参加している」の割合が17.5%、「以前参加していた」が21.7%、合計で約4割（39.2%）となっている。一方、「参加したことがない」は57.8%となっている。

居住地区別では、大鐸地区、北浦地区、豊島地区で「参加している」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「参加している」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「以前参加していた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



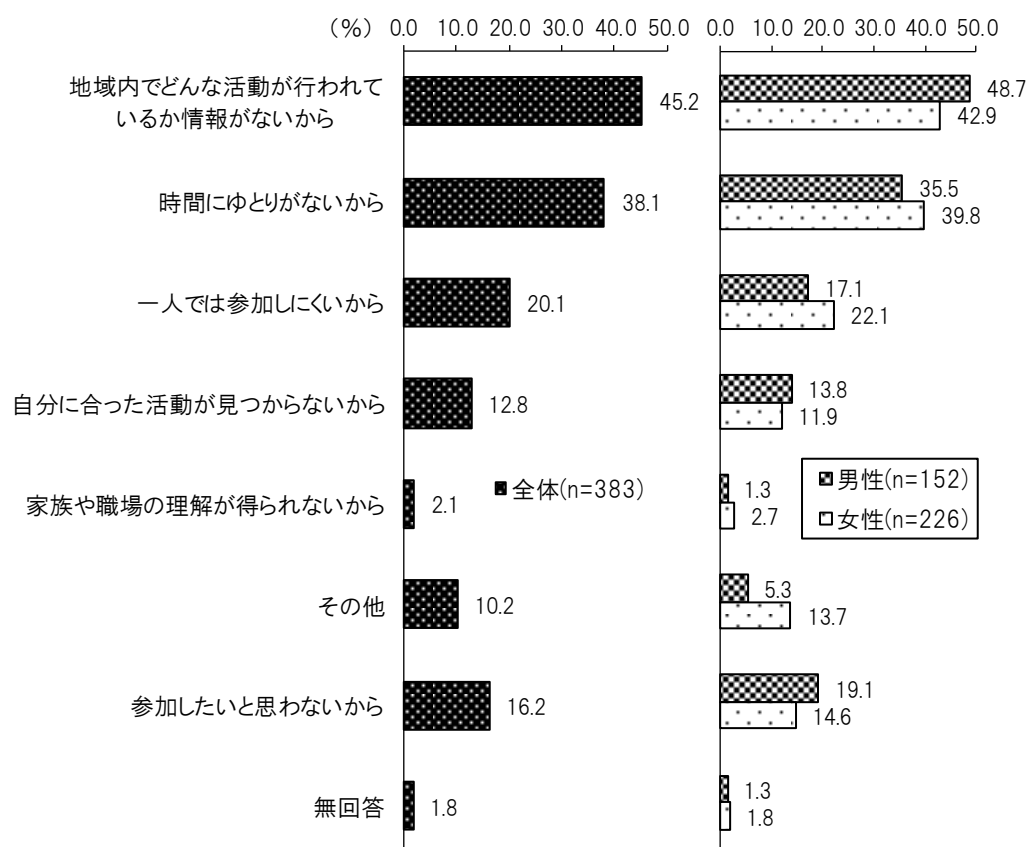
2 参加したことがない理由

【問 26 で「3 参加したことがない」と回答した方におたずねします。】

問 27 あなたが参加したことがない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）

参加したことがない理由については、「地域内でどんな活動が行われているか情報が無いから」の割合が45.2%と最も高く、次いで「時間にゆとりがないから」（38.1%）、「一人では参加しにくいから」（20.1%）、「自分に合った活動が見つからないから」（12.8%）の順となっている。また「その他」では、「高齢のため」「体力がないため」などの回答がみられた。

性別では、男性は女性に比べ「地域内でどんな活動が行われているか情報が無いから」の割合が高く、女性は「時間にゆとりがないから」「一人では参加しにくいから」の割合が男性を上回っている。



居住地区別では、豊島地区で「時間にゆとりがないから」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30歳代で「一人では参加しにくいから」、40～50歳代で「時間にゆとりがないから」、60歳代で「地域内でどんな活動が行われているか情報がないから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	な行地 いわ域 から内 でいど るんか な活 情動 がが	ら時 間に ゆと りが ない か	か一 ら人 では 参加 しに くい	つ自 から に合 った 活 動 が 見	ら家 族 ない や職 場 の理 解 が 得	そ の 他	か参 加 し た い と 思 わ ない
全体(n=383)	45.2	38.1	20.1	12.8	2.1	10.2	16.2
【居住地区別】							
土庄地区(n=154)	48.1	37.7	20.8	13.6	0.6	5.8	16.9
淵崎地区(n=95)	46.3	44.2	20.0	12.6	3.2	12.6	17.9
大鐸地区(n=23)	39.1	13.0	21.7	13.0	0.0	17.4	21.7
四海地区(n=43)	39.5	41.9	18.6	9.3	4.7	11.6	11.6
北浦地区(n=19)	42.1	21.1	21.1	15.8	5.3	15.8	5.3
大部地区(n=32)	43.8	34.4	15.6	12.5	0.0	12.5	18.8
豊島地区(n=13)	30.8	53.8	15.4	7.7	7.7	15.4	15.4
【年齢別】							
29歳以下(n=18)	44.4	44.4	22.2	11.1	0.0	5.6	11.1
30歳代(n=30)	46.7	46.7	30.0	20.0	3.3	3.3	16.7
40歳代(n=48)	45.8	60.4	22.9	14.6	0.0	2.1	20.8
50歳代(n=46)	43.5	63.0	17.4	8.7	4.3	6.5	15.2
60歳代(n=83)	56.6	37.3	19.3	9.6	2.4	6.0	15.7
70歳以上(n=156)	39.1	21.8	18.6	14.1	1.9	17.9	16.0

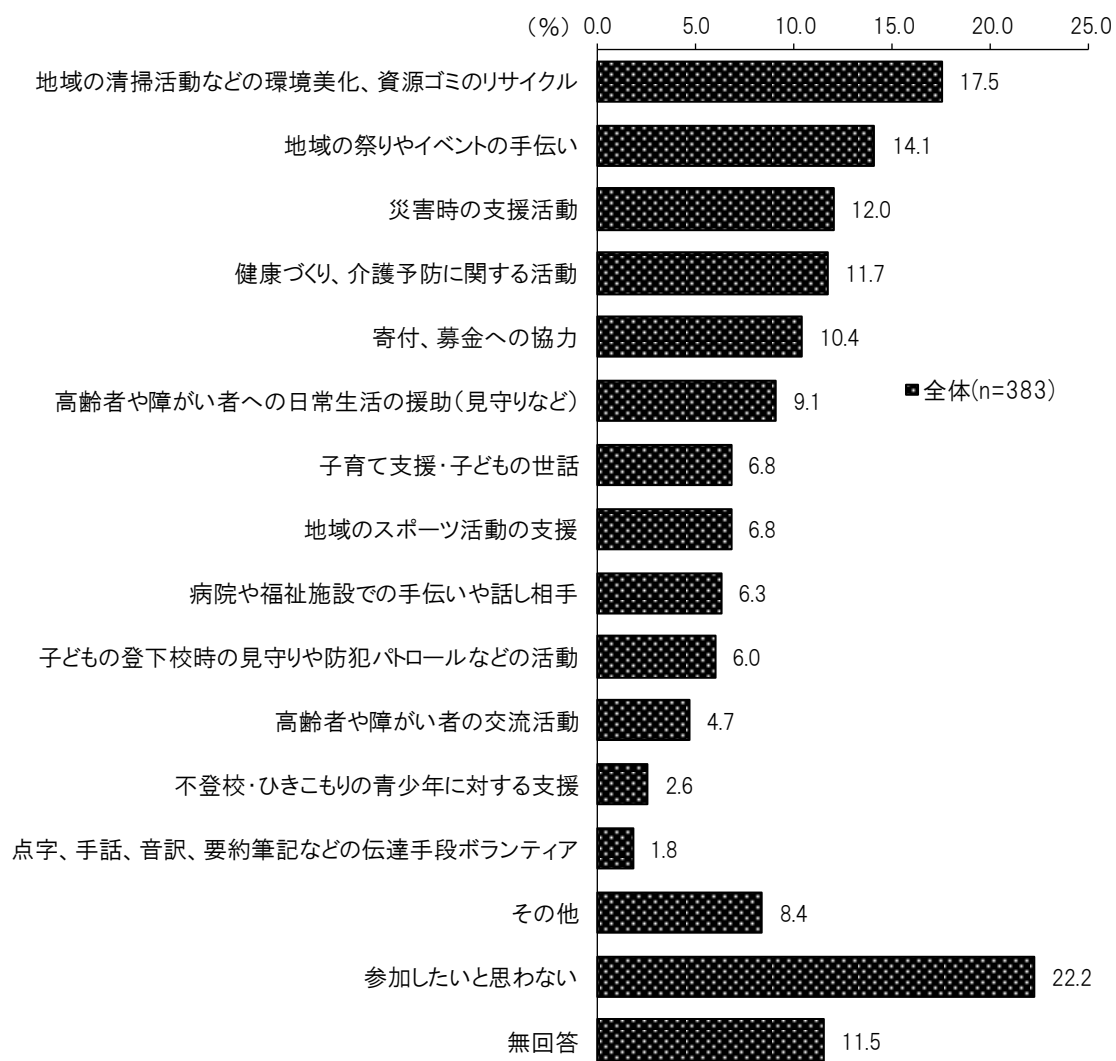
3 今後、参加してみたい活動

【問 26 で「3 参加したことがない」と回答した方におたずねします。】

問 28 今後、参加できる機会があればどの分野の活動に参加したいですか。

(○は3つまで)

今後、参加してみたい活動については、「地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル」の割合が 17.5%と最も高く、次いで「地域の祭りやイベントの手伝い」(14.1%)、「災害時の支援活動」(12.0%)、「健康づくり、介護予防に関する活動」(11.7%)、「寄付、募金への協力」(10.4%)の順となっている。一方、約2割(22.2%)は「参加したいと思わない」と回答している。



居住地区別では、四海地区で「地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「地域の祭りやイベントの手伝い」「災害時の支援活動」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「寄付、募金への協力」、30歳代以下で「地域のスポーツ活動の支援」、60歳代で「健康づくり、介護予防に関する活動」の割合がそれぞれ高く、若い年齢層ほど「地域の祭りやイベントの手伝い」の割合が高くなっている。

単位 (%)	化、地域の資源ゴミの活動などの環境美	地域の祭りやイベントの手伝い	災害時の支援活動	健康づくり、介護予防に関する活動	寄付、募金への協力	高齢者や障がい者への日常生活の援助（見守りなど）	子育て支援・子どもの世話	地域のスポーツ活動の支援	病院や福祉施設での手伝いや話し相手	子どもや障がい者の交流活動	高齢者や障がい者の交流活動	不登校・ひきこもりの青少年に対する支援	点字、手話、音訳、要約筆記などの伝達手段ボランティア	参加したいと思わない
全体(n=383)	17.5	14.1	12.0	11.7	10.4	9.1	6.8	6.8	6.3	6.0	4.7	2.6	1.8	22.2
【居住地区別】														
土庄地区(n=154)	13.6	13.6	14.3	14.3	14.3	11.0	6.5	7.1	3.9	6.5	5.2	1.3	1.9	22.1
淵崎地区(n=95)	18.9	11.6	10.5	9.5	8.4	11.6	6.3	7.4	5.3	5.3	6.3	5.3	1.1	26.3
大鐸地区(n=23)	4.3	13.0	8.7	13.0	13.0	4.3	0.0	8.7	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0	26.1
四海地区(n=43)	30.2	11.6	11.6	9.3	0.0	4.7	11.6	2.3	0.0	9.3	0.0	2.3	0.0	23.3
北浦地区(n=19)	15.8	26.3	15.8	5.3	15.8	0.0	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	21.1
大部地区(n=32)	21.9	25.0	6.3	12.5	6.3	12.5	9.4	6.3	18.8	9.4	6.3	0.0	3.1	12.5
豊島地区(n=13)	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4
【性別】														
男性(n=152)	21.7	20.4	19.1	11.2	13.2	9.9	3.3	12.5	3.3	8.6	5.9	2.6	0.7	23.0
女性(n=226)	14.2	9.7	7.1	12.4	8.4	8.4	8.8	3.1	8.0	4.0	4.0	2.7	2.7	22.1
【年齢別】														
29歳以下(n=18)	16.7	61.1	16.7	0.0	22.2	5.6	11.1	33.3	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=30)	16.7	33.3	16.7	3.3	3.3	3.3	16.7	23.3	6.7	6.7	0.0	3.3	6.7	23.3
40歳代(n=48)	12.5	16.7	12.5	2.1	6.3	12.5	14.6	8.3	10.4	14.6	6.3	6.3	2.1	29.2
50歳代(n=46)	15.2	15.2	10.9	15.2	10.9	13.0	13.0	4.3	4.3	13.0	2.2	2.2	2.2	26.1
60歳代(n=83)	22.9	9.6	15.7	22.9	12.0	7.2	3.6	4.8	6.0	3.6	1.2	0.0	2.4	15.7
70歳以上(n=156)	16.7	6.4	8.3	10.9	10.3	9.6	1.9	1.9	4.5	2.6	7.7	3.2	0.6	25.0

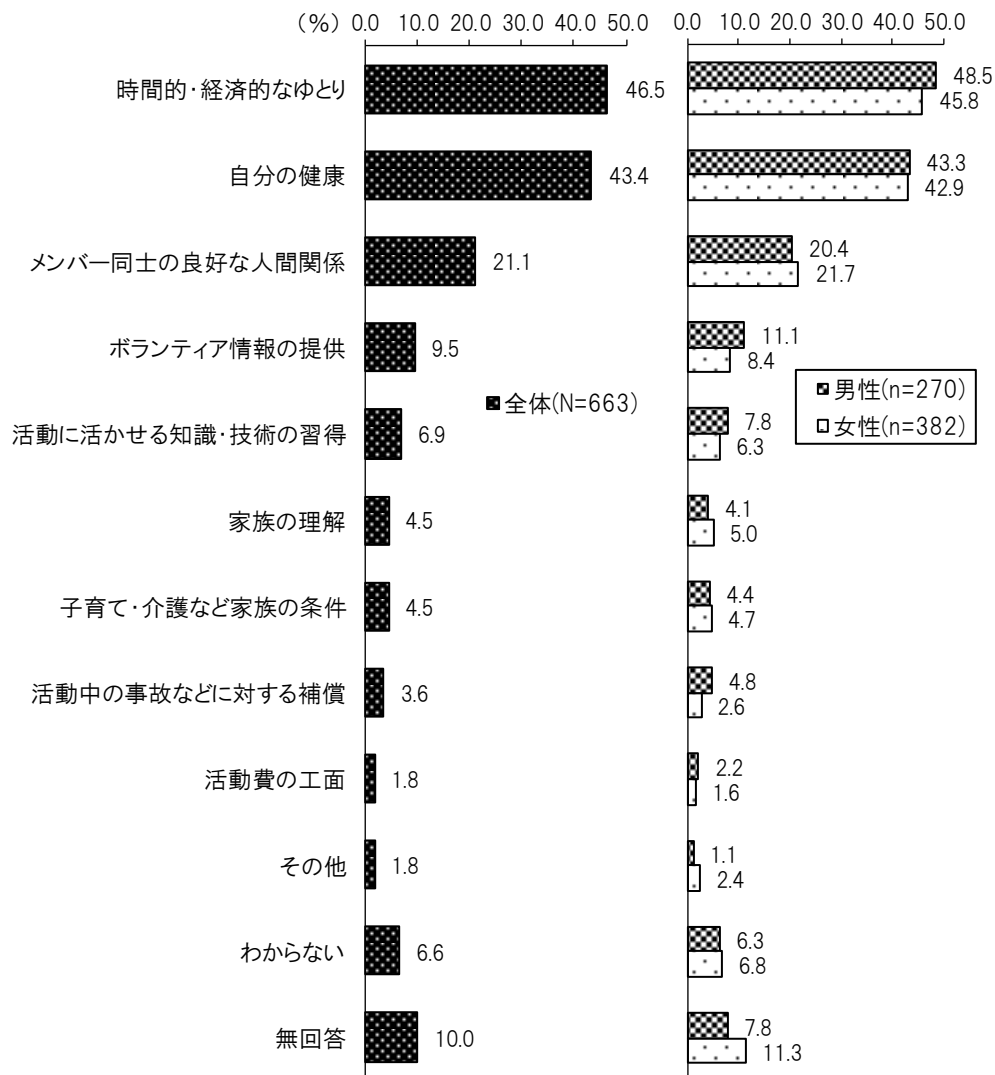
注:「その他」は表記から省略している。

4 ボランティア活動参加のための条件

問 29 どのような条件が整えばボランティア活動ができますか。また、参加できると思いますか。（○は2つまで）

ボランティア活動参加のための条件については、「時間的・経済的なゆとり」の割合が46.5%と最も高く、次いで「自分の健康」（43.4%）、「メンバー同士の良好な人間関係」（21.1%）、「ボランティア情報の提供」（9.5%）の順となっている。

性別では、大きな差はみられない。



居住地区別では、大鐸地区や大部地区で「メンバー同士の良好な人間関係」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「メンバー同士の良好な人間関係」、30歳代で「子育て・介護など家族の条件」、70歳以上で「自分の健康」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	時間的・経済的なゆとり	自分の健康	メンバー同士の良好な人間関係	ボランティア情報の提供	活動に活かせる知識・技術の習得	家族の理解	子育て・介護など家族の条件	活動中の事故などに対する補償	活動費の工面	その他	わからない
全体(N=663)	46.5	43.4	21.1	9.5	6.9	4.5	4.5	3.6	1.8	1.8	6.6
【居住地区別】											
土庄地区(n=247)	45.3	41.7	20.2	10.9	7.7	5.3	3.2	3.2	2.0	2.0	6.9
淵崎地区(n=153)	45.8	42.5	22.2	7.8	8.5	3.3	6.5	3.3	1.3	1.3	9.2
大鐸地区(n=50)	56.0	46.0	32.0	14.0	2.0	6.0	4.0	2.0	4.0	2.0	4.0
四海地区(n=67)	53.7	43.3	9.0	10.4	6.0	6.0	6.0	0.0	1.5	3.0	6.0
北浦地区(n=51)	47.1	47.1	17.6	2.0	9.8	2.0	5.9	7.8	0.0	0.0	7.8
大部地区(n=55)	40.0	45.5	30.9	12.7	5.5	5.5	3.6	10.9	1.8	1.8	1.8
豊島地区(n=30)	43.3	50.0	23.3	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
【年齢別】											
29歳以下(n=35)	74.3	5.7	37.1	11.4	2.9	2.9	2.9	0.0	11.4	0.0	14.3
30歳代(n=47)	76.6	21.3	29.8	8.5	4.3	2.1	19.1	0.0	2.1	0.0	8.5
40歳代(n=70)	77.1	15.7	22.9	10.0	11.4	1.4	12.9	7.1	4.3	1.4	4.3
50歳代(n=79)	78.5	40.5	20.3	10.1	7.6	7.6	2.5	0.0	5.1	2.5	3.8
60歳代(n=124)	51.6	48.4	20.2	12.9	8.9	2.4	4.8	6.5	0.0	0.0	6.5
70歳以上(n=302)	21.5	56.3	18.5	7.9	5.6	6.0	1.0	3.6	0.0	3.0	6.3

【7】成年後見制度について

1 成年後見制度の認知状況

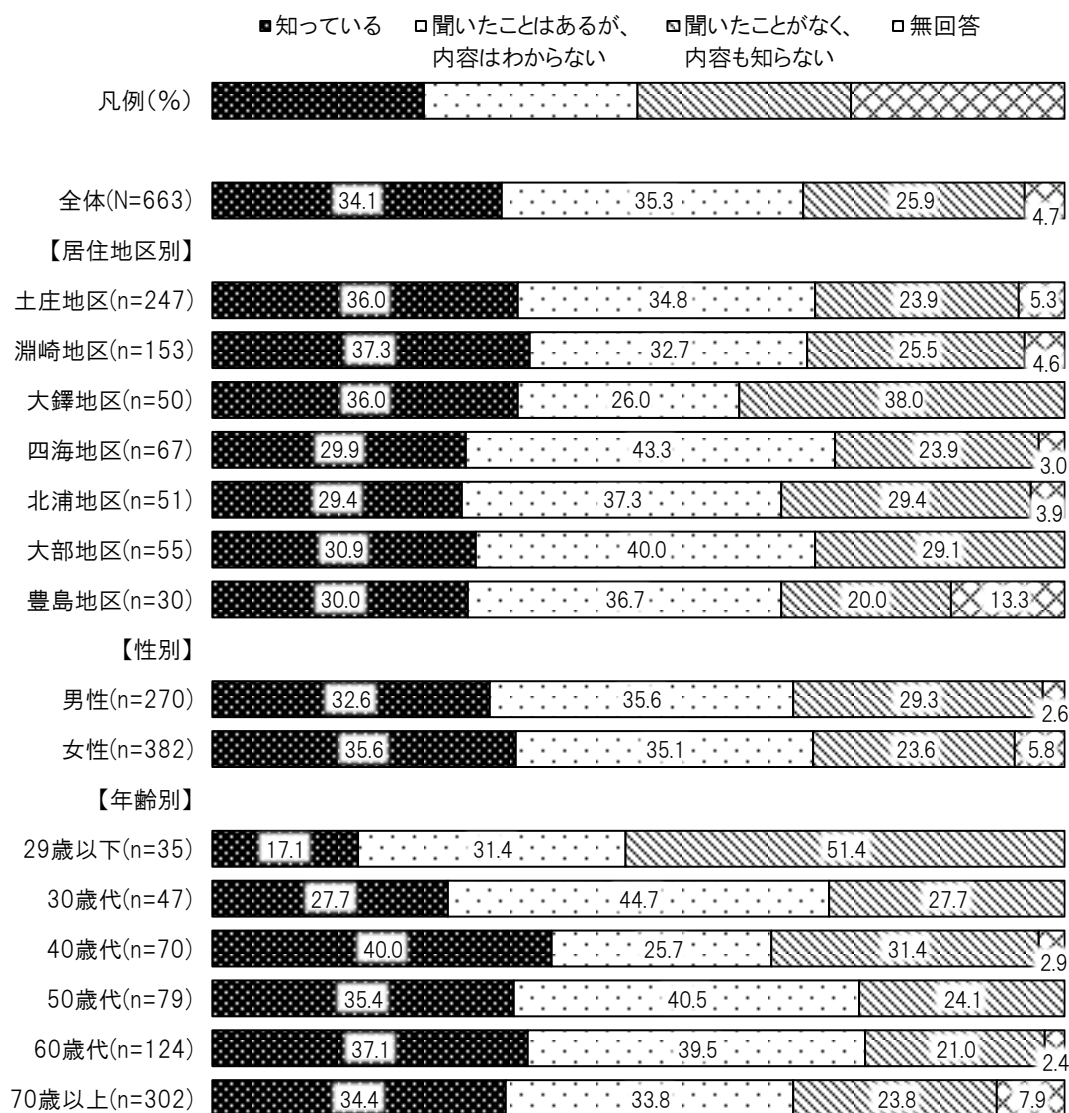
問 30 あなたは「成年後見制度」について知っていますか。（○は1つ）

成年後見制度の認知状況については、「知っている」の割合が34.1%、「聞いたことはあるが、内容はわからない」が35.3%、合計で約7割（69.4%）となっている。一方、「聞いたことがなく、内容も知らない」は25.9%となっている。

居住地区別では、大鐸地区で「聞いたことがなく、内容も知らない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「聞いたことがなく、内容も知らない」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「聞いたことがなく、内容も知らない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



2 成年後見制度の利用意向

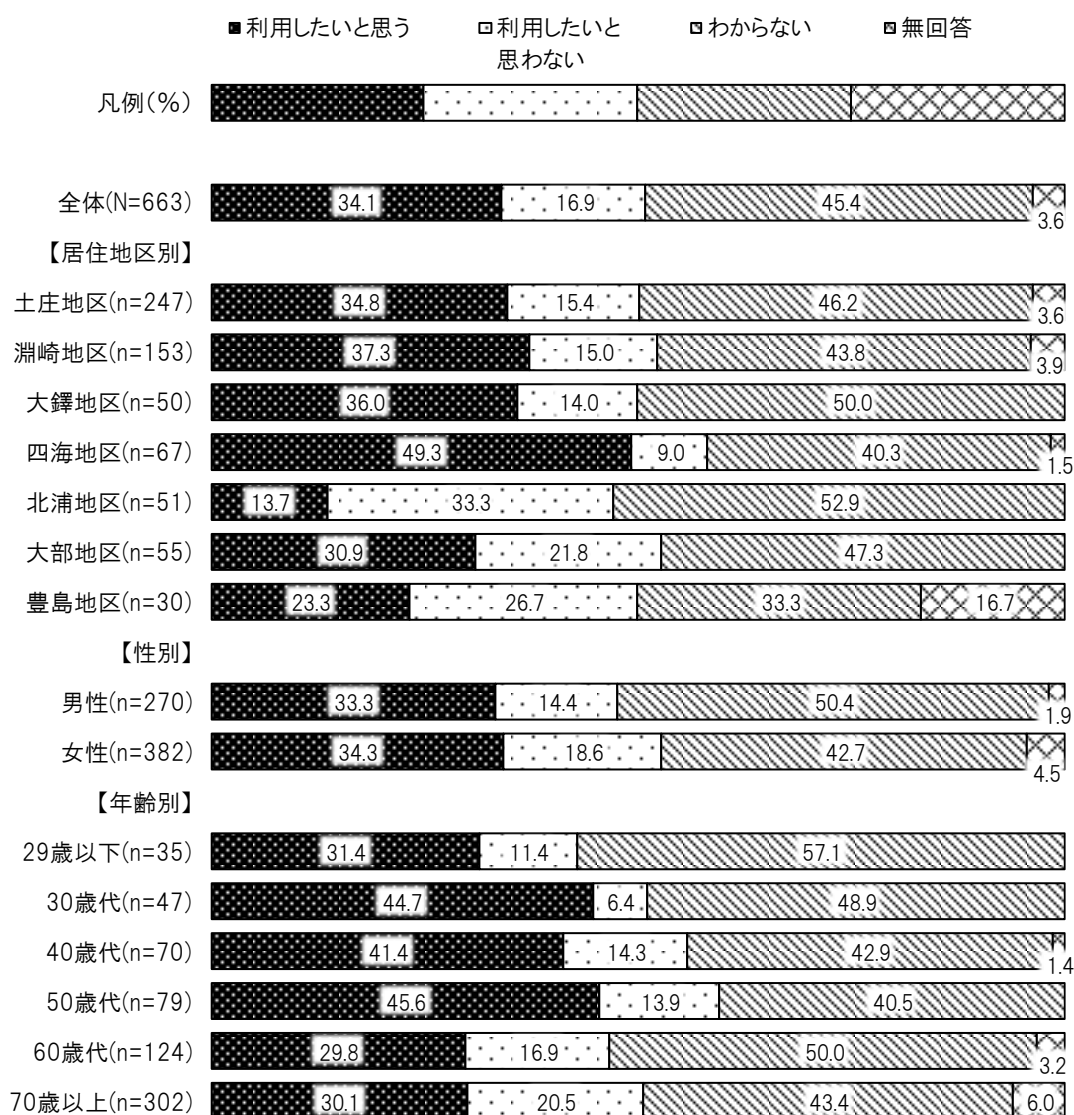
問 31 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（○は1つ）

成年後見制度の利用意向については、「利用したいと思う」が 34.1%、「利用したいと思わない」が 16.9%、「わからない」が 45.4%となっている。

居住地区別では、四海地区で「利用したいと思う」、北浦地区で「利用したいと思わない」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「わからない」の割合が高く、女性は「利用したいと思わない」の割合が男性をやや上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「わからない」、30～50 歳代で「利用したいと思う」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



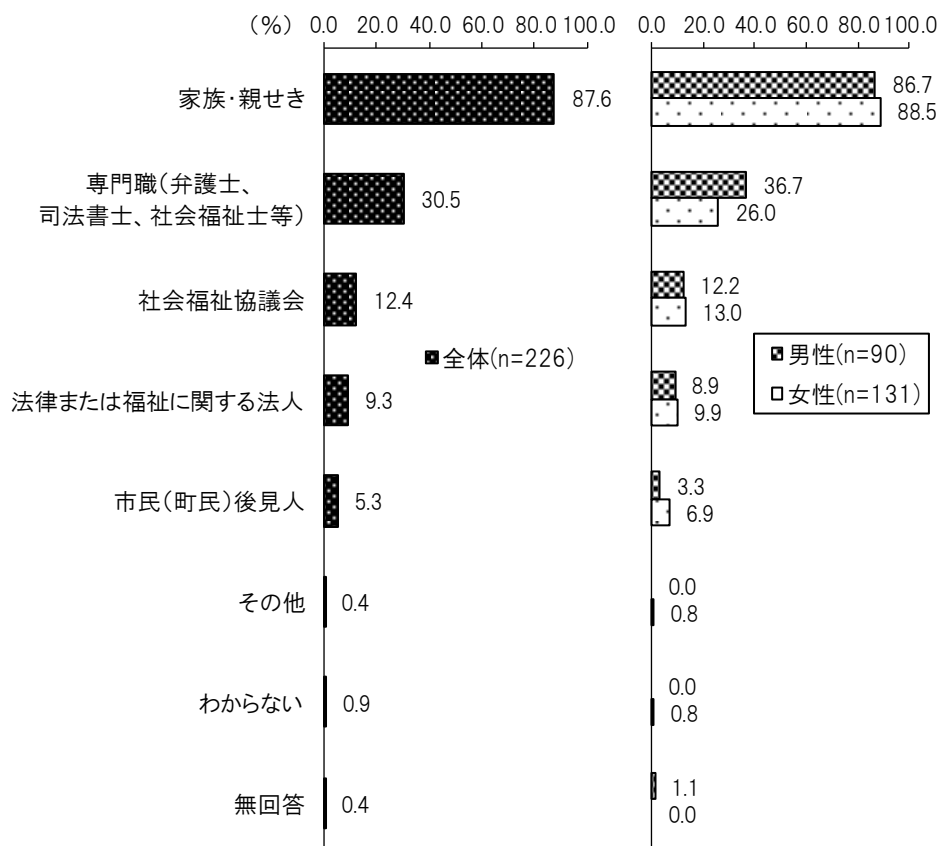
3 後見人として希望する人

【問 31 で「1 利用したいと思う」と回答した方におたずねします。】

問 32 後見人は誰になってもらいたいですか。（あてはまるもの全てに○）

後見人として希望する人については、「家族・親せき」の割合が 87.6%と最も高く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」（30.5%）、「社会福祉協議会」（12.4%）、「法律または福祉に関する法人」（9.3%）、「市民（町民）後見人」（5.3%）の順となっている。

性別では、男性は「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」の割合が女性を大きく上回っている。



年齢別では、40歳代で「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	家族・親せき	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）	社会福祉協議会	法律または福祉に関する法人	市民（町民）後見人	その他	わからない
全体(n=226)	87.6	30.5	12.4	9.3	5.3	0.4	0.9
【年齢別】							
29歳以下(n=11)	100.0	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=21)	100.0	38.1	9.5	19.0	0.0	0.0	0.0
40歳代(n=29)	75.9	48.3	13.8	13.8	10.3	0.0	0.0
50歳代(n=36)	88.9	33.3	8.3	11.1	0.0	0.0	0.0
60歳代(n=37)	94.6	35.1	18.9	5.4	10.8	0.0	0.0
70歳以上(n=91)	84.6	19.8	13.2	6.6	5.5	1.1	1.1

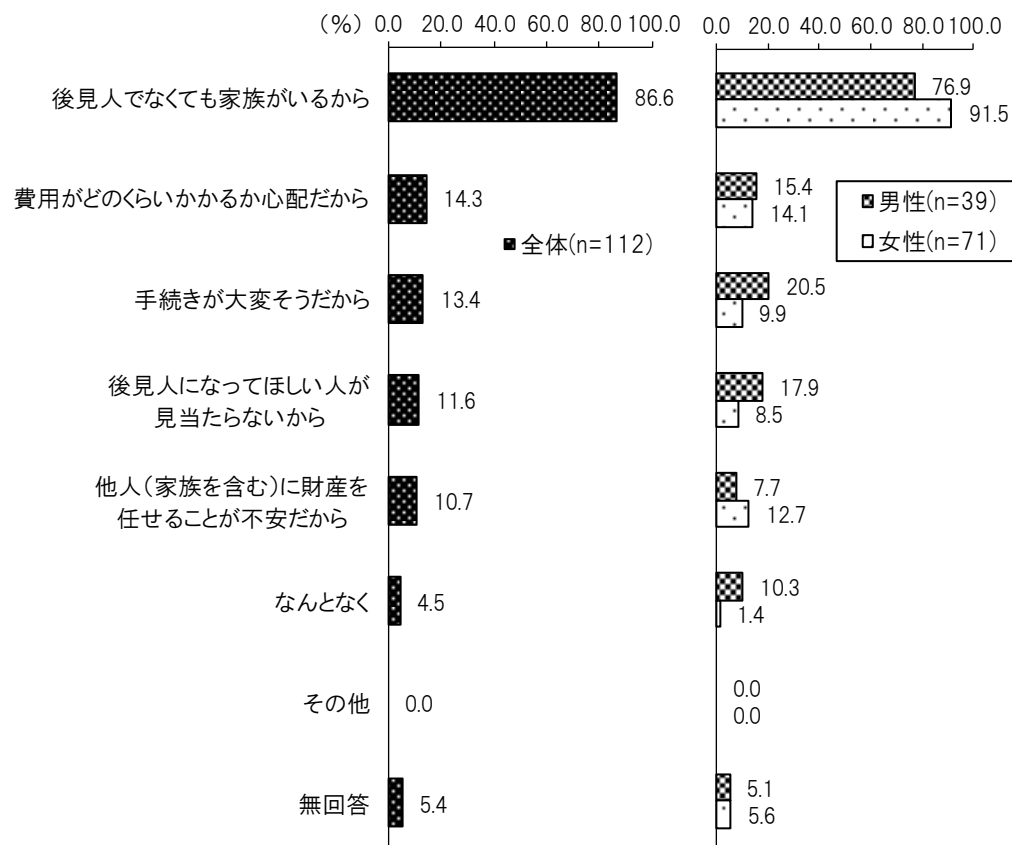
4 利用したいと思わない理由

【問 31 で「2 利用したいと思わない」と回答した方におたずねします。】

問 33 利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

利用したいと思わない理由については、「後見人でなくても家族がいるから」の割合が 86.6%と突出して最も高く、次いで「費用がどのくらいかかるか心配だから」（14.3%）、「手続きが大変そうだから」（13.4%）、「後見人になってほしい人が見当たらないから」（11.6%）、「他人（家族を含む）に財産を任せることが不安だから」（10.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「手続きが大変そうだから」「後見人になってほしい人が見当たらないから」などの割合が高く、女性は「後見人でなくても家族がいるから」の割合が男性を大きく上回っている。



5 市民（町民）後見人としての活動意向

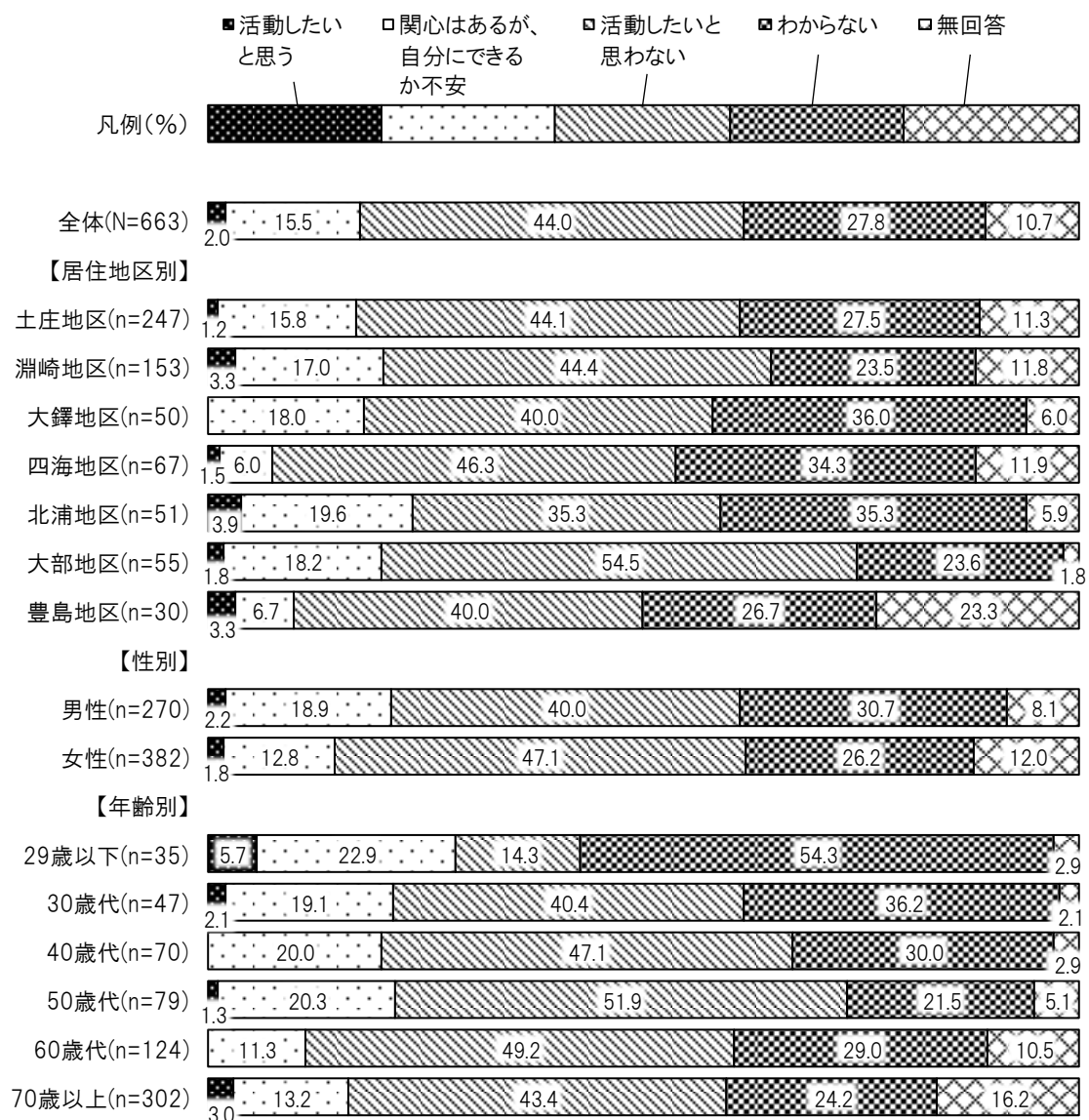
問 34 本人と親族関係がなくても、後見人養成講座などを受講して成年後見制度に関する一定の知識や技術、態度を身に付けた人は、「市民（町民）後見人」になることができます。あなたは、市民（町民）後見人として活動したいと思いますか。
(○は1つ)

市民（町民）後見人としての活動意向については、「活動したいと思う」の割合が2.0%、「関心はあるが、自分にできるか不安」が15.5%、「活動したいと思わない」が44.0%となっている。また、約3割（27.8%）は「わからない」と回答している。

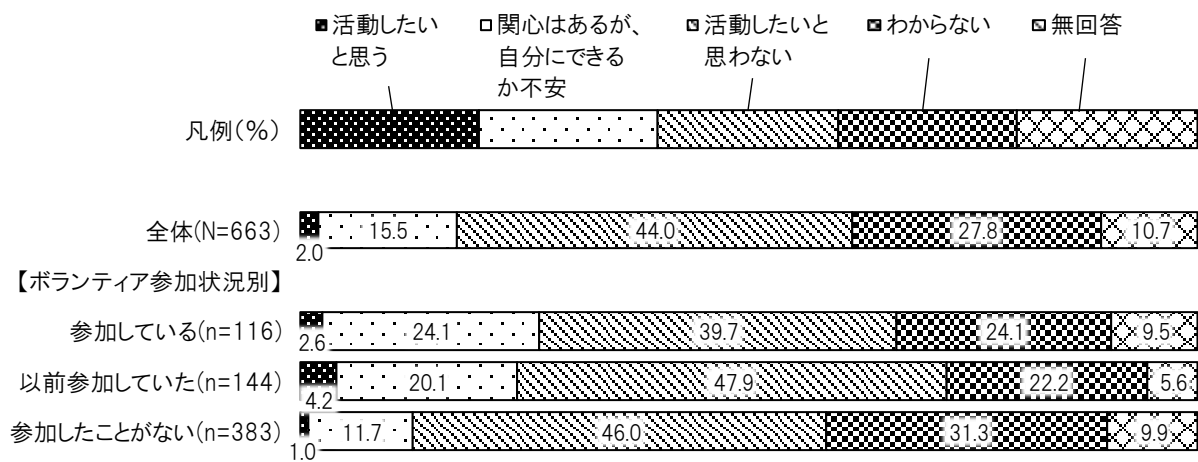
居住地区別では、大部地区で「活動したいと思わない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「関心はあるが、自分にできるか不安」の割合が高く、女性は「活動したいと思わない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「わからない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



ボランティア参加状況別では、参加したことがある層で「関心はあるが、自分にはできるか不安」、参加したことがない層で「わからない」の割合がそれぞれ高くなっている。

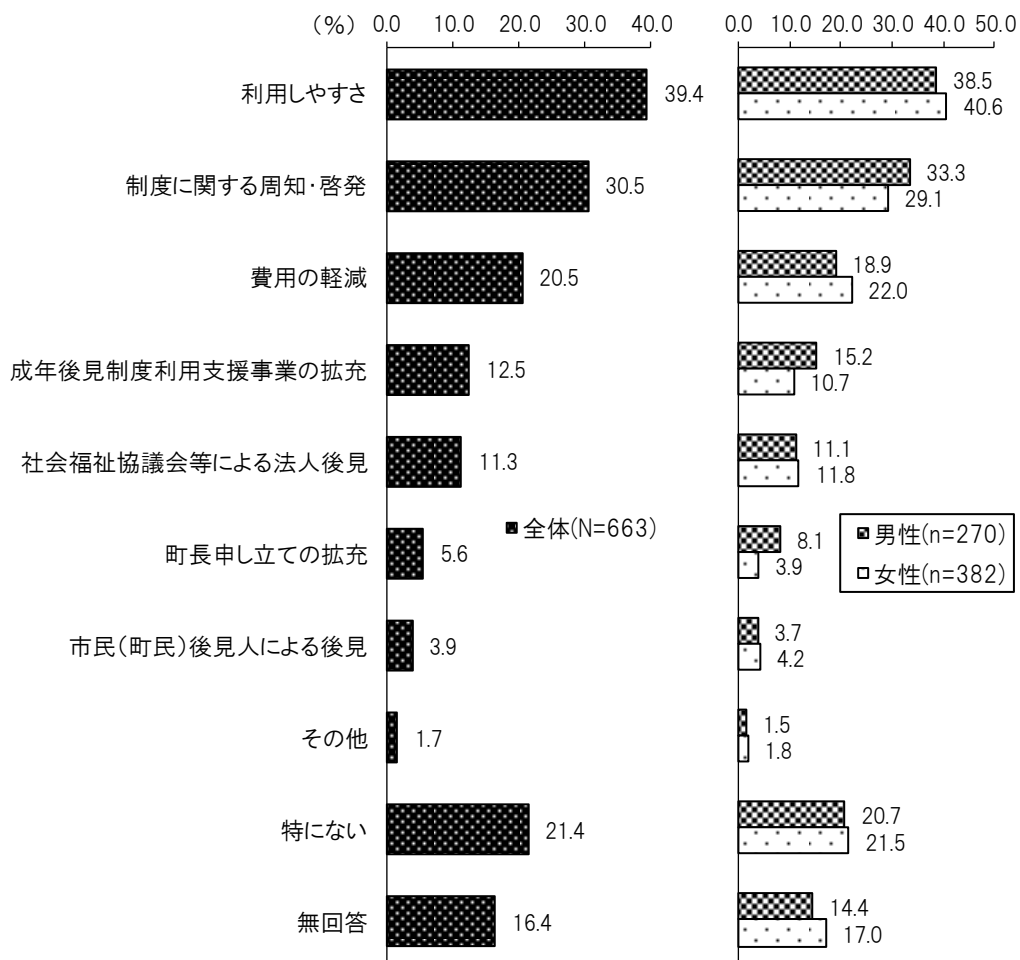


6 成年後見制度で町に望むこと

問 35 「成年後見制度」で町に望むことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

成年後見制度で町に望むことについては、「利用しやすさ」の割合が39.4%と最も高く、次いで「制度に関する周知・啓発」（30.5%）、「費用の軽減」（20.5%）、「成年後見制度利用支援事業の拡充」（12.5%）、「社会福祉協議会等による法人後見」（11.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「制度に関する周知・啓発」「成年後見制度利用支援事業の拡充」などの割合がやや高くなっている。



居住地区別では、北浦地区や大部地区で「制度に関する周知・啓発」、北浦地区で「社会福祉協議会等による法人後見」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「特にない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	利用しやすさ	制度に関する周知・啓発	費用の軽減	成年後見制度利用支援事業の拡充	社会福祉協議会等による法人後見	町長申し立ての拡充	市民（町民）後見人による後見	その他	特にない
全体(N=663)	39.4	30.5	20.5	12.5	11.3	5.6	3.9	1.7	21.4
【居住地区別】									
土庄地区(n=247)	42.5	30.8	19.4	13.8	10.5	4.9	2.8	1.6	20.6
淵崎地区(n=153)	40.5	28.8	20.3	15.0	13.1	8.5	4.6	0.0	21.6
大鐸地区(n=50)	44.0	26.0	28.0	8.0	10.0	4.0	8.0	6.0	26.0
四海地区(n=67)	34.3	32.8	22.4	10.4	7.5	3.0	1.5	1.5	14.9
北浦地区(n=51)	37.3	39.2	21.6	11.8	19.6	9.8	5.9	2.0	21.6
大部地区(n=55)	38.2	40.0	16.4	12.7	10.9	5.5	7.3	3.6	29.1
豊島地区(n=30)	23.3	13.3	23.3	6.7	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0
【年齢別】									
29歳以下(n=35)	37.1	17.1	14.3	8.6	5.7	5.7	2.9	5.7	37.1
30歳代(n=47)	44.7	44.7	27.7	10.6	17.0	8.5	4.3	2.1	17.0
40歳代(n=70)	50.0	24.3	25.7	15.7	11.4	4.3	2.9	1.4	22.9
50歳代(n=79)	45.6	41.8	29.1	11.4	12.7	7.6	2.5	1.3	19.0
60歳代(n=124)	49.2	40.3	21.0	13.7	11.3	3.2	3.2	0.8	14.5
70歳以上(n=302)	31.1	24.8	16.9	12.6	10.9	6.0	5.0	1.7	22.8

【8】自殺対策について

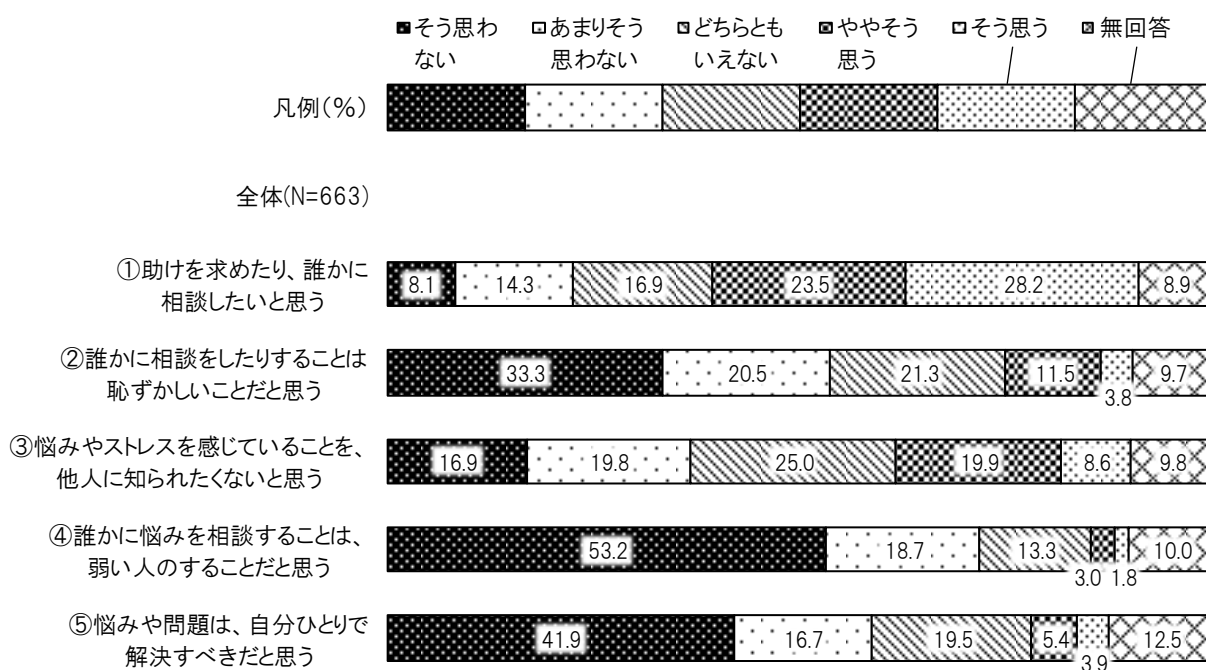
1 悩みやストレスを感じたときの対応について

問 36 あなたは悩みやストレスを感じたときに、どう考えますか。（それぞれ○は1つ）

悩みやストレスを感じたときの対応について、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合計した割合が高い順に「④誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う」（71.9%）、「⑤悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う」（58.6%）、「②誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う」（53.8%）となっている。

一方、「そう思う」「ややそう思う」を合計した割合が高い順に「①助けを求めたり、誰かに相談したいと思う」（51.7%）、「③悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う」（28.5%）となっている。

また「その他」では、「親しい友人に相談する」「悩みやストレスは人に話すことで軽減される」「悩みやストレスの内容による」などの回答がみられた。

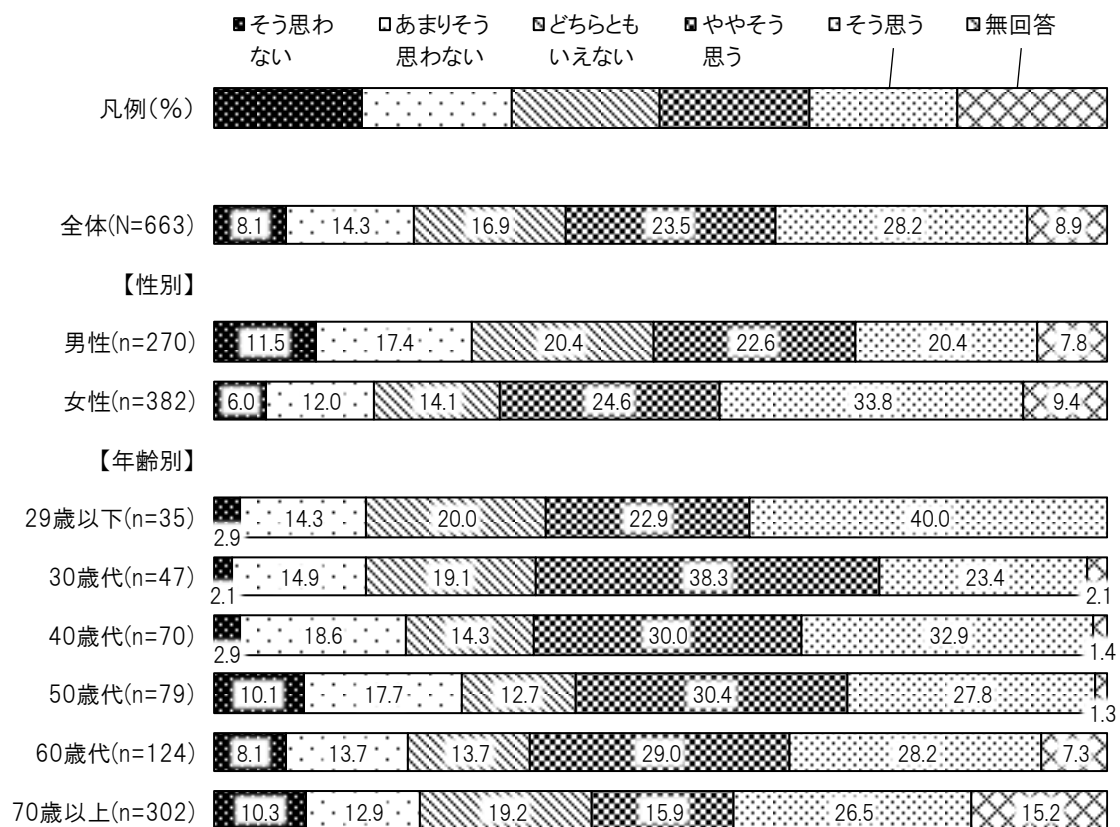


①助けを求めたり、誰かに相談したいと思う

「助けを求めたり、誰かに相談したいと思う」については、「そう思わない」が 8.1%、「あまりそう思わない」が 14.3%で、合計 22.4%が『そう思わない』と回答している。一方、「ややそう思う」(23.5%)、「そう思う」(28.2%) の合計『そう思う』は 51.7%であった。

性別では、男性は女性に比べ『そう思わない(合計)』の割合が高く、女性は「そう思う」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「そう思う」、50 歳代以上で「そう思わない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

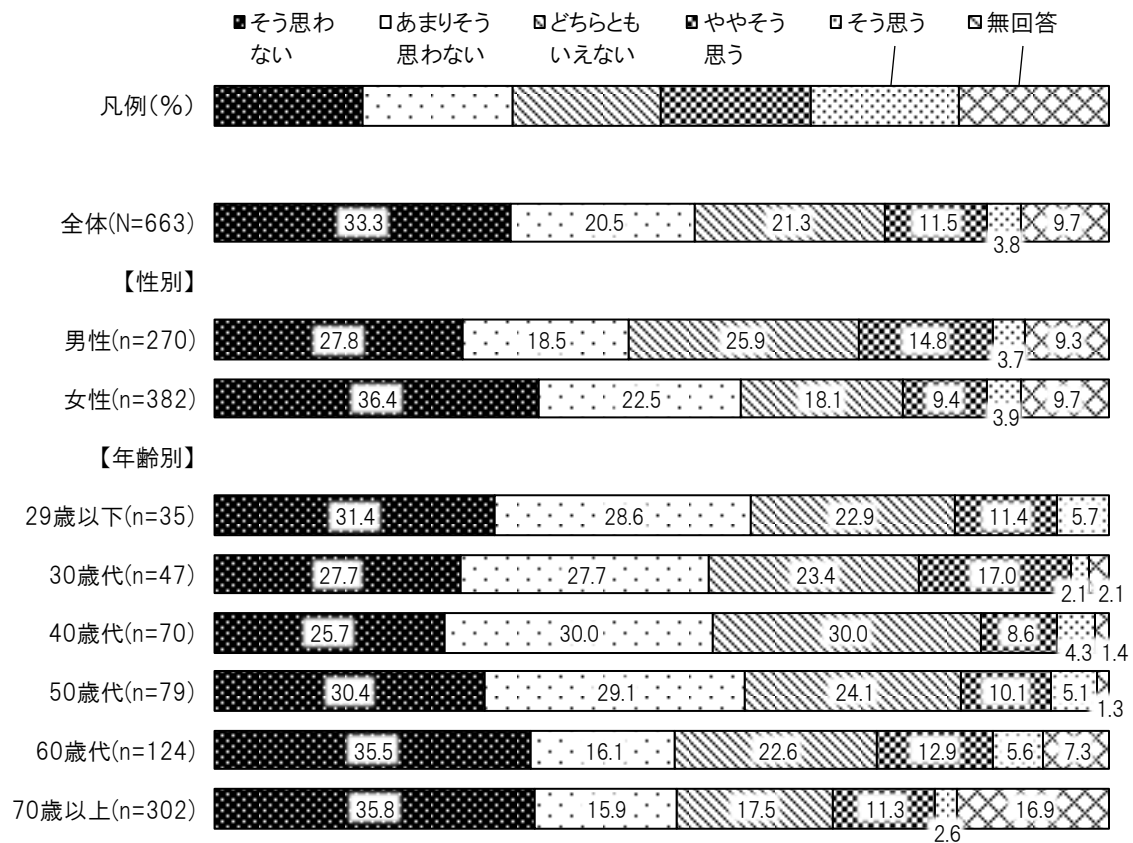


②誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う

「誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う」については、「そう思わない」が33.3%、「あまりそう思わない」が20.5%で、合計53.8%が『そう思わない』と回答している。一方、「ややそう思う」(11.5%)、「そう思う」(3.8%)の合計『そう思う』は15.3%であった。

性別では、男性は女性に比べ「ややそう思う」の割合が高く、女性は『そう思わない(合計)』の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、40歳代で「どちらともいえない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

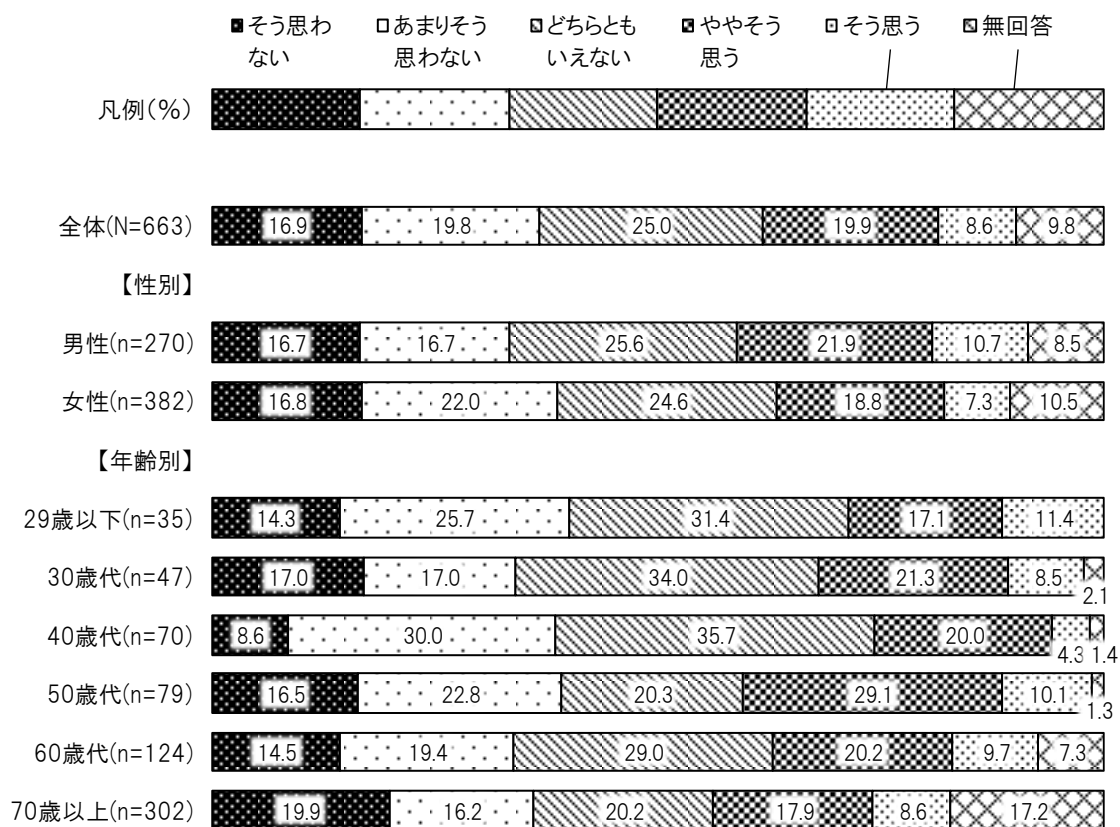


③悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う

「悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う」については、「そう思わない」が16.9%、「あまりそう思わない」が19.8%で、合計36.7%が『そう思わない』と回答している。一方、「ややそう思う」(19.9%)、「そう思う」(8.6%)の合計『そう思う』は28.5%であった。

性別では、女性は男性に比べ「あまりそう思わない」の割合が高くなっている。

年齢別では、50歳代で「ややそう思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

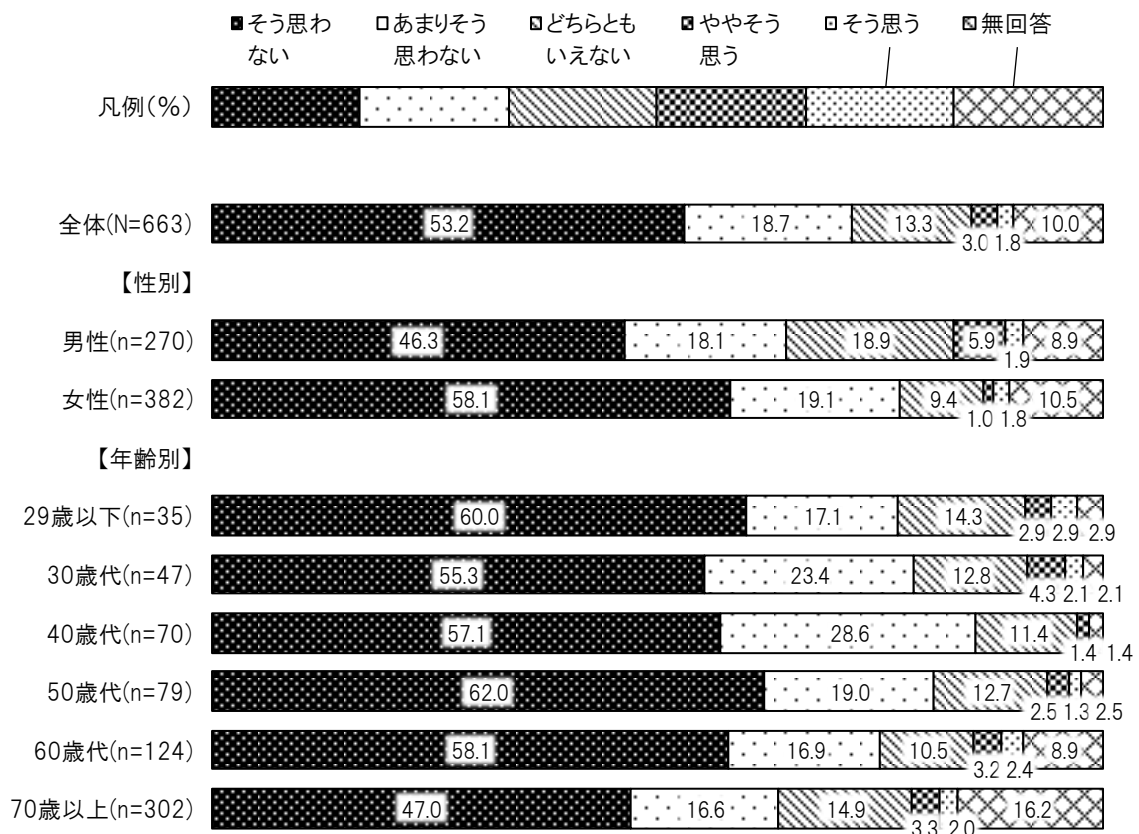


④誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う

「誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う」については、「そう思わない」が53.2%、「あまりそう思わない」が18.7%で、合計71.9%が『そう思わない』と回答している。一方、「ややそう思う」(3.0%)、「そう思う」(1.8%)の合計『そう思う』は4.8%であった。

性別では、女性は「そう思わない」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、40歳代で『そう思わない(合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

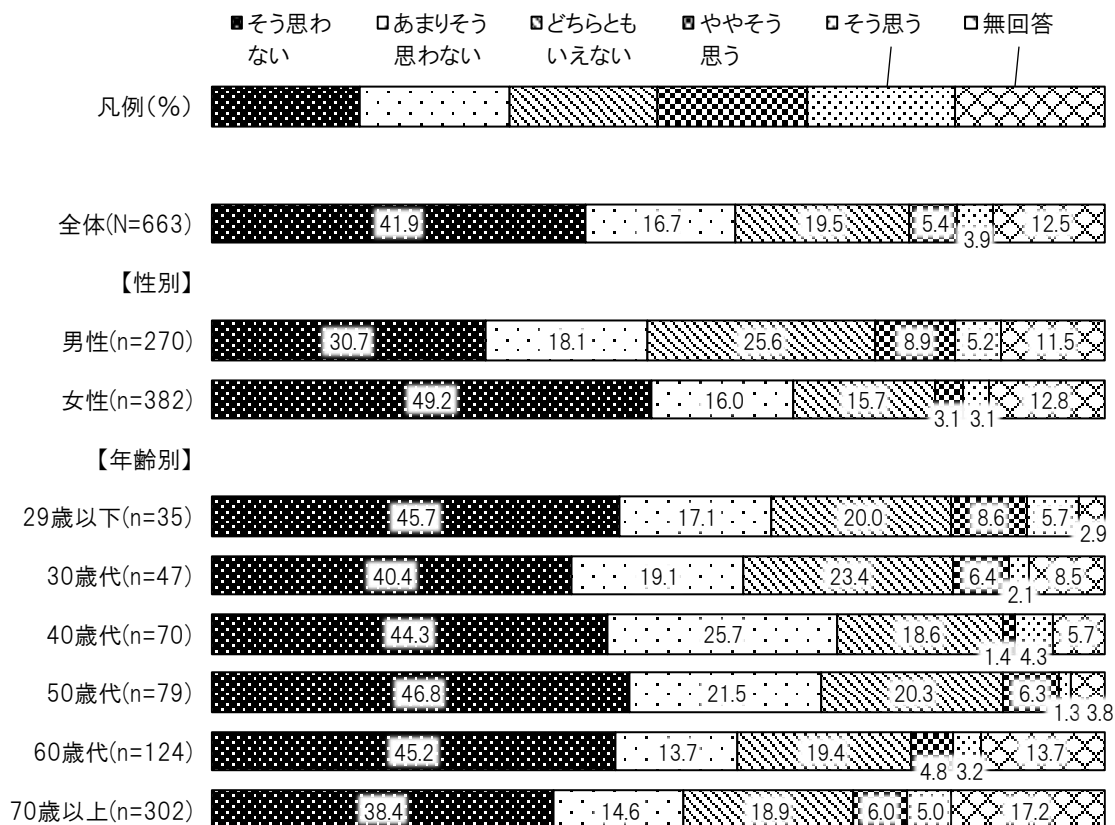


⑤悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う

「悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う」については、「そう思わない」が41.9%、「あまりそう思わない」が16.7%で、合計58.6%が『そう思わない』と回答している。一方、「ややそう思う」(5.4%)、「そう思う」(3.9%)の合計『そう思う』は9.3%であった。

性別では、女性は「そう思わない」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、40～50歳代で『そう思わない(合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



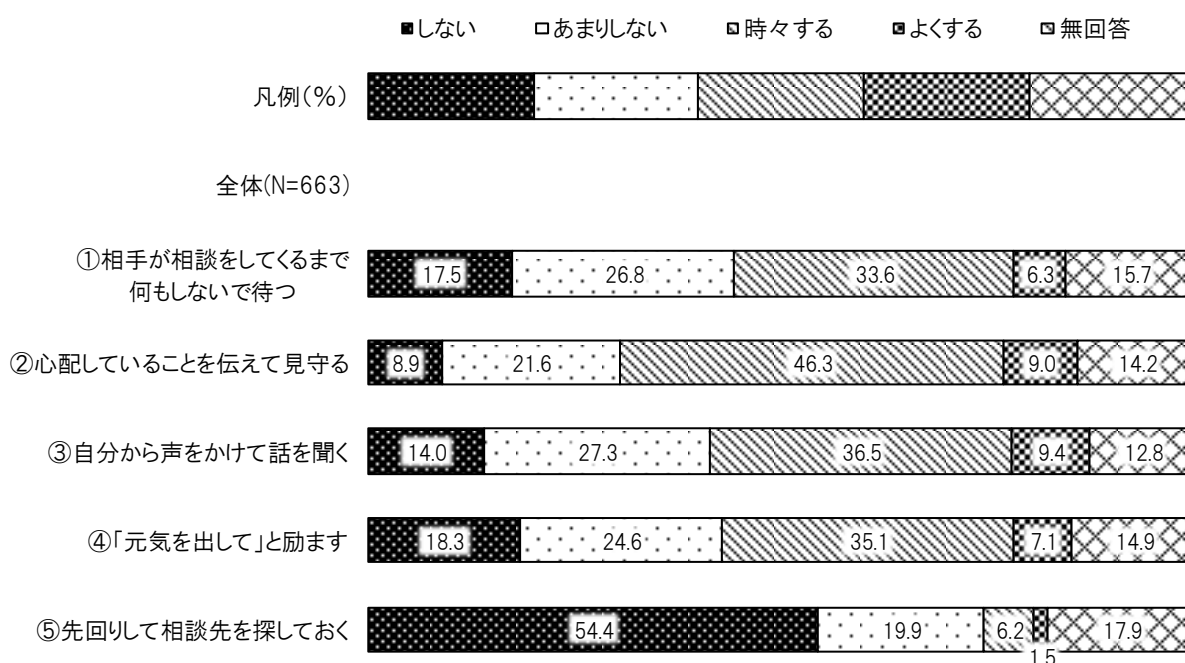
2 身近な人がつらそうに見えたときの対応について

問 37 理由はわからないけれども、身近な人がいつもと違った様子でつらそうに見えたときに、あなたはどのように対応しますか。（それぞれ○は1つ）

身近な人がつらそうに見えたときの対応について、「よくする」「時々する」を合計した割合が高い順に「②心配していることを伝えて見守る」（55.3%）、「③自分から声をかけて話を聞く」（45.9%）、「④「元気を出して」と励ます」（42.2%）、「①相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ」（39.9%）となっている。

一方、「⑤先回りして相談先を探しておく」については、「しない」が半数以上（54.4%）を占めている。

また「その他」では、「その人に合った対応を心掛ける」「他人のことには深く立ち入らないようにしている」「そのような場面に出会ったことがないのでわからない」などの回答がみられた。

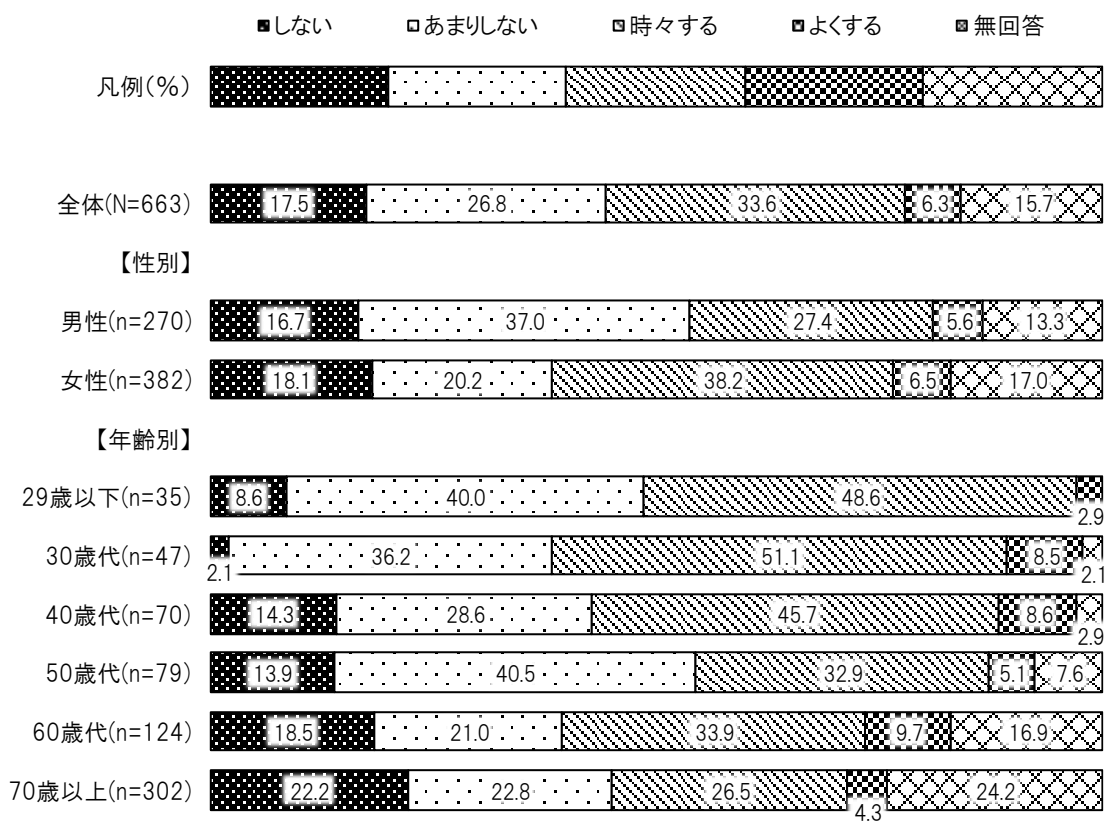


①相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ

「相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ」については、「よくする」が 6.3%、「時々する」が 33.6%で、合計 39.9%が『する』と回答している。一方、「あまりしない」(26.8%)、「しない」(17.5%) の合計『しない』は 44.3%であった。

性別では、男性は「あまりしない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「時々する」の割合が高くなっている。

年齢別では、50 歳代で『しない (合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

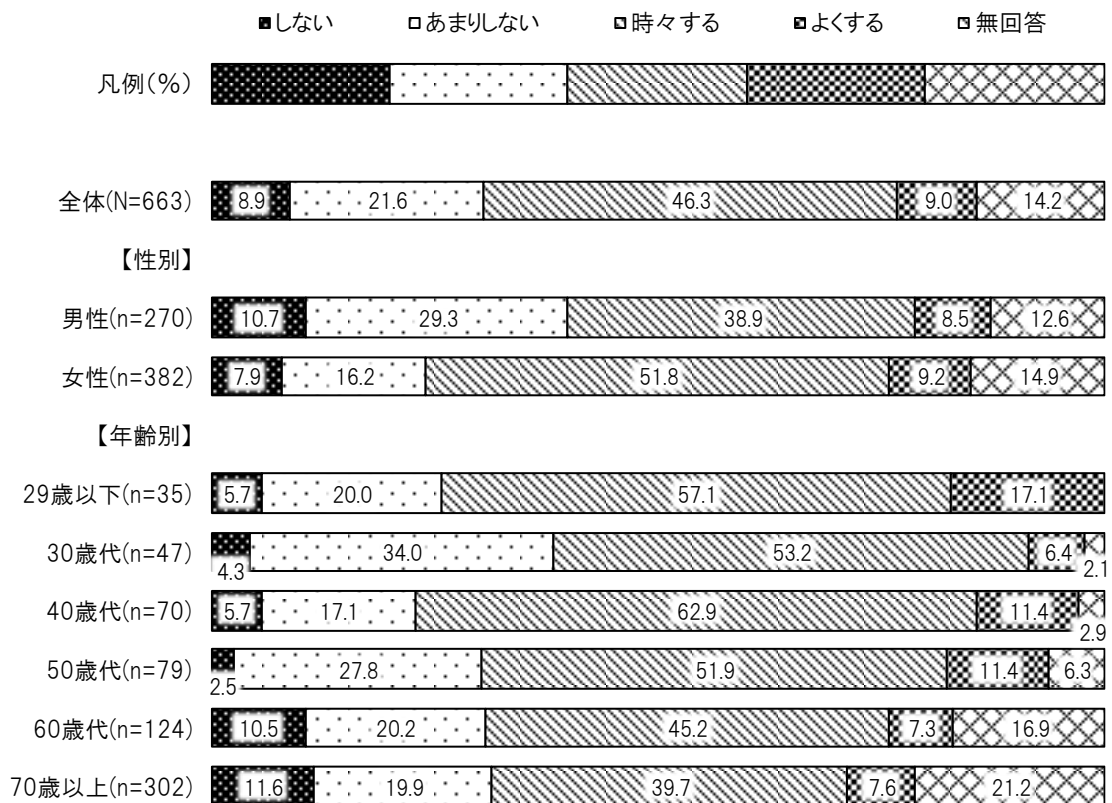


②心配していることを伝えて見守る

「心配していることを伝えて見守る」については、「よくする」が 9.0%、「時々する」が 46.3%で、合計 55.3%が『する』と回答している。一方、「あまりしない」(21.6%)、「しない」(8.9%) の合計『しない』は 30.5%であった。

性別では、男性は女性に比べ「あまりしない」の割合が高く、女性は「時々する」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「よくする」、30 歳代で『しない (合計)』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

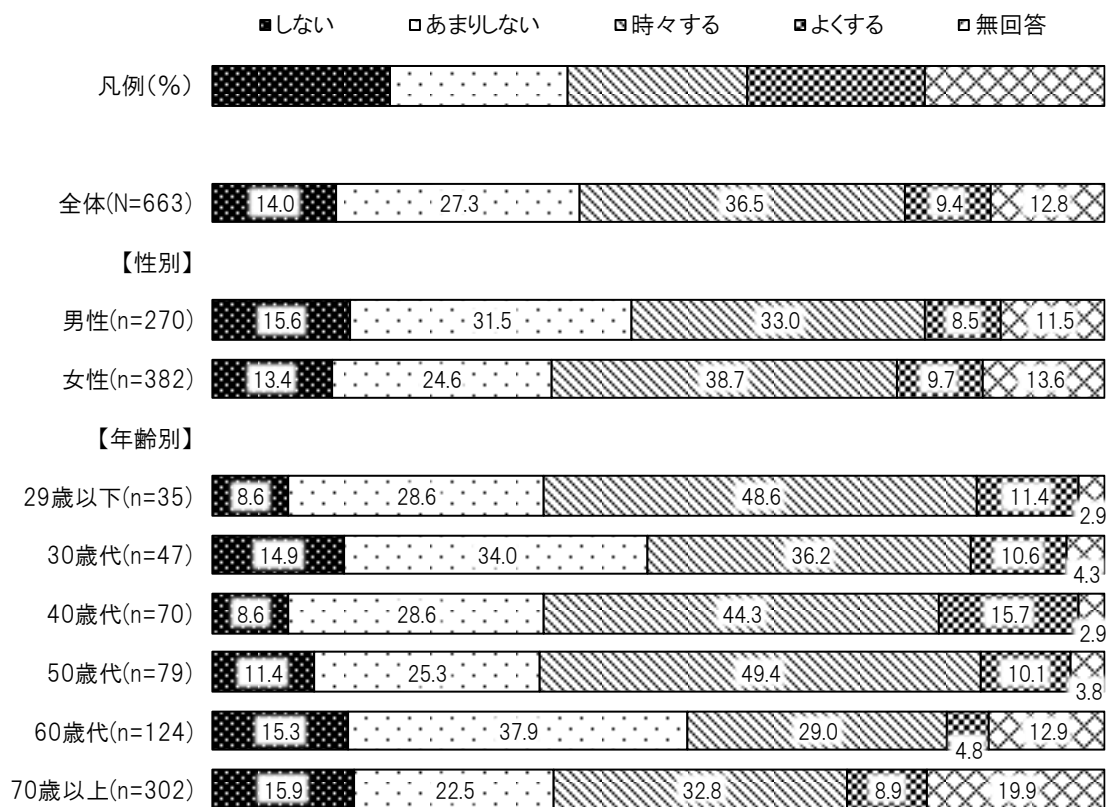


③自分から声をかけて話を聞く

「自分から声をかけて話を聞く」については、「よくする」が9.4%、「時々する」が36.5%で、合計45.9%が『する』と回答している。一方、「あまりしない」(27.3%)、「しない」(14.0%)の合計『しない』は41.3%であった。

性別では、男性は女性に比べ「あまりしない」の割合が高く、女性は「時々する」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30歳代や60歳代で『しない(合計)』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

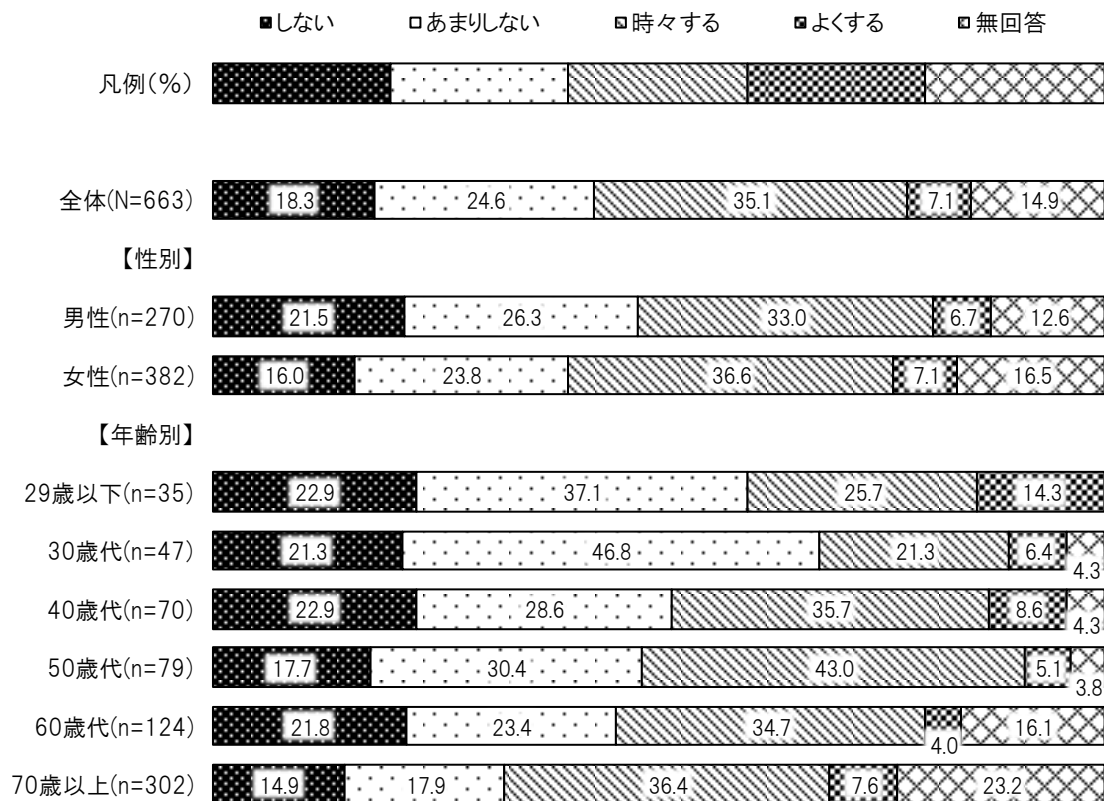


④「元気を出して」と励ます

「元気を出して」と励ますについては、「よくする」が7.1%、「時々する」が35.1%で、合計42.2%が『する』と回答している。一方、「あまりしない」(24.6%)、「しない」(18.3%)の合計『しない』は42.9%であった。

性別では、男性は女性に比べ『しない(合計)』の割合が高くなっている。

年齢別では、30歳代で「あまりしない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

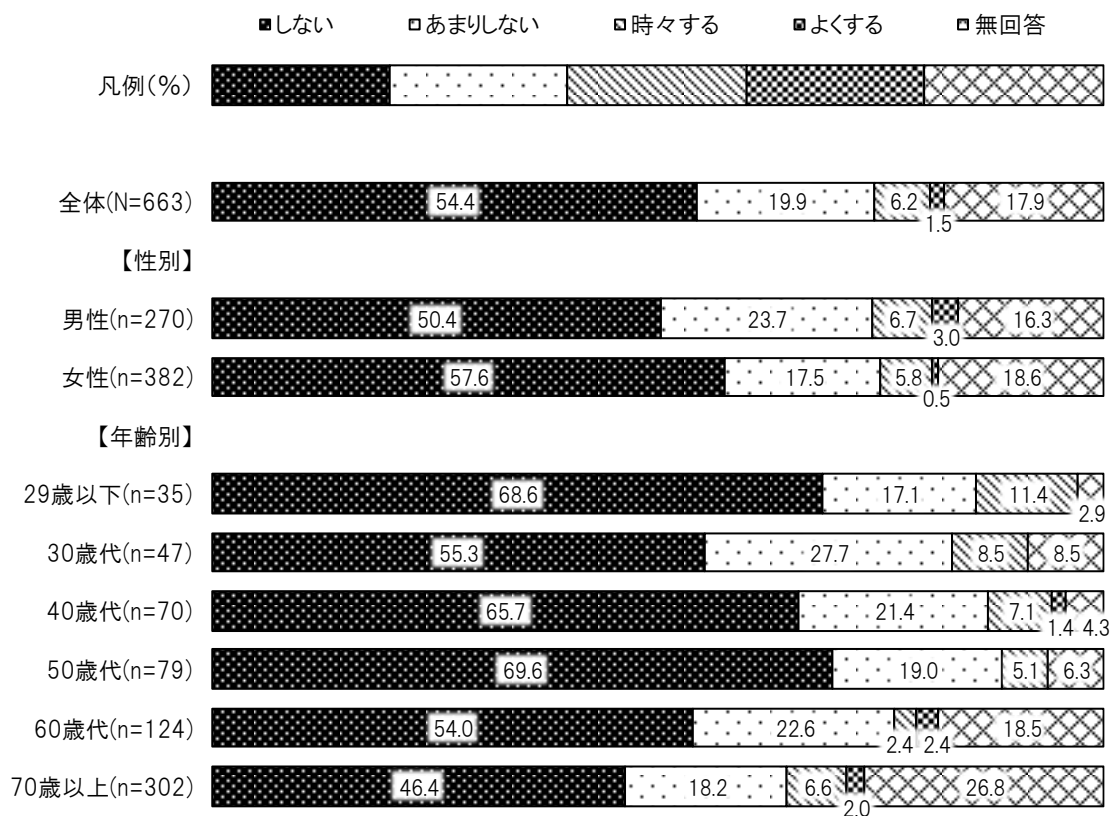


⑤先回りして相談先を探しておく

「先回りして相談先を探しておく」については、「よくする」が 1.5%、「時々する」が 6.2%で、合計 7.7%が『する』と回答している。一方、「あまりしない」(19.9%)、「しない」(54.4%)の合計『しない』は 74.3%であった。

性別では、女性は男性に比べ「しない」の割合が高くなっている。

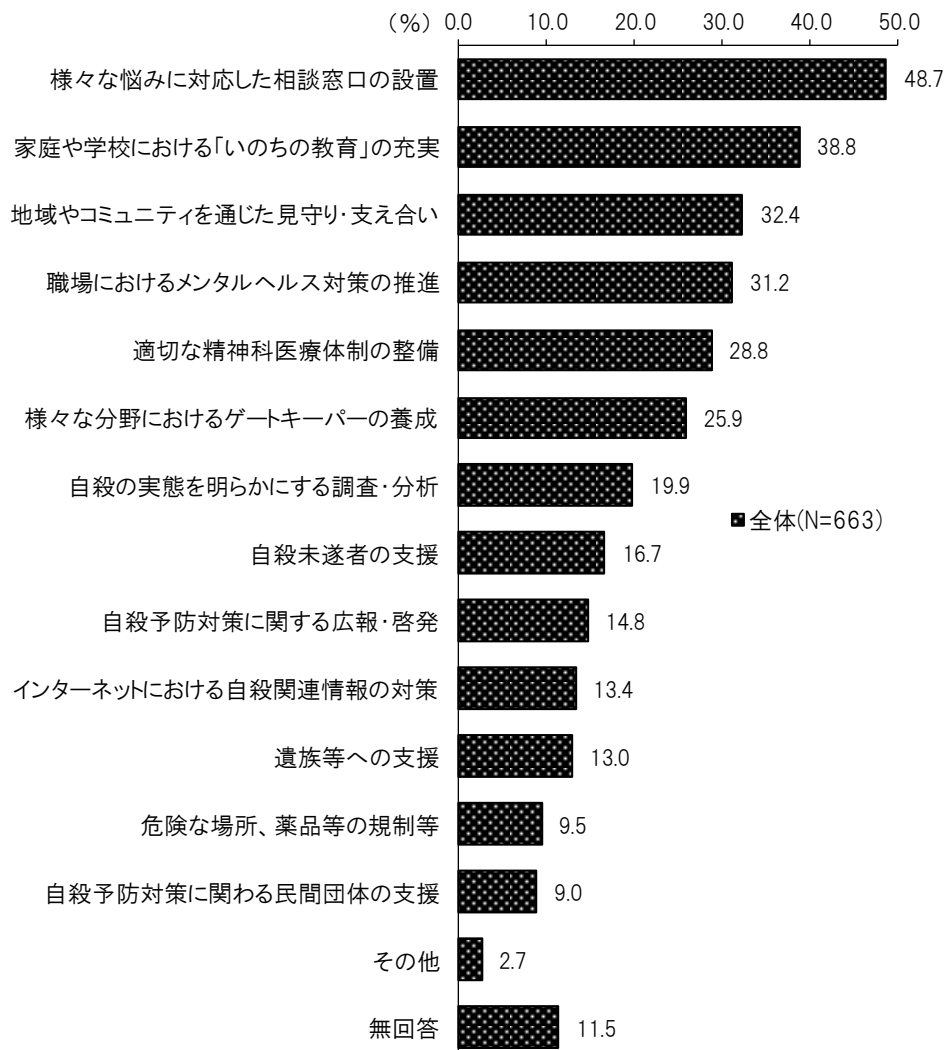
年齢別では、29 歳以下や 40～50 歳代で「しない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



3 今後、必要な自殺対策

問 38 今後、どのような自殺対策が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

今後、必要な自殺対策については、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」の割合が48.7%と最も高く、次いで「家庭や学校における「いのちの教育」の充実」（38.8%）、「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い」（32.4%）、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」（31.2%）、「適切な精神科医療体制の整備」（28.8%）の順となっている。



居住地区別では、大部地区で「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い」「適切な精神科医療体制の整備」などの割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「自殺の実態を明らかにする調査・分析」「自殺予防対策に関する広報・啓発」の割合が高く、女性は「適切な精神科医療体制の整備」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「自殺の実態を明らかにする調査・分析」「自殺未遂者の支援」、40歳代で「適切な精神科医療体制の整備」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	口々の設置	家庭や学校における「いのちの教育」の充実	地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い	職場におけるメンタルヘルス対策の推進	適切な精神科医療体制の整備	様々な分野におけるゲートキーパーの養成	自殺の実態を明らかにする調査・分析	自殺未遂者の支援	自殺予防対策に関する広報・啓発	インターネットにおける自殺関連情報の対策	遺族等への支援	危険な場所、薬品等の規制等	自殺予防対策に関わる民間団体の支援
全体(N=663)	48.7	38.8	32.4	31.2	28.8	25.9	19.9	16.7	14.8	13.4	13.0	9.5	9.0
【居住地区別】													
土庄地区(n=247)	47.8	37.7	28.7	31.6	29.6	22.3	20.6	17.8	13.4	15.8	11.3	8.1	8.1
淵崎地区(n=153)	49.0	41.2	27.5	31.4	26.8	30.7	22.9	15.7	13.1	9.8	9.8	11.1	9.8
大鐸地区(n=50)	52.0	40.0	30.0	30.0	30.0	38.0	14.0	16.0	16.0	4.0	18.0	6.0	16.0
四海地区(n=67)	49.3	32.8	41.8	25.4	22.4	22.4	20.9	11.9	13.4	7.5	17.9	6.0	6.0
北浦地区(n=51)	45.1	45.1	35.3	33.3	25.5	31.4	23.5	15.7	19.6	17.6	19.6	7.8	3.9
大部地区(n=55)	58.2	40.0	50.9	38.2	38.2	23.6	10.9	18.2	23.6	18.2	14.5	16.4	9.1
豊島地区(n=30)	40.0	33.3	33.3	23.3	23.3	16.7	13.3	20.0	13.3	16.7	13.3	10.0	16.7
【性別】													
男性(n=270)	51.1	41.1	32.6	31.9	24.4	25.6	27.0	18.5	19.3	13.3	13.7	8.9	11.9
女性(n=382)	47.1	37.2	32.2	31.2	31.7	26.2	15.2	14.7	11.8	13.4	12.6	9.7	7.1
【年齢別】													
29歳以下(n=35)	31.4	45.7	25.7	45.7	25.7	40.0	45.7	42.9	17.1	31.4	17.1	22.9	17.1
30歳代(n=47)	36.2	44.7	25.5	53.2	34.0	23.4	23.4	25.5	10.6	21.3	23.4	8.5	4.3
40歳代(n=70)	44.3	35.7	28.6	44.3	45.7	31.4	22.9	21.4	11.4	20.0	12.9	10.0	11.4
50歳代(n=79)	53.2	36.7	36.7	44.3	30.4	34.2	16.5	17.7	12.7	12.7	15.2	12.7	3.8
60歳代(n=124)	50.8	46.0	25.8	29.8	25.8	25.0	19.4	9.7	16.1	12.1	12.1	7.3	9.7
70歳以上(n=302)	51.7	35.1	36.8	20.5	24.8	21.5	16.9	13.6	15.9	9.3	10.9	7.6	9.3

注:「その他」は表記から省略している。

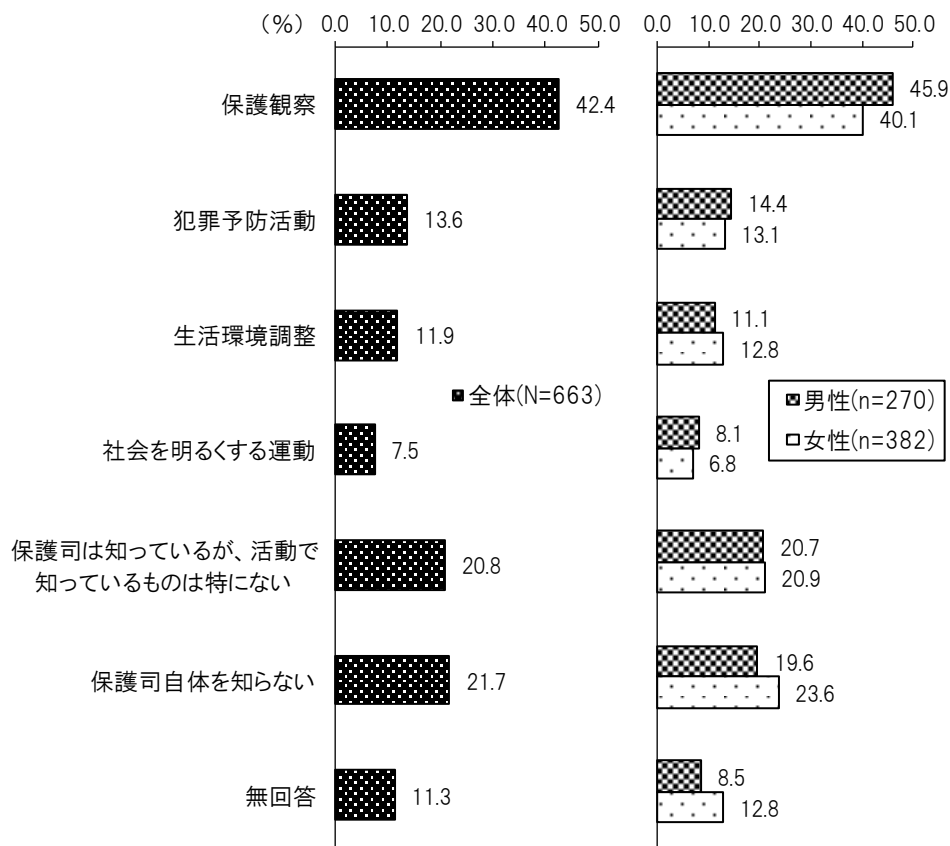
【9】再犯防止について

1 保護司の活動の認知状況

問 39 保護司の活動のうち、知っているものはありますか。（あてはまるもの全てに○）

保護司の活動の認知状況については、「保護観察」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「犯罪予防活動」（13.6%）、「生活環境調整」（11.9%）の順となっており、「保護司は知っているが、活動で知っているものは特にない」は 20.8%、「保護司自体を知らない」は 21.7%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「保護観察」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大鐸地区で「保護観察」の割合が他の地区に比べて高くなっている。
 年齢別では、29 歳以下で「保護司自体を知らない」、50 歳代で「保護観察」、60 歳代で「保護司は知っているが、活動で知っているものは特にない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

凡例 (%)	保護観察	犯罪予防活動	生活環境調整	社会を明るくする運動	特にない 活動で知っているものは	保護司は知っているが、 活動で知っているものは	保護司自体を知らない
全体(N=663)	42.4	13.6	11.9	7.5	20.8		21.7
【居住地区別】							
土庄地区(n=247)	39.3	14.2	12.6	8.1	21.5		25.1
淵崎地区(n=153)	42.5	12.4	15.0	8.5	20.3		20.9
大鐸地区(n=50)	56.0	10.0	14.0	6.0	20.0		18.0
四海地区(n=67)	35.8	11.9	7.5	1.5	26.9		22.4
北浦地区(n=51)	51.0	19.6	11.8	5.9	19.6		17.6
大部地区(n=55)	43.6	14.5	9.1	10.9	18.2		23.6
豊島地区(n=30)	46.7	13.3	6.7	6.7	10.0		13.3
【年齢別】							
29歳以下(n=35)	37.1	22.9	17.1	22.9	2.9		51.4
30歳代(n=47)	34.0	0.0	2.1	6.4	21.3		36.2
40歳代(n=70)	42.9	14.3	12.9	2.9	17.1		35.7
50歳代(n=79)	50.6	11.4	12.7	7.6	22.8		17.7
60歳代(n=124)	39.5	7.3	10.5	4.8	31.5		15.3
70歳以上(n=302)	43.4	17.5	13.2	7.6	18.9		16.9

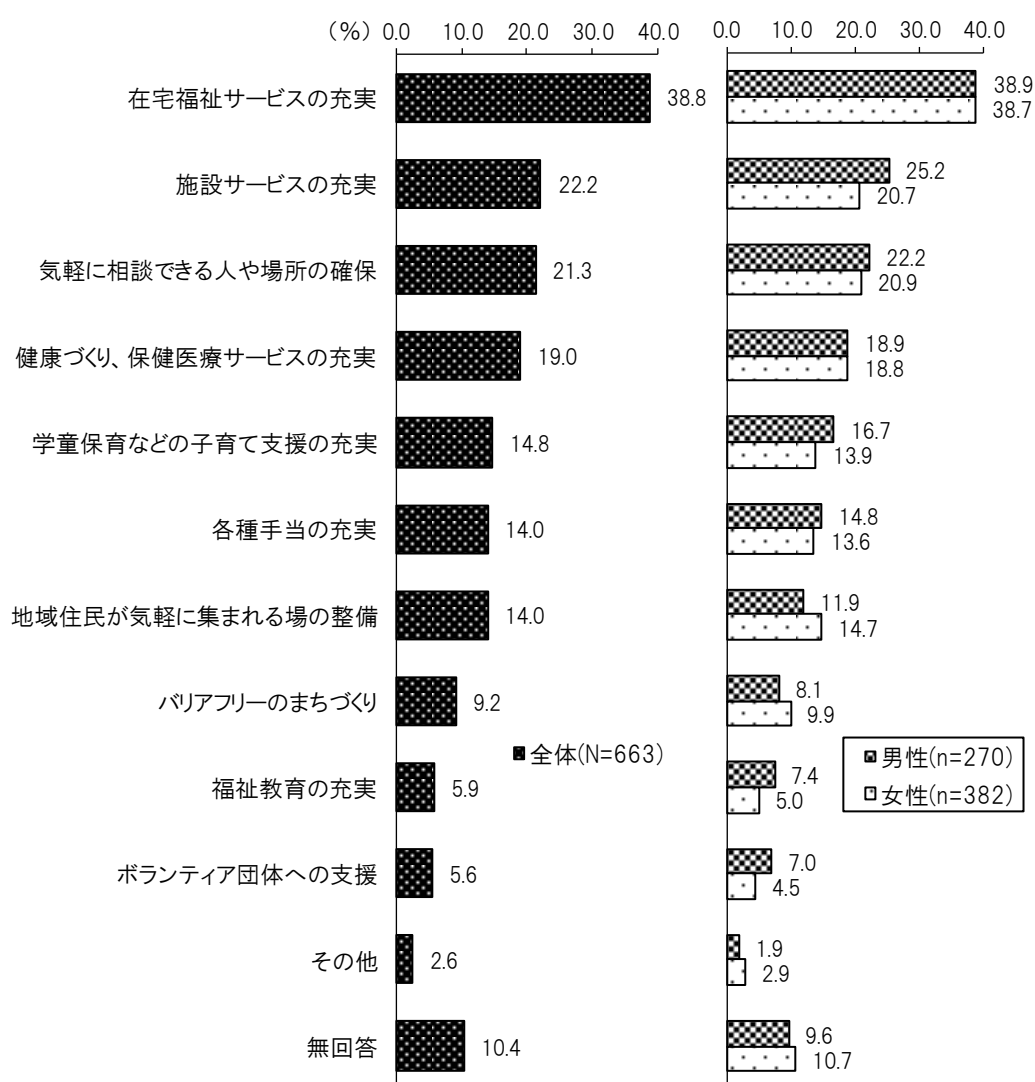
【10】今後の福祉のあり方について

1 優先的に取り組むべき分野

問 40 地域福祉を進めるうえで、今後土庄町の限られた財源の中、どの分野に優先的に取り組むべきだと思いますか。（○は2つまで）

優先的に取り組むべき分野については、「在宅福祉サービスの充実」の割合が38.8%と最も高く、次いで「施設サービスの充実」（22.2%）、「気軽に相談できる人や場所の確保」（21.3%）、「健康づくり、保健医療サービスの充実」（19.0%）、「学童保育などの子育て支援の充実」（14.8%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「施設サービスの充実」の割合がやや高くなっている。



居住地区別では、北浦地区で「在宅福祉サービスの充実」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「バリアフリーのまちづくり」、50歳代で「在宅福祉サービスの充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	在宅福祉サービスの充実	施設サービスの充実	気軽に相談できる人や場所の確保	健康づくり、保健医療サービスの充実	学童保育などの子育て支援の充実	各種手当の充実	地域住民が気軽に集まれる場の整備	バリアフリーのまちづくり	福祉教育の充実	ボランティア団体への支援	その他
全体(N=663)	38.8	22.2	21.3	19.0	14.8	14.0	14.0	9.2	5.9	5.6	2.6
【居住地区別】											
土庄地区(n=247)	39.7	20.2	23.5	20.2	14.6	11.7	14.2	10.5	5.7	4.9	2.8
淵崎地区(n=153)	35.3	24.2	18.3	17.6	19.6	14.4	13.1	9.8	7.2	6.5	3.3
大鐸地区(n=50)	34.0	18.0	26.0	22.0	16.0	14.0	18.0	8.0	0.0	2.0	4.0
四海地区(n=67)	44.8	28.4	28.4	17.9	7.5	17.9	11.9	4.5	6.0	7.5	1.5
北浦地区(n=51)	54.9	21.6	23.5	17.6	11.8	17.6	9.8	2.0	11.8	7.8	0.0
大部地区(n=55)	34.5	27.3	9.1	16.4	20.0	21.8	12.7	10.9	3.6	5.5	1.8
豊島地区(n=30)	30.0	13.3	20.0	13.3	6.7	0.0	23.3	16.7	6.7	6.7	0.0
【年齢別】											
29歳以下(n=35)	22.9	17.1	14.3	17.1	31.4	22.9	11.4	31.4	5.7	8.6	5.7
30歳代(n=47)	34.0	27.7	19.1	19.1	31.9	17.0	10.6	8.5	4.3	8.5	4.3
40歳代(n=70)	31.4	25.7	8.6	15.7	28.6	24.3	10.0	8.6	10.0	2.9	8.6
50歳代(n=79)	49.4	26.6	21.5	13.9	22.8	17.7	13.9	13.9	8.9	5.1	2.5
60歳代(n=124)	41.9	21.0	23.4	21.8	12.1	19.4	10.5	6.5	4.0	1.6	2.4
70歳以上(n=302)	39.4	20.9	24.8	19.9	6.3	7.0	16.9	7.0	5.3	7.3	0.3

【11】自由記述回答集約結果

最後に、本町の福祉行政全般にわたってのご意見やご要望、現在お困りのことなどがございましたら、ご自由にご記入ください。

1 高齢者福祉について

- ・親に重たい商品などインターネットで注文してあげたいと時々思いますが、ゴミを出してあげても「申しわけない」と言われたので、むしろ少額でも有料で受けた方が頼みやすいのかと思ったりもしています。（土庄地区・女性 50 歳代）
- ・要介護 2 以上から紙おむつの補助が必要。（土庄地区・男性 60 歳代）
- ・予防接種や免許自主返納の支援が、小豆島町と差が大きいので不思議に思っています。（土庄地区・女性 60 歳代）
- ・高齢者が出かける際の移動手段が充実しているとよいと思います。（淵崎地区・女性 60 歳代）
- ・高齢者の人数に対して、入居できる高齢者施設の数が少なすぎる。（淵崎地区・男性 70 歳代）
- ・1 人暮らしで、年金収入だけでも高齢者施設に入居できますか？（四海地区・男性 60 歳代）
- ・1 人暮らしのお年寄り世帯がとても多く感じる。お年寄りが安心して暮らせるような福祉サービスの実現を願っています。（北浦地区・男性 20 歳代）
- ・認知症からの施設入所について、費用はそれぞれの判断基準があると思われます。金額が高いという声をよく聞きます。（北浦地区・男性 70 歳代）
- ・高齢者施設に入居するには多額のお金が必要と聞いている。お金がないと老後は安心できないのか。（大部地区・女性 60 歳代）

2 障がい者福祉について

- ・障がいのある人を絶対に冷たい目で見ないでほしい。そうなりたくてなっているのではないから。（土庄地区・女性 20 歳未満）
- ・障がい者が利用できるサービスを無償化してほしい。（淵崎地区・男性 50 歳代）
- ・母親が 81 歳になります。ただ私には障がいがあり、買物や料理、家の中の整理整頓ができません。ふれあいサービスの方が手伝ってくれるとありがたいです。障がい者も入れるグループホームも早く作ってほしいです。（淵崎地区・女性 80 歳以上）

3 生活上の困りごとや問題を抱えている人への支援等について

- ・確か議員の鈴木さんが議会で質問していたかと思いますが、今問題になっているヤングケアラーの実態を町ではどのようにお考えなのでしょう。把握なさっているのでしょうか？自分自身も短い期間ではありましたが、いわゆるヤングケアラーの時期がございました。ケアできるようなシステムがあれば大変助かると思います。（土庄地区・女性 40 歳代）

- ・母子家庭への支援、父子家庭への支援。例えば子ども食堂や幼児の無料預かり。（淵崎地区・女性 70 歳代）
- ・まさに 8050 問題が身近なものとなっています。プライバシーの問題もありますが、もっと家庭内の家族構成に踏み込んで、きめ細かな対応をお願いします。（淵崎地区・男性 80 歳以上）

4 相談支援体制について

- ・働きながら親の生活を助けているということをよく聞く。50～60 代世帯への支援も今後ますます必要になってくると思う。（土庄地区・男性 30 歳代）
- ・高齢で 1 人暮らしの方がいたら、見回りや支える人がいればよいと思います。（土庄地区・女性 40 歳代）
- ・子育てにしても、福祉にしても、自分がいっぱいになった時に、専門家のところへ行こうとするのは勇気がいります。電話で気軽に相談できる窓口があれば助かります。（土庄地区・女性 40 歳代）
- ・認知症を疑われている方が自分でゴミを分別して出しているようだが、不燃ごみの中身はめちゃくちゃで、色んなものを混ぜて出している。結果、回収してもらえず放置されている。一度注意したことがあるが、「あんたはいつも文句を言う」と叱られたことがあるので注意しにくい。以後、あいさつをしても無視されるようになった。（土庄地区・女性 70 歳代）
- ・高齢者が気軽に相談できる窓口の充実を図ってほしい。認知症も早めの対応で進行が遅れるのではないかと考えています。（土庄地区・女性 80 歳以上）
- ・町の福祉サービスにはいろいろあると思うが、細かいことはわからない。広報誌などの情報だけではわからないと思う。高齢者やその家族が困った時、とりあえずそこへ行けば何の相談でも聞いてもらえるという窓口相談係があればよいのではと思う。（淵崎地区・女性 70 歳代）
- ・地域の民生委員が、情報の共有とかでバーベキューをするのはやめていただきたい。（大部地区・女性 50 歳代）
- ・民生委員がもっと足を運んで、きちんと話を聞くことが大事。豊島も同じ土庄町民なのです。（豊島地区・男性 60 歳代）

5 健康づくり・保健医療サービスについて

- ・健康維持のための体力づくりグループがあれば、参加してみたいです。（土庄地区・女性 60 歳代）
- ・小豆島町と比べて、がん検診等の案内はしっかりできていてとても助かる。（淵崎地区・女性 40 歳代）
- ・高額医療費の返金手続きは、その都度役場に行かなければならない。平日は仕事をしているので役場に行けない。土・日も対応していただけると助かります。（淵崎地区・男性 70 歳代）
- ・小豆島の医療機関をもっと充実させてほしい。緊急時が心配です。安心して子育てができません。（四海地区・女性 40 歳代）

- ・総合病院が少ない。大病や大きなケガをすると、高松や岡山に通院しないといけない。時間と船賃がかかってしまう。（北浦地区・男性 30 歳代）
- ・通院等で利用する船賃を全額補助してほしい。（豊島地区・男性 70 歳代）

6 福祉等に関する情報の提供や発信について

- ・土庄町の福祉サービスについて、ほとんど知りません。どのようなサービスがあるのか、具体的にパンフレットを配布してほしい。（土庄地区・男性 60 歳代）
- ・どのような福祉サービスがあるのか、よくわからない。（土庄地区・女性 80 歳以上）
- ・福祉サービスが、土庄町でどの程度行われているのかわかりません。広報誌等でもっと知らせていただければありがたいです。（北浦地区・女性 80 歳以上）

7 地域福祉の推進について

- ・人口減少及び限られた財源の中で、優先順位の高い施策を進めてほしい。（土庄地区・男性 50 歳代）
- ・福祉会館は福祉のために建てたものではないのか？福祉関係者やボランティアの人がなぜ利用できなくなるのか。土庄町は福祉の意識が低いのではないのか。町全体が福祉を推進していくべきで、役場の人が率先して引っ張っていくことが大事だと思う。今の福祉政策では失望あるのみ。（土庄地区・男性 50 歳代）
- ・実際にその立場にならないと、本当に困っていることに気づけないと思います。現在福祉サービスを必要とされている方や周囲の方々から、現場の声をくみあげる必要があると思います。（土庄地区・女性 60 歳代）
- ・国がいつている「自助・共助・公助」ですが、私も自分でやれることは自分でやっというとは思いますが。ただ自助を一番先に持ってきて、自助でやっというのはあまりに冷たい考えではないでしょうか。私はこの言葉が大嫌いです。（土庄地区・男性 70 歳代）
- ・核家族化し、高齢者施設もいっぱい入れない。高齢者が増え、税金を納める人が少なくなり、福祉全般の財源が確保できなくなってくるのではないかと心配しております。小豆島は環境も良く、食べ物も美味しいので、介護施設を充実させたら人口も増え、関連企業も誘致ができて税収も増えると思います。（土庄地区・女性 70 歳代）
- ・高齢社会への対応について、町の行政だけでは追いつかないと思います。土庄町住民も高齢者を見守ったり、困っている高齢者を助けるなど、それぞれができることで地域福祉を早急に進めてほしいです。（土庄地区・女性 70 歳代）
- ・福祉課窓口の対応が悪すぎる。配属した人事にも問題がある。土庄町のやる気のなさを感じた。（淵崎地区・男性 40 歳代）
- ・職員は待っているだけでは、何もしていないのと同じである。積極的に関与してこそ、公務員のあるべき行動ではないでしょうか。（淵崎地区・男性 60 歳代）
- ・今後ますますウエイトが高くなる福祉部門への経費の増大と、それに伴う財政面の確保ができるのか心配です。（北浦地区・男性 70 歳代）
- ・行政の方々も地域の中に入り、会話や行動を共にする機会を作ってください。（大部地区・女性 70 歳代）

- ・福祉行政については、不十分な点が多く見られる。早急に改善すべき点は、福祉について精通している職員が少ない。職員採用時に資質を見抜く力をつける必要があると思う。（大部地区・男性 80 歳以上）
- ・全世代を通じて「福祉」というものについて考え、語り合える場があればよいと思います。（豊島地区・男性 40 歳代）

8 生活環境(買い物、交通の利便性、移動手段の充実等)について

- ・交通が不便な地域には、マイクロのような乗り物があるとよいと思います。（土庄地区・女性 40 歳代）
- ・空き家対策についての方向性を出してもらいたい。（土庄地区・男性 60 歳代）
- ・福祉バスもしくは福祉タクシーを走らせる。（淵崎地区・女性 50 歳代）
- ・運転免許証を返納してから、買物が不便になりました。土庄港までの直行便がない。（淵崎地区・男性 70 歳代）
- ・バスの本数を増やしてほしい。島バスは大型バスでなく、コミュニティバスでもよいと思う。とにかく本数を増やしてほしい。（四海地区・男性 50 歳代）
- ・福祉バスを各バス停に動かしてほしい。地区のお店がなくなり、買物が不便。小豆島町のように、移動販売の車を出してほしい。（四海地区・女性 80 歳以上）

9 交流の機会や場づくりについて

- ・コロナ禍のため、地域住民と気軽に集まる場所がない。（土庄地区・女性 80 歳以上）
- ・退職後の時間のある人に、学校の校舎で物作りや読書の大切さ等を教えてもらえれば、子どもたちと老人の良い出会いになると思います。（淵崎地区・女性 70 歳代）

10 福祉の担い手づくり・人づくりについて

- ・福祉会館が使用できなくなった。福祉サービスに意欲のある人材をどうやって育てるのか？（土庄地区・女性 60 歳代）
- ・福祉サービスに必要なマンパワーは充足されていますか？ケアマネジャーやヘルパーはサービス提供には欠かせない人員です。安定した人員の確保が必要ではないでしょうか。（淵崎地区・女性 60 歳代）

11 その他アンケート内容等について

- ・後期高齢者の親の保険料の支払いを見ていると、自分の時にはどうなるのか不安になります。（土庄地区・女性 50 歳代）
- ・アンケートの項目が多すぎる。（土庄地区・男性 70 歳代）
- ・個人情報と秘密を厳守してください。（土庄地区・男性 70 歳代）
- ・土庄町は良くしてくださっているので、特にありません。（土庄地区・女性 70 歳代）
- ・島外に出ていた若者が、子育てをするなら小豆島と思えるように考えてほしい。（土庄地区・女性 70 歳代）
- ・今後の福祉サービスを想定すると、年々年金が少なくなり、生活することに精一杯で必要なサービスが本当に受けることができるのか？（淵崎地区・女性 30 歳代）

- ・子育て世代への支援も大切だと思いますが、様々な事情で子どもに恵まれなかった夫婦への支援も、将来的には考えてほしいです。（淵崎地区・女性 40 歳代）
- ・父親や母親が、子どもの言うことを聞かないので困っています。（淵崎地区・男性 60 歳代）
- ・昨年からのコロナ禍により、必要な物の買物以外は外出していません。この生活がいつまで続くのか不安ですが、何とか健康を保ちながら生活することが大事だと思っています。（淵崎地区・女性 60 歳代）
- ・隣の家でゴミをよく焼くので、火の後始末が心配。（淵崎地区・女性 60 歳代）
- ・土庄町の福祉行政がどれほど充実したものかわかりません。（淵崎地区・男性 70 歳代）
- ・福祉サービスについて利用することがなかったため、勉強不足だったと思います。70 歳になった今、これからいろいろとお世話になることと思います。もっと勉強させていただきます。（四海地区・女性 70 歳代）
- ・公民館に 2 人ほど常駐していますが、何をしているかわからない。本当に必要なところに人員配置を行って、無駄な人件費を省く必要がある。（北浦地区・女性 70 歳代）
- ・社会福祉協議会への寄付がなかなか集まらないということで、地域の役員の家のみに集金をしているのはどうかと思う。（大部地区・女性 50 歳代）
- ・新庁舎では福祉課が 2 階になりました。1 階に配置すべきだと思います。（大部地区・女性 60 歳代）

地域福祉に関する町民意識調査

【調査へのご協力をお願い】

日頃より、本町の福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本町では、社会福祉法に基づき、「自助・共助・公助」の観点から、町民・事業者・行政の協働により、地域福祉を推進するための指針として、平成29年3月に「土庄町地域福祉計画(第3期)」を策定しておりますが、令和3年度末で計画期間が終了いたします。

そこで、次期計画に当たる「土庄町地域福祉計画(第4期)」を策定するための基礎資料とするため、町民の皆様のご意見・ご要望や地域の生活課題等を把握し、本町における地域福祉が、町民の皆様との協働により一層推進されるよう、この度、町民意識調査を行うことといたしました。

この調査は、個人が特定されないよう無記名で実施いたします。また皆様からいただきました回答は、統計的に処理し、有効に活用させていただきますので、回答者個人にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和3年9月

土庄町長 三枝 邦彦

- この調査票は、令和3年4月1日現在で満15歳以上の土庄町民（外国人登録者含む）から無作為に抽出した1,000人を対象に送付しています。
- ボールペンを同封していますので、よろしければご記入の際にお使いください。

— ご記入に際してのお願い —

1. この調査は、4月1日現在の状況でお答えください。
 2. この調査票の記入は、封筒のあて名の方をお願いいたします。なお、ご事情により、ご本人が記入できない場合は、代理の方が聞き取りにより記入されるか、代わりに家族の方が記入してください。
 3. 各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつけてください。設問によっては複数お答えいただく場合や該当する設問の番号に○印をつけた方だけにお答えいただく設問などがありますので、その説明に従ってご記入ください。
 4. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、10月18日（月）までにご返送ください。
- ご記入に当たってご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。
土庄町 健康福祉課 社会福祉係【電話】0879-62-7002【FAX】0879-62-8301

1 あなたご自身のことについて

問1 性別をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 年齢をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1 20歳未満 | 5 50歳代 |
| 2 20歳代 | 6 60歳代 |
| 3 30歳代 | 7 70歳代 |
| 4 40歳代 | 8 80歳以上 |

問3 同居している家族構成をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|---------|
| 1 夫婦のみ | 4 一人暮らし |
| 2 二世帯(親と子ども) | 5 その他 |
| 3 三世帯(親と子と孫) | () |

問4 あなたの職業をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 会社員 | 6 家事専業 |
| 2 公務員・教員 | 7 学生 |
| 3 自営業・家族従事者 | 8 無職 |
| 4 農林水産業 | 9 失業中 |
| 5 アルバイト・パート・派遣社員 | 10 その他() |

問5 あなたのお住まいの地域はどこですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------|--------|
| 1 土庄地区 | 5 北浦地区 |
| 2 淵崎地区 | 6 大部地区 |
| 3 大鐸地区 | 7 豊島地区 |
| 4 四海地区 | |

問6 現在、居住している地域での居住期間をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|--------|
| 1 20年以上 | 4 3～4年 |
| 2 10～19年 | 5 2年以下 |
| 3 5～9年 | |

2 日常生活の不安について

問 7 日常生活で不安に感じていることはありますか。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 自分や家族の健康のこと | 6 自分の老後のこと |
| 2 子育てのこと | 7 進学・就職・結婚など生活上のこと |
| 3 家族の介護のこと | 8 特に不安は感じていない |
| 4 人間関係のこと | 9 その他 () |
| 5 収入・家計など経済的なこと | |

問 8 悩みや困ったことを誰に相談しますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 家族・親戚 | 8 弁護士・税理士など |
| 2 友人 | 9 学校、こども園など |
| 3 近所、自治会の役員 | 10 医師・カウンセラーなど |
| 4 役場や公民館などの行政機関 | 11 相談できる人がいない |
| 5 民生・児童委員、人権擁護委員など | 12 自分で解決する |
| 6 社会福祉協議会 | 13 その他 () |
| 7 ホームヘルパーや保健師など福祉専門員 | |

3 行政が行っている福祉サービスについて

問 9 現在、行政が行っている福祉サービス（高齢者福祉サービス、介護保険サービス、障がい福祉サービス、児童福祉サービス等）についてどう思いますか。

(○は1つ) ※土庄町の福祉サービスについては、次頁をご参照ください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 充実している | 4 充実していない |
| 2 ある程度充実している | 5 その他 () |
| 3 充実していない部分がある | 6 わからない |

土庄町の主な福祉サービスについて

■高齢者福祉サービス

支援が必要な人や一人暮らし高齢者等のためのサービスです。（介護保険を除く）

- ☐ 一人暮らし高齢者等への簡易な日常生活上の援助 ・ 外出時の援助（ふれあいサービス）
- ☐ 養護老人ホームでのショートステイ（自立ショートステイ）
- ☐ 一人暮らし高齢者等の緊急時に対応する緊急通報装置を貸与（緊急通報装置）
- ☐ 経済的に電話をつけられない方や一人暮らし高齢者に電話を貸与（福祉電話）
- ☐ 公共交通機関が走っていない地域の方の通院の足として福祉バスを運行（福祉バス）
- ☐ 地域の中で高齢者や支援が必要な方を見守る（高齢者等の見守り）

■介護保険サービス

介護が必要な方へのサービスです。

- ☐ 在宅サービス：ホームヘルパー、デイサービス、ショートステイ、小規模多機能型サービスなど
- ☐ 施設サービス：介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設への入所
- ☐ 住宅改修
- ☐ 福祉用具の購入（貸与）

■障がい福祉サービス

障がいのある方が地域の中で安心して暮らせるよう支援します。

- ☐ 重度の障がい者手帳所持者に医療費を助成（重度心身障がい者（児）医療）
- ☐ 心臓手術や人工透析、精神疾患での通院に係る医療費を軽減（自立支援医療）
- ☐ ホームヘルプ、ショートステイ、グループホーム、補装具費などの支給（自立支援給付）
- ☐ 就学児等の放課後等デイサービス（障がい児通所支援）
- ☐ 聴覚障がい者に対する手話通訳派遣、買い物時などの外出支援、施設での日中の見守りや日常的な訓練、日常生活用具等の給付（地域生活支援事業）
- ☐ 高速道路料金の割引
- ☐ 18 歳未満の軽度・中等度の難聴児に補聴器購入費用を軽減
- ☐ 重度の身体障がい者が住宅を改造する場合の費用を助成（住宅改造費）
- ☐ 在宅で常時特別な介護を必要とする障がい者（児）に対する手当の支給

■児童福祉サービス

全ての子どもの健全な発達のためのサービスです。

- ☐ 0歳から中学校修了までの子どもを養育している方に手当を支給（児童手当）
- ☐ 0歳から中学校修了前の子どもの医療費を助成（子ども医療）
- ☐ ひとり親家庭の児童及び父母に係る医療費を助成（ひとり親家庭等医療）
- ☐ 父母が死亡または離婚した場合に、18歳未満の児童または20歳未満で障がいのある児童を養育している父母等に手当を支給（児童扶養手当）
- ☐ 加入保険から出産育児一時金を支給（出産育児一時金の支給）
- ☐ ひとり親家庭等に対する貸付、就労支援、相談など

問12 援助を必要とする方が、適切に福祉サービスを利用できるようにするために何を優先して充実させるべきだと思いますか。（○は1つ）

- 1 福祉サービスに関する情報提供
- 2 福祉施設（施設数や設備）
- 3 その人に必要な福祉サービスの選択、利用支援をしてくれる窓口
- 4 地域住民のボランティア活動
- 5 福祉サービスに関する苦情相談窓口
- 6 福祉サービス提供に従事する人の技術・知識の向上
- 7 福祉サービスの質に関する客観的な評価制度
- 8 その他（ ）
- 9 わからない

問13 健康・福祉に関する情報を主にどこから得ていますか。（○は2つまで）

- 1 「広報とのしょう」などの広報紙
- 2 地域包括支援センターなどの専門相談機関
- 3 自治会の回覧板
- 4 新聞、テレビ、ラジオなど
- 5 パンフレット・チラシ
- 6 インターネットなどのホームページ
- 7 近所の人、知人、親せきなど
- 8 社会福祉協議会、民生・児童委員などの福祉関係者
- 9 その他（ ）

4 自治会などの地域活動について

問14 現在、あなたの世帯は自治会に加入していますか。（○は1つ）

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

問14で「2 いいえ」と回答した方におたずねします。

問15 自治会に加入していない理由は何ですか。（○は1つ）

- 1 自治会費が高いから
- 2 役員や当番が回ってくるから
- 3 活動内容がわからないから
- 4 加入するメリットがないから
- 5 特に理由はない
- 6 その他（ ）

問16 あなたは自治会などの地域組織の活動に参加していますか。（○は1つ）

- 1 参加している
- 2 以前参加していた
- 3 参加したことがない

問16で「2 以前参加していた」「3 参加したことがない」と回答した方におたずねします。

問17 現在参加していない理由は何ですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 仕事や家事で忙しく、時間がないから | 4 自治会に加入していないから |
| 2 転居したから | 5 興味がないから |
| 3 参加方法がわからないから | 6 その他（ ） |

問16で「1 参加している」と回答した方におたずねします。

問18 どのような活動に参加していますか。（あてはまるもの全てに○）

- | |
|--------------------|
| 1 自治会の活動 |
| 2 環境美化活動 |
| 3 PTA・子ども会の活動 |
| 4 老人給食や施設慰問などの福祉活動 |
| 5 地元のお祭りやスポーツ大会 |
| 6 防犯・防災活動 |
| 7 公民館行事や趣味のサークル活動 |
| 8 その他（ ） |

問16で「1 参加している」と回答した方におたずねします。

問19 主にどのような目的で活動していますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1 自分の能力や技術を地域に役立てたいから |
| 2 仲間が増えるから |
| 3 余暇時間が有効に活用できるから |
| 4 役回りなので仕方がないから |
| 5 ご近所の手前、参加しない訳にいかないから |
| 6 その他（ ） |

5 あなたの近所付き合いについて

問20 普段、近所の人とはどの程度付き合いをしていますか。（○は1つ）

- 1 家族同士の付き合いをしている
- 2 困ったときに、相談したり助け合えたりする人がいる
- 3 立ち話をしたり、家を訪問し合えたりする人がいる
- 4 顔を合わせたときに挨拶をする程度
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 その他（ ）

問21 近所の人との付き合いはどうあるべきとお考えですか。（○は1つ）

- 1 家族同士の付き合いをするべき
- 2 困ったときに相談したり、災害時や緊急時には支援したりするなど、助け合うべき
- 3 立ち話をしたり、家を訪問したりできればよい
- 4 顔を合わせたときに挨拶をする程度でよい
- 5 付き合いなくてもよい
- 6 その他（ ）

問22 もし、あなたが介護を必要とするなど日常生活で不自由になったとき、近所の人に手伝ってほしいことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 日常の話し相手 | 6 病院への送迎や付き添い |
| 2 安否確認の声かけ | 7 食事の手助けや差し入れ |
| 3 ゴミだし | 8 その他（ ） |
| 4 庭の草抜き・水やり | 9 特にない |
| 5 ちょっとした買い物 | |

問23 近くに困っている世帯があったとき、あなたが手伝えることができると思うことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 日常の話し相手 | 6 病院への送迎や付き添い |
| 2 安否確認の声かけ | 7 食事の手助けや差し入れ |
| 3 ゴミだし | 8 その他（ ） |
| 4 庭の草抜き・水やり | 9 特にない |
| 5 ちょっとした買い物 | |

6 防災について

問24 防災に関連する①～⑧の項目について、それぞれあてはまるものをお答えください。（それぞれ○は1つ）

	はい	いいえ	わからない
①身近な避難場所と行き方を知っていますか。	1	2	
②地域で自主防災訓練等に参加したことがありますか。 ※お住いの地域で自主防災訓練等を実施しているかわからない場合は「わからない」を、実施していない場合は「いいえ」を選択してください。	1	2	3
③消防団・消防クラブ等、地域の自主防災組織に参加したことがありますか。	1	2	
④災害時に避難の手助けが必要ですか。	1	2	3
⑤災害時に避難の手助けが必要な人が近所にいますか。	1	2	3
⑥災害時に避難の手助けが必要な近所の人に、手助けをすることができますか。	1	2	3
⑦避難行動要支援者（※1）名簿をご存知ですか。	1	2	
⑧避難行動要支援者の避難を支援する方として登録を依頼された場合、了承しますか。 （避難行動要支援者の個別計画（※2）の中に、災害時の避難を『支援する方』として明記されます。）	1	2	3

※1 避難行動要支援者：災害発生時に自力で避難することが難しい方

（要介護3～5、障がい者手帳所持者、75歳以上の一人暮らしの高齢者等）

※2 個別計画：避難を支援するため、避難方法等を定めた個人ごとの計画

問25 地域において、災害など緊急時の備えとして、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。（○は3つまで）

1 日頃からのあいさつや声かけ、付き合い	6 災害時の情報伝達方法の確立
2 地域・近所での協力体制づくり	7 災害時ボランティアの育成
3 日頃の避難訓練	8 災害時ボランティアの受入体制の確立
4 地域の支援や配慮が必要な人の把握	9 その他（ ）
5 支援や配慮が必要な人への支援体制の整備	

7 ボランティア活動について

1 参加している	2 以前参加していた	3 参加したことがない
----------	------------	-------------

問27 あなたが参加したことがない理由を教えてください。

1 自分に合った活動が見つからないから	5 地域内でどんな活動が行われているか 情報がないから
2 時間にゆとりがないから	6 その他（ ）
3 一人では参加しにくいから	7 参加したいと思わないから
4 家族や職場の理解が得られないから	

問28 今後、参加できる機会があればどの分野の活動に参加したいですか。

- 1 高齢者や障がい者への日常生活の援助（見守りなど）
- 2 高齢者や障がい者の交流活動
- 3 点字、手話、音訳、要約筆記などの伝達手段ボランティア
- 4 子育て支援・子どもの世話
- 5 不登校・ひきこもりの青少年に対する支援
- 6 子どもの登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動
- 7 病院や福祉施設での手伝いや話し相手
- 8 寄付、募金への協力
- 9 健康づくり、介護予防に関する活動
- 10 地域のスポーツ活動の支援
- 11 地域の清掃活動などの環境美化、資源ゴミのリサイクル
- 12 地域の祭りやイベントの手伝い
- 13 災害時の支援活動
- 14 その他（ ）
- 15 参加したいと思わない

問29 どのような条件が整えばボランティア活動ができますか。また、参加できると思いますか。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 時間的・経済的なゆとり | 7 活動に活かせる知識・技術の習得 |
| 2 自分の健康 | 8 活動中の事故などに対する補償 |
| 3 ボランティア情報の提供 | 9 メンバー同士の良好な人間関係 |
| 4 家族の理解 | 10 その他（ ） |
| 5 子育て・介護など家族の条件 | 11 わからない |
| 6 活動費の工面 | |

8 成年後見制度について

問30 あなたは「成年後見制度（※）」について知っていますか。（○は1つ）

- | |
|----------------------|
| 1 知っている |
| 2 聞いたことはあるが、内容はわからない |
| 3 聞いたことがなく、内容も知らない |

※成年後見制度：認知症等で判断能力が不十分な方々を、親族や法律・福祉の専門家、福祉関係の公益法人等が成年後見人等（成年後見人・保佐人・補助人）となり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度。

問31 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1 利用したいと思う | 2 利用したいと思わない | 3 わからない |
|------------|--------------|---------|

問31で「1 利用したいと思う」と回答した方におたずねします。

問32 後見人は誰になってもらいたいですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1 家族・親せき | 4 社会福祉協議会 |
| 2 専門職
（弁護士、司法書士、社会福祉士等） | 5 市民（町民）後見人（※） |
| 3 法律または福祉に関する法人 | 6 その他（ ） |
| | 7 わからない |

※市民（町民）後見人：社会貢献への意欲が高い一般市民（町民）の方で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見に関する一定の知識・態度を身に付けた方の中から、家庭裁判所により成年後見人等として選任された方のこと。

問33 利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

-)

(○は1つ)

- 4 わからない

「成年後見制度」で町に望むことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

-)

9 自殺対策について

問36 あなたは悩みやストレスを感じたときに、どう考えますか。

(それぞれ○は1つ)

	そう 思う ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
①助けを求めたり、誰かに相談したいと思う	1	2	3	4	5
②誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う	1	2	3	4	5
③悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う	1	2	3	4	5
④誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う	1	2	3	4	5
⑤悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う	1	2	3	4	5
⑥その他（具体的に					）

問37 理由はわからないけれども、身近な人がいつもと違った様子でつらそうに見えたときに、あなたはどのように対応しますか。（それぞれ○は1つ）

	し な い	あ ま り し な い	時 々 す る	よ く す る
①相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ	1	2	3	4
②心配していることを伝えて見守る	1	2	3	4
③自分から声をかけて話を聞く	1	2	3	4
④「元気を出して」と励ます	1	2	3	4
⑤先回りして相談先を探しておく	1	2	3	4
⑥その他（具体的に				）

問38 今後、どのような自殺対策が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

- 1 自殺の実態を明らかにする調査・分析
- 2 様々な分野におけるゲートキーパー（※）の養成
- 3 地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い
- 4 様々な悩みに対応した相談窓口の設置
- 5 危険な場所、薬品等の規制等
- 6 自殺未遂者の支援
- 7 自殺予防対策に関わる民間団体の支援
- 8 自殺予防対策に関する広報・啓発
- 9 職場におけるメンタルヘルス対策の推進
- 10 家庭や学校における「いのちの教育」の充実
- 11 インターネットにおける自殺関連情報の対策
- 12 遺族等への支援
- 13 適切な精神科医療体制の整備
- 14 その他（

※ゲートキーパー：自殺のサインに気づき、適切な対応を取れる人。

10 再犯防止について

問39 保護司（※）の活動のうち、知っているものはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

- 1 保護観察
- 2 生活環境調整
- 3 犯罪予防活動
- 4 社会を明るくする運動
- 5 保護司は知っているが、活動で知っているものは特にな
- 6 保護司自体を知らない

※保護司：法務大臣から委嘱され、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える非常勤の国家公務員。ボランティアとして活動するため給与はない。

11 今後の福祉のあり方について

問40 地域福祉を進めるうえで、今後土庄町の限られた財源の中、どの分野に優先的に取り組むべきだと思いますか。（○は2つまで）

- 1 在宅福祉サービスの充実
- 2 施設サービスの充実
- 3 ボランティア団体への支援
- 4 福祉教育の充実
- 5 健康づくり、保健医療サービスの充実
- 6 各種手当の充実
- 7 バリアフリーのまちづくり
- 8 気軽に相談できる人や場所の確保
- 9 地域住民が気軽に集まれる場の整備
- 10 学童保育などの子育て支援の充実
- 11 その他（ ）

【自由記載意見】

最後に、本町の福祉行政全般にわたってのご意見やご要望、現在お困りのことなどがございましたら、ご自由にご記入ください。

[illegible]

以上で調査は終了です。ご協力、誠にありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
10月18日（月）までにご返送ください。

地域福祉に関する町民意識調査
報告書

発 行 行／令和３年 11 月
発 行 者／土庄町 健康福祉課 社会福祉係
〒761-4192 香川県小豆郡土庄町淵崎甲 1400 番地 2
電 話（０８７９）６２－７００２
ＦＡＸ（０８７９）６２－８３０１
